



# 講義概要

(シラバス)

2026年度

加茂暁星学園

新潟中央短期大学

〒959-1321

新潟県加茂市希望ヶ丘2909-2

電話 0256 52-2120 番(代)

FAX 0256 53-2444 番

<http://www.niigatachuoh-jc.ac.jp>

## 2026年度講義概要（シラバス）

*教養科目 .....			2
心理学	2	国語表現法	4
コミュニケーション論Ⅱ	8	音楽概論	10
子どもと人権	14	自然科学概論	16
体育実技	20	英語会話	22
		コミュニケーション論Ⅰ	6
		日本国憲法	12
		体育講義	18
		中国語会話	24
*専門教育科目 .....			26
保育原理	26	教育原理	28
社会福祉	32	子ども家庭福祉	30
保育者論	38	社会的養護Ⅰ	36
保育の心理学Ⅱ	44	子ども家庭支援の心理学	42
子どもの食と栄養Ⅱ	50	子どもの食と栄養Ⅰ	48
健康指導法	56	保育内容総論Ⅰ	54
言葉指導法	62	環境指導法	60
ピアノ表現Ⅰ	68	音楽表現	66
言語表現	74	身体表現Ⅰ	72
子どもの健康と安全	80	乳児保育Ⅰ	76
社会的養護Ⅱ	86	乳児保育Ⅱ	78
保育相談の実際	92	障害児保育Ⅰ	82
子どもの保健実習	98	障害児保育Ⅱ	84
表現活動指導法	104	子育て支援	88
身体表現Ⅱ	110	特別支援教育概論	94
保育実習Ⅰ（保育所）	116	保育内容総論Ⅱ	100
保育実習Ⅱ	122	ピアノ表現Ⅱ	106
保育実習指導Ⅲ	128	レクリエーション実習Ⅰ	112
教育実習Ⅱ	134	保育実習指導Ⅰ（施設）	118
子どもと健康	140	保育実習指導Ⅱ	124
子どもと表現	146	保育実習Ⅲ	126
		教育と社会	130
		幼児教育教材研究	136
		子どもと人間関係	142
		子どもと環境	144
		教育実習Ⅰ	132
		コンピュータ基礎	138

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK01	1年次 前期	講義	2	稲場 健	随時プリント資料を配布する
科目名	心理学		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (3) (10) (11)						
<b>【授業の概要】</b> こころは目に見えない。また、同じ行動であっても、その意味や意図が、同じ人間でさえ、違うことがある。よって、人間のこころや行動には、曖昧でわかりにくいイメージが付きまとう。しかし、心理学という学問は、客観的科学的の一分野として発展してきた。曖昧でわかりにくいと思われる人間のこころや行動を科学的に研究、検証してきた学問なのである。本講義では、人間のこころの仕組みについて知り、それらがどのように行動と関連しているのか検討することで、日々の生活における人間理解に役立てられるようにしたい。日常生活での身近な疑問、興味・関心を取り上げ、それらを心理学の基礎的な知識との関連で理解できるよう目指す。将来保育者を目指す者にとっては、保育者としての関わりの前提になる自己理解、他者理解に役立つ知識や考え方を学習する講義となる。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・人間とかかわる上での、自己理解に役立つ、心理学の基礎的な知識を理解する ・人間とかかわる上での、他者理解に役立つ、心理学の基礎的な知識を理解する ・心理学的観点からの、ものの考え方の基礎を理解する。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	心理学とは何か ～身近な例との関連で考えてみる～	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握してくる。	2			
		復習：今回配布された学習プリント及びノートの見直しを行う。	2			
2	心理学の歴史 ～こころをどう捉えようとしてきたか～	予習：前回に配布した今回の学習プリントを読む。	1			
		復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り返りを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字でメモする。今回の配布プリントを見直す。	3			
3	感覚・知覚・認知	予習：前回に配布した今回の学習プリントを読む。	1			
		復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り返りを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字でメモする。今回の配布プリントを見直す。	3			
4	感情	予習：前回に配布した今回の学習プリントを読む。	1			
		復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り返りを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字でメモする。今回の配布プリントを見直す。	3			
5	欲求・動機づけ	予習：前回に配布した今回の学習プリントを読む。	1			
		復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り返りを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字でメモする。今回の配布プリントを見直す。	3			
6	記憶と忘却・知能	予習：前回に配布した今回の学習プリントを読む。	1			
		復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り返りを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字でメモする。今回の配布プリントを見直す。	3			
7	学習① ～古典的条件づけ、オペラント条件づけなど～	予習：前回に配布した今回の学習プリントを読む。	1			
		復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り返りを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字でメモする。今回の配布プリントを見直す。	3			

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
8 学習② ～観察学習、学習性無力感など～	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
9 パーソナリティと個人差① ～パーソナリティの形成～	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
10 パーソナリティと個人差② ～パーソナリティの捉え方・性格検査～	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
11 社会と行動① ～対人認知、対人魅力など～	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
12 社会と行動② ～集団の特徴、集団の心理など～	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
13 人間の発達と適応	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
14 人間関係とストレス ～ストレスとその対処法～	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：講義時の解説をもとに、前回の小テストの振り 返しを行い、補足点は、小テスト紙上に赤字で メモする。今回の配布プリントを見直す。	3
15 まとめ	予習：前日に配布した今回の学習プリントを読ん でくる。	1
	復習：今までの学習（配布プリント、ノート、小 テスト）の整理、振り返りを行う。	3
〔学習上の留意点・準備等〕 ・講義時に適宜、参考文献の紹介をする。 ・毎回、小テストを実施し、理解を確認する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 講義時における小テスト40%、レポート60%。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。小テストは、講義内で振り返り及び解説を行い、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK02	1年次 前期	講義	2	平野 深雪	随時プリント資料を配付する
科目名	国語表現法		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (6) (10) (11) (12)</p>						
<p>〔授業の概要〕 物事を多角的な視点でとらえ、客観的に判断し、必要に応じた表現ができる力を養う。語彙の学習をとおして国語表現に関わる基礎的な教養を身につけ、さまざまな事象をとらえる観点と表現の「型」を学ぶことで、筋道をたてて表現する力を体得する。また学びの過程で他者の見方、考え方に触れ、自身の視野を広げ感性を豊かにする機会にもしたいと考える。なお、本授業は、高等学校の学修をより深め、大学、社会への円滑な移行を図るために必要な学修方法の修得等を目的とした内容としたい。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙の知識、敬語の使い方など、社会人としての基礎的な教養が身につく。</li> <li>・必要に応じた文章表現をする上での観点と「型」を身につけ、実践できるようになる。</li> <li>・論理的、物語的な文章を構造的に読み、展開をとらえ、読解ができるようになる。</li> <li>・筆者の主張、意図を読み取り、それに対する自分の意見を論理的に主張できるようになる。</li> <li>・物事の多面的なあり方を理解し、客観的に課題を発見し解決を考えることができる。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション 敬語の学習 (1)	予習：講義の概要、目標等を確認する			4	
		復習：丁寧表現について振り返る				
2	小テスト：① 敬語の学習 (1)、漢字 敬語の学習 (2)	予習：小テスト準備			4	
		復習：尊敬・謙譲表現の問題に取り組む				
3	小テスト：② 敬語の学習 (2)、漢字 情報伝達の技術Ⅰ「描写」	予習：小テスト準備			4	
		復習：「描写」の復習課題に取り組む				
4	小テスト：③ 文法の学習、漢字 情報伝達の技術Ⅱ「説明」(1)	予習：小テスト準備			4	
		復習：「説明」の復習課題に取り組む				
5	小テスト：④ 語彙の学習、漢字 情報伝達の技術Ⅱ「説明」(2)	予習：小テスト準備			4	
		復習：「説明」の復習課題に取り組む				
6	小テスト：⑤ 言葉の意味の学習、漢字 情報伝達の技術Ⅲ「報告」	予習：小テスト準備			4	
		復習：「報告」の復習課題に取り組む				
7	小テスト：⑥ 表記の学習、漢字 情報分析の技術Ⅰ「クリティカルシンキング」(1)	予習：小テスト準備			4	
		復習：「クリティカルシンキング」の復習課題に取り組む				
8	小テスト：⑦ 漢字の学習→解説 情報分析の技術Ⅱ「クリティカルシンキング」(2)	予習：小テスト準備			4	
		復習：「クリティカルシンキング」の復習課題に取り組む				
9	小テスト：⑧ 総合問題 文章の読解Ⅰ「論理的文章」「図表」	予習：小テスト準備			4	
		復習：読み取りの「型」を確認する				

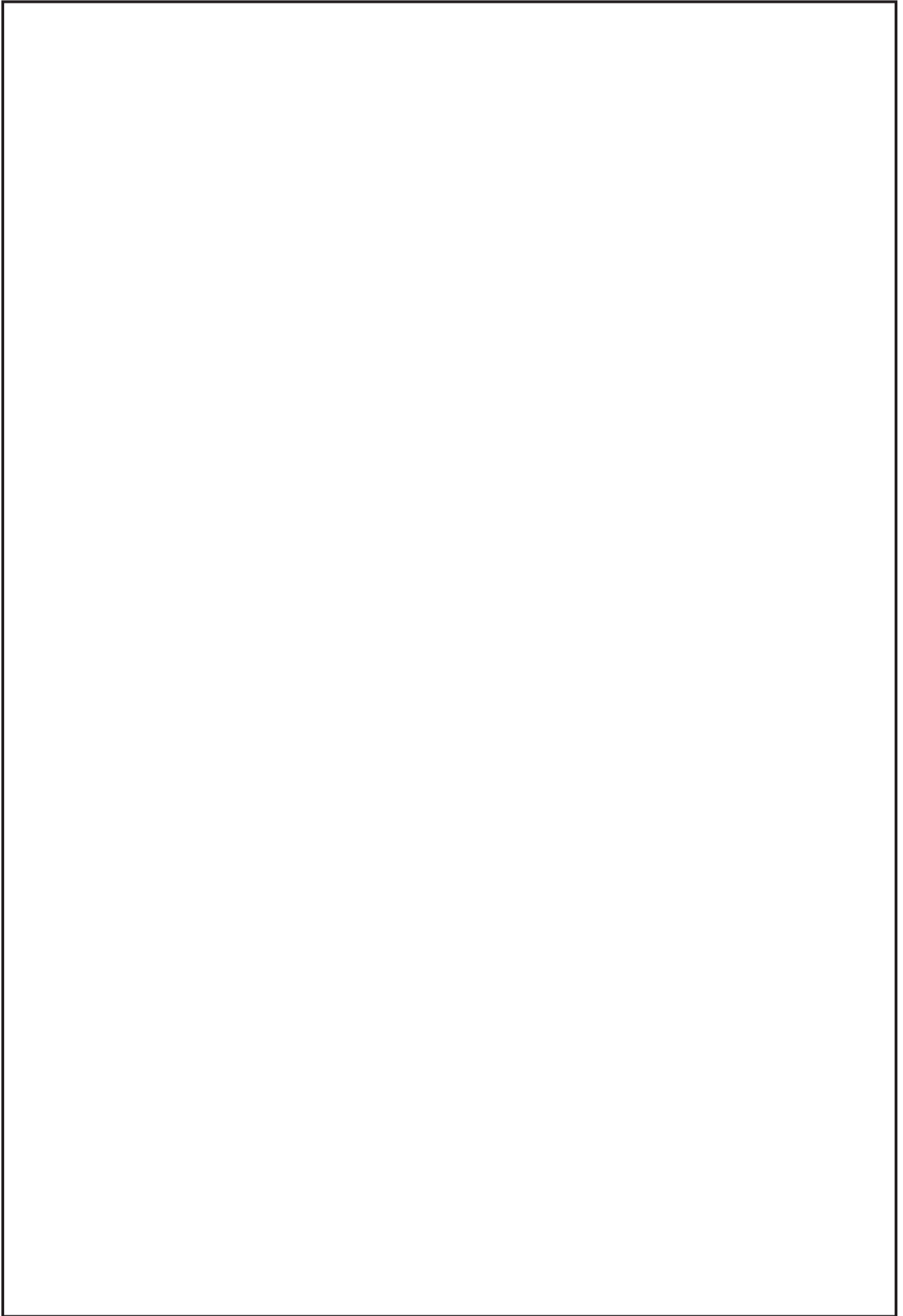
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 小テスト：⑨ 総合問題→解説 文章の読解Ⅱ「文学的文章」・演習	予習：小テスト準備	4
	復習：「物語の型」を確認する	
11 手紙（礼状）の書き方・作成	予習：資料プリントを読んてくる	4
	復習：清書を完成させる	
12 情報分析の技術Ⅲ「絵の分析」（1）	予習：資料プリントを読んてくる	4
	復習：「分析」の復習課題に取り組む	
13 情報分析の技術Ⅲ「絵の分析」（2）	予習：資料プリントを読んてくる	4
	復習：「分析」の復習課題に取り組む	
14 児童文学の読み取りⅠ「作品の主題」	予習：作品を読む	4
	復習：「物語の型」を確認する	
15 児童文学の読み取りⅡ「問いの演習」 1年間の振り返り	予習：「問い」を立てる	4
	復習：「問い」と「答」を完成させる	
※①～⑨は、言語事項の学習で日本語検定に対応。		
〔学習上の留意点・準備等〕 ○「方法」を理解し「実践」することで講義内容を身につけるよう心がける。 ○課題には積極的に取り組み、解説をきちんと聴く。 ○資料プリントや返却物はしっかり整理し、保管する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 課題の提出状況と内容評価（70%）、言語事項に関わる小テスト（20%）、受講態度（10%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 ワークシート・レポートは添削し、返却する。いくつかの作品をクラスで共有し、解説する場合もある。 小テストは、返却時に解説する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK03	1年次 前期	講義	2	平野 深雪	『イラスト版ロジカル・コミュニケーション』 つくば言語技術教育研究所 [編] 三森ゆりか [監修]
科目名	コミュニケーション論I		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>【授業の概要】 人間は主に言葉を用いて生活している。日常生活の中で、言葉によって互いの意思や意見、必要な事柄を交換し、相互理解を深めている。この授業では、特に「論理的な思考にもとづく」という観点でコミュニケーションスキルを実践的に学ぶ。また、保育、教育の場での応用も視野に入れる。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を整理してわかりやすく「話す」、また要点を意識して「聞く」ための「論理的コミュニケーションスキル」を身につける。</li> <li>・自身の日常の言葉の使い方を見直し、身につけたスキルを実践できるようになる。</li> <li>・保育・教育の場で論理的コミュニケーションスキルを実践できるようになる。</li> </ul>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授業内容			事前事後学修の内容			所要時間
1	人間関係とコミュニケーション		授業の概要と到達目標の確認			4
2	論理的とは何か		資料の確認、小テスト準備			4
3	日本語の特性		資料の確認、小テスト準備			4
4	曖昧な表現		テキスト確認、復習課題			4
5	曖昧な問答		テキスト確認、復習課題			4
6	二者択一		テキスト確認、復習課題			4
7	ナンバーリングの活用		テキスト確認、小テスト準備			4
8	5W1H		テキスト確認、小テスト準備			4
9	理由の中身		テキスト確認、復習課題			4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 事実と意見	テキスト確認、小テスト準備	4
11 賛成と反対	テキスト確認、小テスト準備	4
12 問題把握	資料の確認、小テスト準備	4
13 相手の意見を聴く	資料の確認、小テスト準備	4
14 情報を聞き取る	資料の確認、要点の確認	4
15 学びの確認	振り返り	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えること、話すこと、聴くことの方法を理解し、授業中に実践していく。</li> <li>・社会の出来事に関心を持ち一般教養を身につけようとする意欲を持つ。</li> </ul>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>毎時間の授業レポート・ワークシートの提出状況と内容評価（70%）、小テスト（20%）、受講意欲（10%）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートはコメントを付して、返却する。</li> <li>・小テストは、返却時に解説する。</li> </ul>		

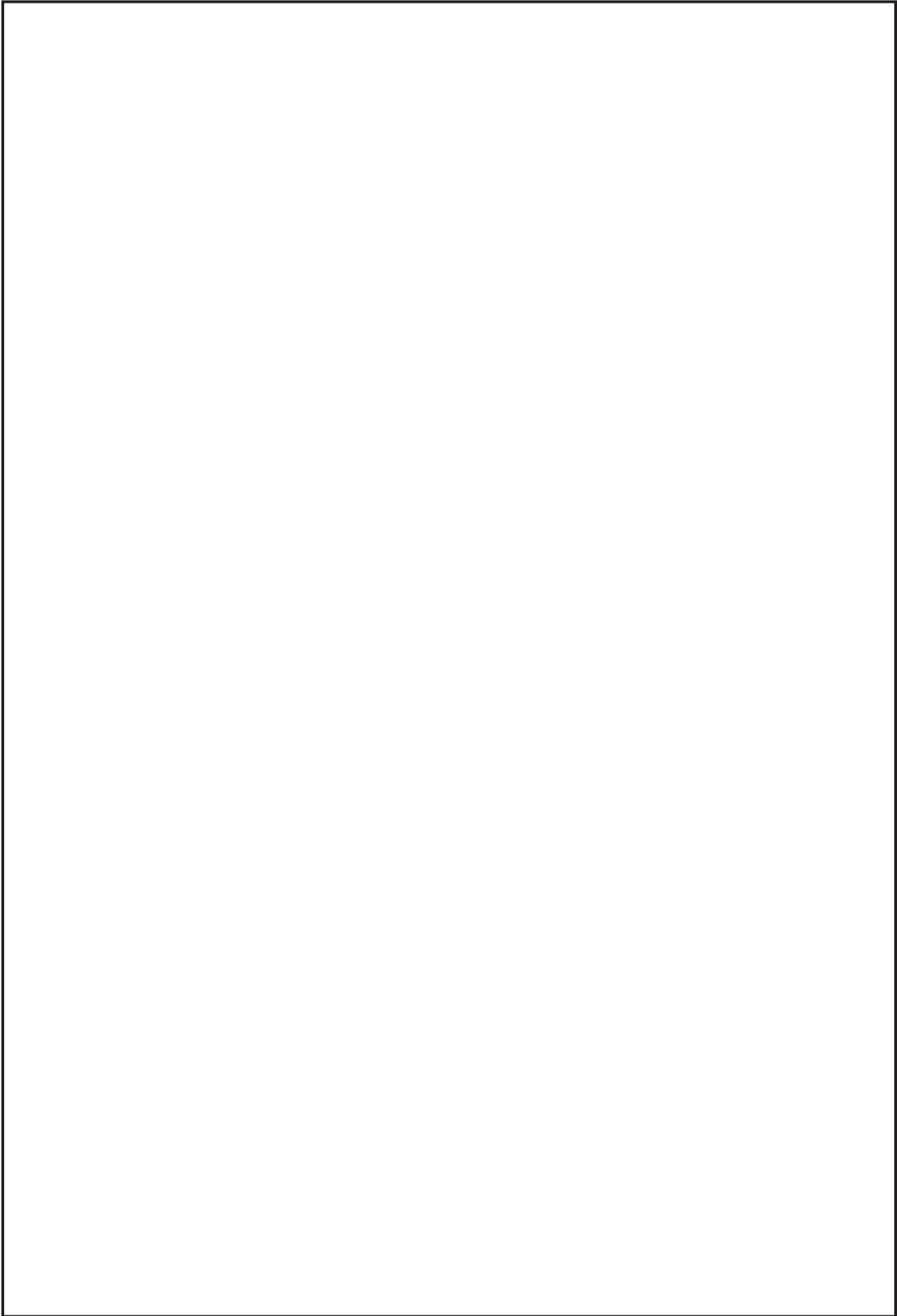
科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK03	1年次 後期	講義	2		
科目名	コミュニケーション論Ⅱ		担当形態 単独			

今年度開講せず



科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK04	1年次 前期	講義	2		
科目名	音楽概論		担当形態 単独			

今年度開講せず



科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK05	2年次 後期	講義	2	福原 英起	『いちばんやさしい憲法入門』 〔第7版〕 有斐閣 京都憲法会議監修 法律文化社 『ポケット六法令和9年版』 有斐閣
科目名	日本国憲法		担当形態			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (2) (3)						
〔授業の概要〕 憲法の全体構造を理解した上で、基本的人権の尊重、国民主権、恒久平和主義の憲法の3原則を基軸としながら、現代の人権状況を概観していく。さらに、立法、行政、司法の統治機構が、どのように人権保障の実現と関係しているのかについても学ぶ。普段、何気なく見過ごしてしまっている身近なところにも憲法問題が潜んでいることに気付けるようになることを目指したい。そして、現場に出てからの実践の中で、「人権」というフィルターを通して、目の前の事象や物事を捉えられ、アドボケイトできるようにしたい。						
〔授業科目の到達目標〕 ・人権が歴史的にどのように形成され、変遷してきたのかについて理解する。さらに、何故、憲法で基本的人権や国民主権、平和主義が保障されているのかについて、事例を通して人権感覚の修得につながるようになることを目的とする。						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1	憲法と立憲主義		テキストのプロローグとエピローグを読んで理解を深める			4
2	憲法とは何か		テキストの第1章を読んで理解を深める			4
3	象徴天皇制		テキストの第2章を読んで理解を深める			4
4	幸福追求権・基本的人権の保障		テキストの第3章を読んで理解を深める			4
5	法の下での平等		テキストの第4章を読んで理解を深める			4
6	思想・良心の自由、信教の自由		テキストの第5章を読んで理解を深める			4
7	表現の自由		テキストの第6章を読んで理解を深める			4
8	経済的自由権		テキストの第7章を読んで理解を深める			4
9	社会権		テキストの第8章を読んで理解を深める			4
10	人身の自由		テキストの第9章を読んで理解を深める			4

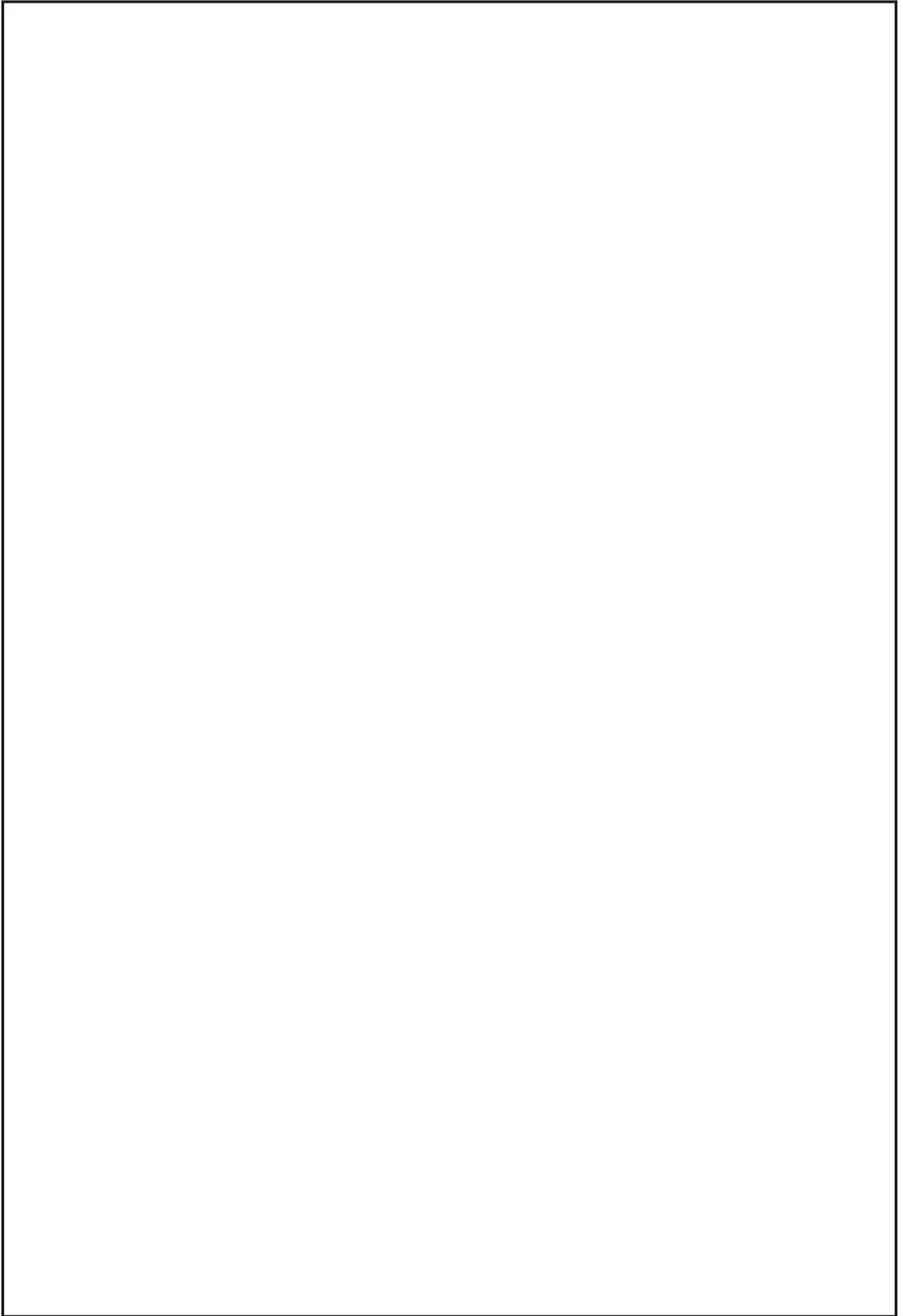
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 平和主義	テキストの第10章を読んで理解を深める	4
12 国会	テキストの第11章を読んで理解を深める	4
13 内閣	テキストの第12章を読んで理解を深める	4
14 裁判所	テキストの第13章を読んで理解を深める	4
15 地方自治	テキストの第14章と授業で配布したすべての資料を活用して理解を深める	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕  必ず指定のテキストを持参すること。授業を受けながら適時ノートをとること。  講義時に適宜資料を配布する。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕  定期試験（70%）、レポート（30%）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕  試験のポイントについて解説する。レポートや小テストを添削し返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK06	1年次 前期	講義	2	福原 英起	『「なんとかする」子どもの貧困』 湯浅誠、角川新書 『社会福祉小六法2026〔令和8年版〕』 ミネルヴァ書房
科目名	子どもと人権		担当形態			
			単独			
【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (9) (10) (11)						
【授業の概要】 子どもの貧困率は、2015年現在、13.9%で全国に約280万人で7人に1人の割合となっている。この授業では、子どもを取り巻く国内外の人権問題を取り上げながら解説し、現状の理解を深めていく。さらに、社会や大人の責務として、日本国憲法や子どもの権利条約が幸福追求権や子どもの最善の利益の確保の保障を要請している点を踏まえながら、現代社会の問題状況を明確にし、将来を担う子どもの人権保障のあり方について考察していく。						
【授業科目の到達目標】 子どもを取り巻く現状とその問題に対する社会的取り組みを理解する。その際、「貧困」をキーワードとして、社会に貧困がある理由やそのマイナスの影響等について触れることで、法制度のはざままで奪われてしまう子どもの権利について概観する。そして、具体的な「貧困」解決のための取り組み事例を検討しながら、子どもの最善の利益に配慮した社会にどうすれば繋がるのかについて、各自が考察できるようにすることを目的とする。						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 「貧困」とは何か				指定テキストの第1章を読んで理解する。		4
2 「貧困率」と日本社会				指定テキストの第1章、配布資料を読んで理解する。		4
3 労働と貧困（子育て世帯）				指定テキストの第1章、配布資料を読んで理解する。		4
4 貧困が引き起こす子どもへの影響				指定テキストの第1章、配布資料を読んで理解する。		4
5 子どもの貧困対策法について				配布資料を読んで理解する。		4
6 多様に捉える子どもの貧困 （諸外国との比較を通して）				配布資料を読んで理解する。		4
7 すべての子どもへの見守りと支援 （保育所を中心に）				配布資料を読んで理解する。		4
8 社会的養護における子どもの現状				配布資料を読んで理解する。		4
9 ひとり親世帯				配布資料を読んで理解する。		4
10 生活保護世帯				配布資料を読んで理解する。		4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 格差・貧困と学力	指定テキストの第2章、第4章、配布資料を読んで理解する。	4
12 若者の貧困	配布資料を読んで理解する。	4
13 子どもの貧困に取り組む企業の取り組み	指定テキストの第2章、第3章を読んで理解する。	4
14 子どもの貧困に取り組む自治体の取り組み	指定テキストの第2章、第3章、配布資料を読んで理解する。	4
15 貧困の連鎖を断ち切る取り組み	指定テキストの第4章、配布資料を読んで理解する。	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 指定テキスト、配布資料を持参し、適宜ノートを取る。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 期末レポート（70%）、ワークシート（30%）</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 ワークシートを添削し返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK07	1年次 後期	講義	2		
科目名	自然科学概論		担当形態 単独			

今年度開講せず



科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AK08	1年次 後期	講義	1	若井 由梨	適宜資料をプリントにて配布する
科目名	体育講義		担当形態			
			単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕						
〔授業の概要〕 人生100年時代と呼ばれている長い人生において、より健康でより豊かな生活を営むためには、心と身体にかかわる基礎知識、健康・体力づくりの重要性を理解する必要がある。また運動能力や体力の二極化現象が課題となる現代において、幼児期におけるさまざまな運動が社会生活の変化に大きく影響しているということをふまえ、日々の運動の必要性を認識できるようにする。なお本授業は、高等学校の学修をより深め、大学、社会への円滑な移行を図るために必要な学修方法の習得等を目的とした内容とする。						
〔授業科目の到達目標〕 到達目標は以下のとおりである。 ①自身の身体の基礎知識や体力について理解することができる。 ②自身の健康観や運動の重要性に気づき、日常の実践活動に生かすことができる。 ③子どもの発育発達の基礎を理解できるようになる。						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 ガイダンス／健康とは何か－自己の健康管理－				予習：シラバスをよく読んでおく		4
				復習：授業全体の様子を把握する		
2 運動の基礎理論				予習：運動の基礎理論について資料を読んでおく		4
				復習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる		
3 運動が身体に及ぼす影響				予習：運動の効果について資料を読んでおく		4
				復習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる		
4 体育の目的とは－体育授業で何を学ぶか－				予習：保健体育授業の受講経験を思い返しておく		4
				復習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる		
5 熱中症・AED応急処置の対応				予習：熱中症についての資料を読んでおく		4
				復習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる		
6 姿勢と健康				予習：姿勢についての資料を読んでおく		4
				復習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
7 自己のライフスタイルに合った健康・体力づくり	予習：自身が考案した運動実践プランを考案してくる	4
	復習：授業内容を振り返り、ノートにまとめる	
8 まとめ	授業全体のまとめを行う	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>本授業では、毎授業の最後に学習の習熟度を図る小テストを実施する。 授業中にプリントを配布するため、資料保管用のファイル等を準備しておくこと。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>最終テスト（60点）、ミニプレゼン（30点）、参加意欲（10%）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>毎授業のはじめに前回授業の復習を行い、個別指導を行う。 レポート課題に対しても授業内で取り上げ、フィードバックを行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AJ09	1年次 前期	実技	1	若井 由梨	必要に応じてプリントにて配布
科目名	体育実技		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (3) (4) (8) (10) (11) (13)</p>						
<p>【授業の概要】 運動は健康で生き生きと生きていくために欠かせない大切な要素の一つである。何もかもが便利になり省エネ化された現代社会において、私たちは運動不足になりがちである。生涯を通してスポーツに親しみ実践していかれるかどうかは青年期の取り組みが大切であるため、この授業ではその第一歩として、基礎的な体力づくりとしてのリズム運動、ボール運動などを通して運動実践能力を高める。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】 音のリズムに乗ってキビキビとダイナミックに動けるようになる。 ボール運動に親しみ、チームで協力し合ってゲームを楽しく行えるようになる。</p>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1	オリエンテーション／リズム運動① 基本の姿勢、ポジションが理解できる			予習：シラバスを読み授業の展開を把握		—
2	リズム運動② リズムに乗って動くことができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
3	リズム運動③ 基本のステップに乗って動くことができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
4	リズム運動④ 自分でカウントをとることができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
5	リズム運動⑤ 簡単なフレーズを覚えることができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
6	リズム運動⑥ 定型の動きを緩急つけて動くことができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
7	リズム運動⑦ 一つの曲を通して動くことができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
8	リズム運動⑧ 動きのつながりを意識して動くことができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
9	リズム運動⑨ 客観的な動きの見せ方を理解して動くことができる			復習：授業内で振付された動きを復習する		—
10	リズム運動⑩ 舞台上で動くダイナミックな表現について理解する			復習：発表会を中間レポートとして振り返る		—

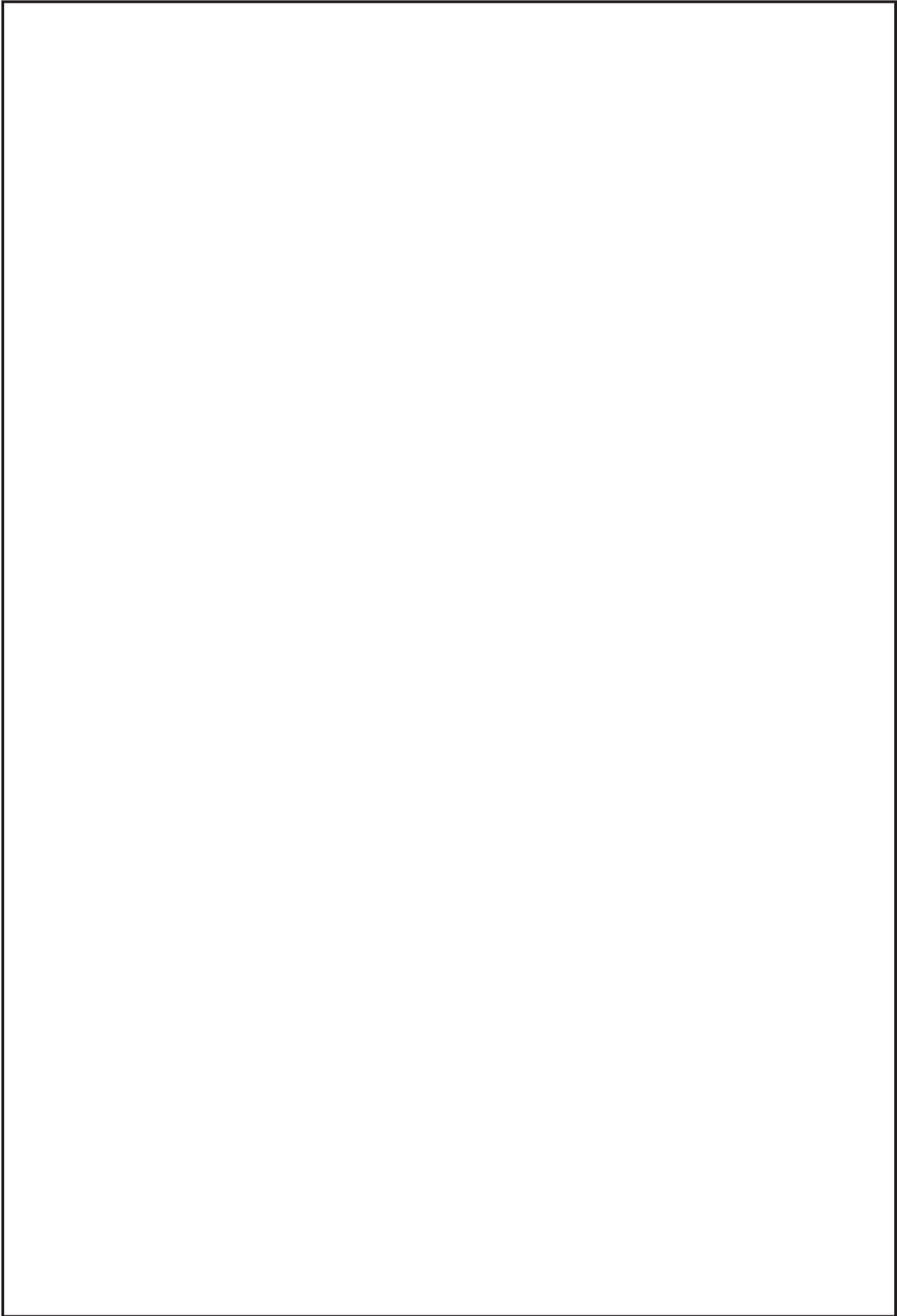
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 ボール運動① バレーボール 基礎技能、ゲームの実践	予習：ルールについて確認しておく	—
	復習：授業における動きのポイントをまとめておく	
12 ボール運動② バスケットボール 基礎技能、ゲームの実践	予習：ルールについて確認しておく	—
	復習：授業における動きのポイントをまとめておく	
13 ボール運動③ バドミントン 基礎技能、ゲームの実践	予習：ルールについて確認しておく	—
	復習：授業における動きのポイントをまとめておく	
14 ボール運動④ ドッチボール 基礎技能、ゲームの実践	予習：ルールについて確認しておく	—
	復習：授業における動きのポイントをまとめておく	
15 まとめ	授業全体のまとめを行う	—
〔学習上の留意点・準備等〕 運動に適した身支度を整える。集合・整列をきちんと守る。仲間と協力して行動する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業への取り組み態度50%、中間レポート20%、最終レポート30%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 中間レポートについてコメントし返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2AE10	2年次 通年	演習	2	マッツ・エングバリー	『Speaking of Childcare』 Peter Vincent / Naoko Nakazato 著 『Very Easy True Stories』 Sandra Heyer 著
科目名	英語会話		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (2) (6) (11) (13)</p>						
<p>【授業の概要】</p> <p>保育の場で使う英会話を学びます。</p> <p>テキストは、外国の子どもたちと日本の子どもたちが共に学ぶ国際的な保育園を舞台に、一人の実習生の体験を通して、様々な語彙や会話を学べるようになっていきます。英語は今日、世界共通言語になりつつありますので、これらの会話を身に付ければ保育現場だけではなく、いつでも、どこでも活用できます。</p> <p>言語だけではなく、文化や習慣の違いにも目を向けます。</p> <p>英会話は「習うより慣れる」です。授業では積極的に声を出して練習しましょう。</p> <p>英語の歌、幼児の手遊び唄、簡単なゲームなどな生の英語に触れる機会を多くして、たのしく英語に親しんでいきます。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <p>日常的な場面において英語でのコミュニケーションができるようになる。保育や幼児教育に関する語彙を増やす。</p>						
<p>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</p>						
授業内容			事前事後学修の内容			所要時間
1	S : Unit 1 Classroom English / Whats your name? 【質問と答え、現在形（be動詞、一般動）】		予習： S : Page 6-1 / Classroom Questions, Present Tense, School Items			1
2	V : Unit 1 Shopping Day		復習： V : Page 1-6 / Questions, Grammar + Reading Practice (2)			1
3	S : Unit 2 Where are you from? 【現在形の質問と答え、音（擬音語、擬態語）】		予習： S : Page 12-17 / Wh-questions, Nationalities and Languages, Sounds			1
4	V : Unit 2 Mary Walks Home		復習： V : Page 7-12 / Wh-questions, Nationalities, Languages, Reading Practice			1
5	S : Unit 3 Good morning! 【2語動詞、現在形と現在進行形、頻度】		予習： S : Page 18-25 / Greetings, Real English, Two-Word Verbs, Do vs. Doing, Frequency			1
6	V : Unit 3 Elevator Romance		復習： V : Page 13-18 / Do vs. Doing,+ Reading Practice, Vocabulary			1
7	S : Unit 4 Are you OK? 【症状の説明、医療品】		予習： S : Page 26-31 / Health, Symptoms			1
8	V : Unit 4 A Son for Mr. and Mrs. Aversa?		復習： V : Page 19-21 / Health Talk + Reading Practice			1
9	S : Unit 5 What are you doing? 【特殊な動詞、現在進行形】		予習： S : Page 32-37 / Special Verbs : need, want, know			1
10	V : Unit 5 Is There a Face on Mars?		復習： V : Page 25-28 / Verb Practice + Reading Practice			1
11	S : Unit 6 How are you feeling? 【感情表現、気分を表す形容詞（-ed形、-ing形）、否定の疑問文の答え方】		予習： S : Page 38-45 / Feelings, -ed + -ing adjectives, Yes or No			1
12	V : Unit 6 Neighbors		復習： V : Page 31-36 / Feelings + Adjectives + Reading Practice			1
13	S : Unit 7 What's she like? 【人についての表現、家系図】		予習： S : Page 46-53 / Describe People			1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
14 V : Unit 7 A Smart Mother	復習 : V : Page 37-42 / Descriptions + Reading Practice	1
15 S : Unit 8 Do's and don't's 【命令文、禁止、依頼、標識】	予習 : S : Page 54-62 / Commands (Do/Don't) , Can vs. Could	1
16 V : Unit 8 Stuck!	復習 : V : Page 43-48 / Can/Could, Do/Don't + Reading Practice	1
17 S : Unit 9 Let's eat lunch! 【動詞letの使い方、表現(～しよう、～させる、～してあげる)】	予習 : S : Page 68-73 / Suggestions, Translation	1
18 V : Unit 9 Binti to the Rescue	復習 : V : Page 49-54 / Let's + Reading Practice	1
19 S : Unit 10 What do you want to do? 【表現 (～したい、～したくない)、遊びの言葉、 反対語、表現 (あいづち)、感嘆文】	予習 : S : Page 74-83 / Want to/Don't want to, "play", Reactions, Playground Words, Opposites	1
20 V : Unit 10 Where Is Mrs. Zimmer?	復習 : V : Page 55-60 / "Play" in English + Reading Practice, Reactions, Opposite Words	1
21 S : Unit 11 What do you have to do? 【助動詞、保護者へのメッセージ】	予習 : S : Page 84-91 / Should, Must, Need (Modal Verbs)	1
22 V : Unit 11 Fast Money	復習 : V : Page 61-66 / Modals + Word order + Reading Practice	1
23 S : Unit 12 I need to go potty 【表現 (必ず～する)、表現 (～してくれる?)】	予習 : S : Page 92-99 / Make sure, Can/Could	1
24 V : Unit 12 Returning a Favor	復習 : V : Page 67-72 / Can/Could + Reading Practice	1
25 S : Unit 13 Good job! 【過去形1、褒める表現】	予習 : S : Page 100-107 / Past tense, Giving compliments	1
26 V : Unit 13 Help! I Can't Find My Apartment!	復習 : V : Page 73-78 / Past tense conversation + Reading Practice	1
27 S : Unit 14 Injuries and emergencies 【体の部位、怪我、過去形2】	予習 : S : Page 108-116 / Parts of the Body, Accidents	1
28 V : Unit 14 A Big Tip	復習 : V : Page 79-84 / Body + Reading Practice	1
29 S : Unit 15 We're going to go outside 【未来形1,2、未来表現 (現在進行形)】	予習 : S : Page 117-122 / Future tense, Plans	1
30 V : Review * S : Speaking of Childcare / V : Very Easy True Stories	復習 : S & V : Future talk + Reading Practice	1
*各テキスト1つの Unit を2回かけて終わらせる。		
〔学習上の留意点・準備等〕 テキストについているCDを繰り返し聞き、予復習をする。 授業中のペアワークなどのアクティビティーに積極的に参加する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 前期、後期のテスト60%、提出物20%、音読テスト20%		
〔課題 (試験やレポート等) に対するフィードバック〕 課題と小テストは添削して返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2AE11	2年次 通年	演習	2		
科目名	中国語会話		担当形態			
			単独			

今年度開講せず



科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）																																	
科目コード	1BK01	1年次 前期	講義	2	小川 崇	大桃伸一編『未来を拓く保育の創造』 学術図書出版社																																	
科目名	保育原理		担当形態 単独																																				
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (8) (9) (10) (11)</p>																																							
<p>【授業の概要】</p> <p>現代社会において、乳幼児が成長していくためには、保育という営み、それも専門職としての保育ということが不可欠となっている。本講義では、専門職としての保育者に必要と考えられる、保育についての理念的なとらえ方、諸原理、また保育の歴史や思想、制度などについて学んでいく。そのことによって受講者が自分の言葉で保育について考え、語れるようになることを目指したいと思う。</p>																																							
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育とはどのような営みであるか、理念・思想・歴史・制度・実践など様々な側面から理解する。</li> <li>・保育についての自分なりの見方・考え方（保育観）をもつ。</li> </ul>																																							
<p>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授 業 内 容</th> <th>事前事後学修の内容</th> <th>所要時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保育とはどのような営みか</td> <td>テキスト第2章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 保育はどのように行われてきたか</td> <td>テキスト第3章、第4章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>3 保育はどのように考えられてきたか</td> <td>テキスト第2章、第3章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>4 保育はどこで行われているか① 幼稚園、保育所</td> <td>テキスト第8章、第10章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5 保育はどこで行われているか② 認定こども園</td> <td>テキスト第8章、第10章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6 保育者に求められるものは何か① 保育者の身につけるべき専門性</td> <td>テキスト第7章、第12章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>7 保育者の求められるものは何か② 保育者に求められる専門性</td> <td>テキスト第7章、第12章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>8 子どもの成長発達と子ども理解① 遊びと子ども</td> <td>テキスト第5章、第6章、第7章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>9 子どもの成長発達と子ども理解② 様々な活動と子ども</td> <td>テキスト第5章、第6章、第7章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>10 保育に関わる制度の理解① 教育との関わりから</td> <td>テキスト第4章、第8章を読んで理解を深める。</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>							授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間	1 保育とはどのような営みか	テキスト第2章を読んで理解を深める。	4	2 保育はどのように行われてきたか	テキスト第3章、第4章を読んで理解を深める。	4	3 保育はどのように考えられてきたか	テキスト第2章、第3章を読んで理解を深める。	4	4 保育はどこで行われているか① 幼稚園、保育所	テキスト第8章、第10章を読んで理解を深める。	4	5 保育はどこで行われているか② 認定こども園	テキスト第8章、第10章を読んで理解を深める。	4	6 保育者に求められるものは何か① 保育者の身につけるべき専門性	テキスト第7章、第12章を読んで理解を深める。	4	7 保育者の求められるものは何か② 保育者に求められる専門性	テキスト第7章、第12章を読んで理解を深める。	4	8 子どもの成長発達と子ども理解① 遊びと子ども	テキスト第5章、第6章、第7章を読んで理解を深める。	4	9 子どもの成長発達と子ども理解② 様々な活動と子ども	テキスト第5章、第6章、第7章を読んで理解を深める。	4	10 保育に関わる制度の理解① 教育との関わりから	テキスト第4章、第8章を読んで理解を深める。	4
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間																																					
1 保育とはどのような営みか	テキスト第2章を読んで理解を深める。	4																																					
2 保育はどのように行われてきたか	テキスト第3章、第4章を読んで理解を深める。	4																																					
3 保育はどのように考えられてきたか	テキスト第2章、第3章を読んで理解を深める。	4																																					
4 保育はどこで行われているか① 幼稚園、保育所	テキスト第8章、第10章を読んで理解を深める。	4																																					
5 保育はどこで行われているか② 認定こども園	テキスト第8章、第10章を読んで理解を深める。	4																																					
6 保育者に求められるものは何か① 保育者の身につけるべき専門性	テキスト第7章、第12章を読んで理解を深める。	4																																					
7 保育者の求められるものは何か② 保育者に求められる専門性	テキスト第7章、第12章を読んで理解を深める。	4																																					
8 子どもの成長発達と子ども理解① 遊びと子ども	テキスト第5章、第6章、第7章を読んで理解を深める。	4																																					
9 子どもの成長発達と子ども理解② 様々な活動と子ども	テキスト第5章、第6章、第7章を読んで理解を深める。	4																																					
10 保育に関わる制度の理解① 教育との関わりから	テキスト第4章、第8章を読んで理解を深める。	4																																					

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 保育に関わる制度の理解② 福祉との関わりから	テキスト第4章、第8章を読んで理解を深める。	4
12 子育て支援はどのように行われているか	テキスト第8章、第13章を読んで理解を深める。	4
13 児童虐待について考える	授業時に紹介する参考文献等を読んで理解を深める。	4
14 保育の現状と課題	テキスト第14章を読んで理解を深める。	4
15 まとめ		4
〔学習上の留意点・準備等〕 講義時に適宜参考文献を紹介する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 講義時の小レポート（15%）、中間レポート（40%）、期末レポート（45%）によって評価する。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業時に提出する小レポートを、次回の授業でいくつか取り上げて紹介し、コメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1BK02	1年次 前期	講義	2	小川 崇	特に指定しない。 授業時に資料を配布する。
科目名	教育原理		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕  (1) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>〔授業の概要〕  本講義では、教育という営みを原理的に考察し、理解することを目標としている。原理的とは、基本的なという意味と同時に根本的という意味を含むが、本講義では教育という営みについて様々な観点から考察することで理解を深めていきたいと考えている。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の意義・目的や社会的な役割について理解する。</li> <li>・子どもの発達における教育の重要性について理解する。</li> <li>・本講義を受講するまでに持っていた教育に対する見方のみでなく、様々な教育に対する見方を理解する。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 ガイダンス 教育をどうとらえるか				授業をふりかえって理解を深める。		4
2 教育は何のためにあるのか				授業をふりかえって理解を深める。		4
3 学ぶということはどういうことか				授業をふりかえって理解を深める。		4
4 教育の歴史①（近代以前）				授業をふりかえって理解を深める。		4
5 教育の歴史②（近代以降）				授業をふりかえって理解を深める。		4
6 教育はどのように行われているか 教育の制度				授業をふりかえって理解を深める。		4
7 学校とはどのようなところか				授業をふりかえって理解を深める。		4
8 幼保小の連携				授業をふりかえって理解を深める。		4
9 教育者の役割とは何か				授業をふりかえって理解を深める。		4
10 インクルーシブ教育とは何か				授業をふりかえって理解を深める。		4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 学校以外ではどのような教育が行われているか 生涯学習社会と教育	授業をふりかえって理解を深める。	4
12 現代的課題①	授業をふりかえって理解を深める。	4
13 現代的課題②	授業をふりかえって理解を深める。	4
14 現代的課題③	授業をふりかえって理解を深める。	4
15 授業のまとめとふりかえり	授業をふりかえって理解を深める。	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 授業時に資料を配布する。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕 中間レポート（50%）、期末レポート（50%）によって評価する。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 講義後に提出する「感想」に対して次回の講義でフィードバックを行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1BK03	1年次 後期	講義	2	福原 英起	『新保育ライブラリ子ども家庭福祉』 植木信一、北大路書房 『社会福祉小六法2026〔令和8年版〕』 ミネルヴァ書房
科目名	子ども家庭福祉		担当形態			
			単独			
【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (1) (2)						
【授業の概要】 最新の子ども家庭福祉の動向をより正確に把握しながら、子どもの権利保障や子どもの最善の利益の視点をと おして、より有効な子ども家庭福祉のあり方について学ぶ。						
【授業科目の到達目標】 子ども家庭福祉の専門職者として必要な福祉サービスや制度および社会資源の理解はもとより、子ども家庭福 祉を現場や地域で具現化する主体でもあるという自覚を促すことを目的とする。						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 子ども家庭福祉の枠組みと概要				指定テキストの第1章を読んで理解を深める		4
2 子ども家庭福祉の専門職者と資格制度				指定テキストの第3章4節4. を読んで理解を深める		4
3 子ども家庭福祉の法律や制度				指定テキストの第3章2節を読んで理解を深める		4
4 子ども家庭福祉における保育制度				指定テキストの第4章1節を読んで理解を深める		4
5 児童福祉施設の概要				指定テキストの第3章4節2. を読んで理解を深める		4
6 子ども家庭福祉の相談機関				指定テキストの第3章4節1. を読んで理解を深める		4
7 子どもの健全育成のしくみと概要				指定テキストの第4章2節を読んで理解を深める		4
8 ひとり親家庭の福祉サービス				指定テキストの第4章5節を読んで理解を深める		4
9 児童虐待防止に関する動向と対策				指定テキストの第4章6節を読んで理解を深める		4
10 子どもの権利条約の概要				指定テキストの第2章3節を読んで理解を深める		4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 子どもの権利保障と子どもの最善の利益	指定テキストの第2章2節を読んで理解を深める	4
12 子ども家庭福祉を支える地域組織活動と文化財	指定テキストの第6章3節を読んで理解を深める	4
13 子ども家庭福祉の歴史	指定テキストの第3章1節を読んで理解を深める	4
14 スクールソーシャルワークの意義	指定テキストの第4章7節を読んで理解を深める	4
15 子ども家庭福祉制度のまとめ	授業で配布したすべての資料を活用して理解を深める	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 必ず指定のテキストを持参すること。授業を受けながら適時ノートをとること。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 定期試験</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 試験のポイントについて適時解説する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1BK04	1年次 前期	講義	2	福原 英起	『社会福祉 基本保育シリーズ④』 松原康雄・坪洋一・金子充 中央法規、 『社会福祉小六法2026〔令和8年版〕』 ミネルヴァ書房
科目名	社会福祉		担当形態			
			単独			
【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (8) (9) (12) (13)						
【授業の概要】 現代社会における子どもやその保護者を取り巻く現状は、虐待の増加、子どもの貧困等、子どもの人権が侵害されている事例が多数見受けられる。保育士はもっとも身近な存在であり、保育士に要求される役割と責任はますます大きくなっている。この授業では、社会福祉や子どもの権利条約の理念、制度と法体系、行財政と実施機関、社会福祉専門職等について学ぶ。						
【授業科目の到達目標】 子どもと携わる専門職である保育士として必要な社会福祉や子どもの権利条約の基本理念を基軸としながら、子どもとその家庭の構成員のウェルビーイングを実現していく際に、家庭と地域の社会資源とを結び付けられるようにすることを目的とする。						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 社会福祉の意義と歴史の変遷				テキスト第1章を読んで理解を深める		4
2 社会福祉の諸外国の動向				テキスト第15章を読んで理解を深める		4
3 社会福祉の中の子ども家庭福祉				テキスト第2章を読んで理解を深める		4
4 子どもの権利擁護と社会福祉				テキスト第3章を読んで理解を深める		4
5 家庭支援と社会福祉				テキスト第4章を読んで理解を深める		4
6 社会福祉の制度と法体系（1） （社会福祉、低所得者、障害者関連）				テキスト第5章Step 1を読んで理解を深める		4
7 社会福祉の制度と法体系（2） （子ども、高齢者、地域関連）				テキスト第5章Step 2. 3を読んで理解を深める		4
8 社会福祉行財政と実施機関				テキスト第6章を読んで理解を深める		4
9 社会福祉施設と福祉サービス（1） （保健医療、介護、年金、生活保護）				テキスト第7章Step 2 - 1まで読んで理解を深める		4
10 社会福祉施設と福祉サービス（2） （高齢者、障害者、子ども、社会手当）				テキスト第7章Step 3 - 2まで読んで理解を深める		4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 社会福祉の専門職・実施者	テキスト第8章を読んで理解を深める	4
12 社会保障および関連制度の概要	テキスト第9章を読んで理解を深める	4
13 社会福祉における利用者保護の仕組み	テキスト第12章を読んで理解を深める	4
14 少子高齢化社会への対応	テキスト第13章を読んで理解を深める	4
15 地域福祉の推進とネットワーク	テキスト第14章を読んで理解を深める	4
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 必ず指定のテキストを持参すること。授業を受けながら適時ノートをとること。 講義時に適宜資料を配布する。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 定期試験（60%）、小テスト（20%）、レポート（20%）</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 試験のポイントについて解説する。 レポートや小テストを添削し返却する。</p>		

科 目		開講時期	授業形態	単 位	担 当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1BK05	1 年次 前 期	講 義	2	渡 邊 彩	植木信一ら 『改訂保育者が学ぶ子ども家庭支援論』 建帛社、2024年
科目名	子ども家庭支援論		担 当 形 態			
			単 独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 乳幼児期の子どもと家族を取り巻く状況と社会の変化に伴い、保育者に求められる役割も変化してきている。本講義では、子ども家庭支援の専門職として必要な子ども家庭支援の意義・目的、子ども家庭支援の基本、子ども家庭支援の制度、子ども家庭支援の実践についての理解を図る。 事例に対する自分の考えを文章化するとともに、4～5名でグループワークを行い、他者の意見を傾聴しながら考えを深める。 子ども家庭支援に携わる教員が事例を用いて、援助の過程を具体的にイメージできるように指導する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・子ども家庭支援について、意義・基本的な態度・知識・制度に関する基本的な知識を理解する。 ・子ども家庭支援に関する社会的事象を自分なりに捉え、援助方法を考察し言語化する。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1 子ども家庭支援の意義と役割			テキストを読んで理解を深める。			4
2 子ども家庭支援の視点			テキストを読んで理解を深める。			4
3 保育者による子ども家庭支援の意義と基本			テキストを読んで理解を深める。			4
4 子ども家庭支援のための法制度と社会資源			テキストを読んで理解を深める。			4
5 子育て支援サービスの意義と実際			テキストを読んで理解を深める。			4
6 保育の場における日常的な子ども家庭支援			テキストを読んで理解を深める。			4
7 地域子育て支援活動におけるこども家庭支援			テキストを読んで理解を深める。			4
8 対象別にみた子ども家庭支援 (1) 障害のある子どものいる家庭			テキストを読んで理解を深める。			4
9 対象別にみた子ども家庭支援 (2) 外国とつながる家庭			テキストを読んで理解を深める。			4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 対象別にみた子ども家庭支援 （3）特別な配慮の必要な保護者のいる家庭	テキストを読んで理解を深める。	4
11 子ども家庭支援のためのソーシャルワーク	テキストを読んで理解を深める。	4
12 子ども家庭支援のためのソーシャルワークと 援助希求	テキストを読んで理解を深める。	4
13 子ども家庭支援のためのカウンセリングマイ ンド	テキストを読んで理解を深める。	4
14 児童期・思春期の子どもの精神疾患とアディ クシヨン	テキストを読んで理解を深める。	4
15 子ども家庭福祉の課題と今後の展開 —まとめ—	テキストを読んで理解を深める。	4
〔学習上の留意点・準備等〕 ・随時、参考資料・参考文献を紹介する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 中間レポート（50%）、期末レポート（50%）によって評価する。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 講義後に出された質問・疑問等の内容を整理し、次回以降の講義で説明・コメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1BK06	1年次 前期	講義	2	福原 英起	『よりそい支える社会的養護Ⅰ』 中山政雄編著 教育情報出版 『社会福祉法六法2026〔令和8年版〕』 ミネルヴァ書房
科目名	社会的養護Ⅰ		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>【授業の概要】 社会的養護は、今、大きな変革期を迎えている。2016年の児童福祉法の改正により、初めて「子どもの権利条約の精神」と「子どもの最善の利益」の文言が総則に盛り込まれることとなった。さらに、虐待を受けた子どもに対する社会的養護のあり方が模索されている。この講義では、「社会的養護の課題と将来像」、「新しい社会的養育ビジョン」を踏まえながら、保育士として必要な福祉サービスや制度、社会資源の理解と権利擁護に基づいた支援のあり方について学ぶ。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】 社会的支援を受けて生活を送る子どもとその家族に関わる施設保育士として必要な社会的養護の理念と原理、現状、歴史、権利擁護とその取り組み等の理解を深める。さらに、理念が目指す社会的養護を具現化する上で、施設保育士の果たす役割について考察できるようにする。</p>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 社会的養護の基本理念と原理				指定テキストの第1章を読んで理解を深める。		4
2 社会的養護の歴史①（日本）				指定テキストの第2章、配布資料を読んで理解を深める。		4
3 社会的養護の歴史② （イギリス、ドイツ、スウェーデン）				指定テキストの第2章、配布資料を読んで理解を深める。		4
4 社会的養護の歴史③（アメリカ）				指定テキストの第3章、配布資料を読んで理解を深める。		4
5 子どもの権利擁護				指定テキストの第3章、配布資料を読んで理解を深める。		4
6 社会的養護の体系と実践				指定テキストの第4章を読んで理解を深める。		4
7 社会的養護の領域と概要 （児童養護施設、乳児院）				指定テキストの第5章、配布資料を読んで理解を深める。		4
8 社会的養護の領域と概要 （児童自立支援施設、児童心理治療施設）				指定テキストの第5章、配布資料を読んで理解を深める。		4
9 社会的養護の領域と概要（家庭養護）				指定テキストの第6章を読んで理解を深める。		4
10 社会的養護の領域と概要 （知的障害児施設、肢体不自由児施設、 重症心身障害児施設）				指定テキストの第7章を読んで理解を深める。		4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 社会的養護の領域と概要 （児童発達支援センター）	指定テキストの第7章を読んで理解を深める。	4
12 社会的養護に関わる専門職と倫理	指定テキストの第8章を読んで理解を深める。	4
13 社会的養護に関わる専門機関	指定テキストの第8章を読んで理解を深める。	4
14 社会的養護とソーシャルワーク	指定テキストの第9章を読んで理解を深める。	4
15 施設の運営管理	指定テキストの第10章を読んで理解を深める。	4
〔学習上の留意点・準備等〕 必ず指定テキストを持参しノートを取る。配布資料を読む。		
〔成績評価方法と評価基準〕 定期試験（70%）、小テスト（30%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 小テストを添削して返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2BK02	2年次 後期	講義	2	新保 憲子	幼稚園教育要領解説 (H30年版 文部科学省) 随時講義内容資料を配布
科目名	保育者論		担当形態 単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (3) (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> ・保育者（幼稚園教諭・保育士・保育教諭等）の役割、職務内容を理解し、自分が目指す保育者増を具体的に描く。 ・現代社会の変化と課題を知り、保育職の責務や職業倫理についての理解を深める。 ・幼稚園・保育園・認定こども園及び園長の経験を有する職員が授業を担当する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・乳幼児保育教育の意義と保育者の役割・職務内容を理解する。 ・現代社会における教育・保育の動向を知る。保育者に求められる資質・能力を理解する。 ・子どもの発達を理解し、養護・教育を含めた保育者の職務の全体像を具体的にイメージできる。 ・保育者間の連携・協働について理解する。 ・保育の資質向上のための研修と学び続ける意味を理解する。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション・「保育者になる」ということ	予習：シラバスを読む。テキスト総則を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
2	保育者の仕事と保育者の一日	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
3	保育者の制度的位置（保育者・職業倫理とは）	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
4	子ども理解（子どもをわかるということは）	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
5	保育者としての資質① 保育者の専門性	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
6	保育者としての資質② 期待される役割				4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
7	保育者としての資質③ 豊かな生活				4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
8	保育者の資質向上① 研修	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
9	保育者の資質向上② 学び合う	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 保育者の資質向上③ 連携・協働・共に育ちあう	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
11 社会の変化と保育者の課題① 家庭との連携・支援		4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
12 社会の変化と保育者の課題② 気になる子どもと特別支援	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
13 社会の変化と保育者の課題③ 子育て支援		4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
14 社会の変化と保育者の課題④ 現代社会の変化とICT活用の保育		4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
15 授業のまとめ これからの保育者に期待されること		4
	復習：振り返りをする	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式で毎回資料を配布します。課題・演習の要素も含むため主体的態度で臨むこと。</li> <li>・欠席した場合、必ず次の授業までに資料を受け取りに来ること。</li> <li>・配布資料を積極的に読み「保育者とは」の意味を考える姿勢をもち続けること。</li> </ul>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>課題・授業内レポート（50%） 定期試験（50%）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>課題レポートを添削し返却する。レポートの内容は、必要に応じて学生に紹介する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1CK01	1年次 後期	講義	2	稲場 健	新乳幼児発達心理学 [第2版] -子どもがわかる好きになる 福村出版
科目名	保育の心理学 I (保育の心理学)		担当形態 単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (9) (10) (11)						
<b>〔授業の概要〕</b> 人間の心理は年齢と共にさまざまな発達、変化が生じる。特に乳幼児期は最も変化の著しい時期であり、その後の発達の基礎が築かれる時期である。講義では心理学の知識を基にさまざまな観点から多面的に乳幼児の心理、発達の特徴を学ぶ。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> 1 保育実践に関わる心理学の知識を習得する。 2 発達段階ごとの子どもの発達状況を理解する。 3 保育における発達援助、幼児理解を学ぶ。						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容				所要時間
1	発達のしくみ・・・発達心理学とは	予習：テキストの序文・目次を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返り、テキストのp3～p4、p10～15を讀み返す				
2	発達の様相・・・年齢ごとの発達の様相	予習：テキストの第1章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第1章を讀み返す				
3	自分をとりまく世界の認識1 ・・・認知の発達	予習：テキストの第2章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第2章を讀み返す				
4	自分をとりまく世界の認識2 ・・・思考の発達	予習：テキストの第2章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第2章を讀み返す				
5	自分をとりまく人々との関わり ・・・愛着関係の発達	予習：テキストの第3章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第3章を讀み返す				
6	自分を知る・・・自己の発達	予習：テキストの第4章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第4章を讀み返す				
7	豊かな内的世界1・・・乳児期の情緒発達	予習：テキスト第5章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第5章を讀み返す				
8	豊かな内的世界2・・・幼児期の情緒発達	予習：テキスト第5章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第5章を讀み返す				
9	ことばとコミュニケーションの発達	予習：テキスト第6章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第6章を讀み返す				
10	遊びの発達と友達関係	予習：テキスト第7章を讀んでくること				4
		復習：授業内容をふり返りテキストの第7章を讀み返す				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 社会的認知と社会的行動の発達	予習：テキスト第8章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第8章を読み返す	
12 乳幼児保育と発達	予習：テキスト第9章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第9章を読み返す	
13 さまざまな発達の障害① ～発達の障害とは、精神機能の発達の障害～	予習：テキスト第10章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第10章を読み返す	
14 さまざまな発達の障害② ～身体的障害、ことばの障害など～	予習：テキスト第10章を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返りテキストの第11章を読み返す	
15 まとめ	予習：前回に配布した資料を読んてくること	4
	復習：授業内容をふり返り配布資料を読み返す	
〔学習上の留意点・準備等〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時プリントを配布し理解を補足する。</li> <li>・ 毎回、小テストを実施し、理解を確認する。</li> </ul>		
〔成績評価方法と評価基準〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義時における小テスト40%、レポート60%。</li> </ul>		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。小テストは、講義内で振り返り及び解説を行い、疑問点、質問点についてコメントする。</li> </ul>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2CK02	2年次 後期	講義	2	稲場 健	新基本保育シリーズ9 「子ども家庭支援の心理学」（中央法規出版）、 監修・児童育成協会、編集・白川佳子・福丸由佳
科目名	子ども家庭支援の 心理学		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (9) (10) (11)						
<b>〔授業の概要〕</b> 受精の瞬間から死に至るまで、人間は生涯にわたって発達する。この授業では、初期経験の重要性や発達課題等に焦点を当てながら、生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を学んでいく。また、子どもの発達を支える家族・家庭の意義や機能、現代の社会的状況を学び、子どもと家族・家庭を包括的に捉える視点の習得を図る。そして、親子関係や家族関係について発達の視点から理解できるよう、目指していく。他にも、子どもの健康に関わる問題について学ぶことを通して、子どもの精神保健に関する基礎的な知識の習得を図る。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が授業を担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。</li> <li>・家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。</li> <li>・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。</li> <li>・子どもの精神保健とその課題について理解する。</li> </ul>						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	生涯発達①乳児期の発達	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握してくる。			4	
		復習：テキスト第1講を読み返す。				
2	生涯発達②幼児期の発達	予習：テキスト第2講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
3	生涯発達③学童期の発達	予習：テキスト第3講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
4	生涯発達④青年期の発達	予習：テキスト第4講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
5	生涯発達⑤成人期・中年期の発達	予習：テキスト第5講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
6	生涯発達⑥高齢期の発達	予習：テキスト第6講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
7	家族・家庭の意義と機能	予習：テキスト第7講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
8	家族関係・親子関係の理解	予習：テキスト第8講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				
9	子育ての経験と親としての育ち	予習：テキスト第9講を読んでくる。			4	
		復習：前回の小テストの振り返りを行う。				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子育てを取り巻く社会的状況	予習：テキスト第10講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
11 ライフコースと仕事・子育て	予習：テキスト第11講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
12 多様な家庭とその理解	予習：テキスト第12講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
13 特別な配慮を要する家庭	予習：テキスト第13講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
14 子どもの生活・生育環境とその影響	予習：テキスト第14講を読んてくる。	4
	復習：前回の小テストの振り返りを行う。	
15 子どものこころの健康に関わる問題	予習：テキスト第15講を読んてくる。	4
	復習：今までの学習内容の整理、振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕 ・ 随時プリントを配布し理解を補足する。 ・ 毎回、小テストを実施し、理解を確認する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 小テスト40%、レポート60%。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。小テストは授業内で振り返り及び解説を行い、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2CE03	2年次 前期	演習	1	稲場 健	適宜、資料を配布する
科目名	保育の心理学Ⅱ (子どもの理解と援助)		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (8) (9) (10) (11) (12)						
<b>〔授業の概要〕</b> この授業では、保育の心理学Ⅰで学んだ知識や基本となる援助を踏まえながら、子ども理解の意識や基本となる考え方を、子どもの体験過程に着目することを通して学んでいく。事例を用いたディスカッション、グループワークを行い、子どもに起きている体験がどのようなものなのかを具体的に検討することを通して子どもを理解しようとしていきたい。子どもを理解するための具体的な方法についても学びながら、子どもの理解に基づいた援助や関わりの基本となる考え方が理解できることを目指す。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実践において、子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。</li> <li>・子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。</li> <li>・子どもを理解するための具体的な方法について、その基礎を理解する。</li> <li>・子どもの理解に基づく、保育の援助や制度の基本について理解する。</li> </ul>						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	保育における子ども理解の基礎と意義	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
2	子どもに関わる姿勢、態度の基本 ～子どもへのまなざしと共感的理解～	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
3	子どもを理解する視点①－生活や学びを通して (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
4	子どもを理解する視点②－保育の環境に着目して (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
5	子どもを理解する視点③ －子ども相互の関わりと関係 (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
6	子どもを理解する視点④－集団に着目した育ち (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
7	子どもを理解する視点⑤ －葛藤やつまづきへの関わり (グループワーク、ディスカッション)	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
8	子ども理解のための観察・記録・省察	予習：事前に配布した資料を読んでくる。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
9	子ども理解のための連携－職員間の対話 (グループワーク、ディスカッション)	予習：事前に配布した資料を読んでくる。			1	
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子ども理解のための連携－保護者との情報共有 （グループワーク、ディスカッション）	予習：事前に配布した資料を読んてくる。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
11 発達の課題に応じた援助と関わり① ～事例検討・個人差に着目して～ （グループワーク、ディスカッション）	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
12 発達の課題に応じた援助と関わり② ～事例検討・個と集団の関係に着目して～ （グループワーク、ディスカッション）	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
13 特別な配慮を要する子どもの理解と援助 （グループワーク、ディスカッション）	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
14 発達の連続性と環境の変化、移行、就学支援 （グループワーク、ディスカッション）	予習：保育の心理学Ⅰテキストの関連箇所を読む。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
15 まとめ－子ども理解と援助とのつながり	予習：今までの学習内容の整理をしてくる。	1
	復習：この回でまとめた内容の振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕 保育の心理学Ⅰで用いたテキストを毎回持参すること。グループワーク、ディスカッションにおいては、考えたり、発言したりすることが理解を深めることにつながるため、積極的に取り組む心構えをもって臨むこと。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業内課題40%、レポート60%。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 適宜、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1CK04	1年次 前期	講義	2	俵田真紀子	子どもの保健 中根淳子/佐藤直子 編著 2,200円（ななみ書房） 適宜資料配布
科目名	子どもの保健		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (4) (5)						
<b>〔授業の概要〕</b> 子どもの保健は胎生期から始まり、すべての生まれてきた子どもは、健やかに育つ権利を有する。子どもの健全な発育を支援し、健康増進を図るために、発育・発達を理解し、健康状態の把握・評価を行い、阻害する恐れのある疾患や健康に関する現状や課題を理解し、適切な対応や予防策が講じられるように学習する。 地方自治体の保健衛生業務の経験を有する教員が授業を担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2. 子どもの身体的な発育・発達と保険について理解する。 3. 子どもの心身の健康状態とその把握方法について理解する。 4. 子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容			事前事後学修の内容			所要時間
1 子どもの健康と保健の意義 子どもの定義、健康の概念、子どもに関する保健行政のあゆみ			予習：シラバスを読み、概要、目標、内容などを把握しておく。 復習：教科書P9～13と資料の見直し。			4
2 現代社会における子どもの健康に関する現状と課題と児童虐待防止			予習：資料、教科書P13～16を読んで理解を深める。 復習：虐待の現状、早期発見と防止にどう関わるのかを整理しておく。			4
3 子どもの発育と発達 (1) 身体発育と評価について			予習：配布資料、教科書P19～29を読み、理解を深める。 復習：発育の経過と評価の方法を理解しておく。			4
4 子どもの発育・発達 (2) 生理機能・感覚機能の発達について			予習：配布資料、教科書P30～38を読み理解を深める。 復習：生理機能・感覚機能の発達について整理し、見直ししておく。			4
5 子どもの発育・発達 (3) 運動の発達と評価について			予習：配布資料、教科書P38を読み理解を深める。 復習：発達の原則、原始反射との関連性、観察ポイントと発達の経過を理解する。			4
6 子どもの発育・発達と保健 (4) 精神機能の発達と評価について			予習：配布資料を読み理解を深める。 復習：情緒、言語、社会性の発達と発達の評価の方法を理解する。			4
7 子どもの発育・発達と保健 (5) 子どもの食と栄養について			予習：配布資料、教科書P45～46を読み理解を深める。 復習：乳汁栄養・離乳食・幼児食への保健的配慮を見直ししておく。			4
8 健康状態の把握 (1) 健康診断、健康観察、一般状態と体温・脈拍・呼吸の観察について			予習：配布資料、教科書P59～62を読み理解を深める。 復習：健康観察のポイントを見直ししておく。			4
9 健康状態の把握 (2) 身体測定の方法と成長曲線による評価と保護者との情報共有について			予習：配布資料、教科書P64～69を読み理解を深める。 復習：測定方法の実際、パーセントタイル値（成長曲線）・カウプ指数等の評価を理解する。			4
10 子どもの疾病の予防と適切な対応 (1) 子どもの病気の特徴、感染症について			予習：配布資料、教科書P73～84を読み理解を深める。 復習：授業内容を見直し、整理しておく。			4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 子どもの疾病の予防と適切な対応（2） 免疫・アレルギー、消化器疾患について	予習：配布資料、教科書P84～90を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
12 子どもの疾病の予防と適切な対応（3） 循環器、血液系、内分泌・代謝性疾患について	予習：配布資料、教科書P90～97を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
13 子どもの疾病の予防と適切な対応（4） 神経系、腎・泌尿器、先天性疾患について	予習：配布資料、教科書P90～98を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、整理しておく。	
14 子どもの疾病の予防と適切な対応（5） 感染症法、学校保健安全法で定める疾患と予防について	予習：配布資料を読み理解を深める。	4
	復習：学校保健安全法による予防対策を見直しておく。	
15 子どもの疾病の予防と適切な対応（6） 予防接種と子どもの疾病に対する国の対応について	予習：配布資料を読み理解を深める。	4
	復習：授業内容を見直し、予防接種について整理しておく。	
〔学習上の留意点・準備等〕 限られた時間内で、専門用語も多々ある中で多くのことを学ぶので、前もって予習をしておくことが望ましい。 復習は教科書、配布資料を活用する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業態度、定期試験で評価する。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業中の課題等について添削をして返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2CE05	2年次 前期	演習	1	竹中 僚子	子どもの食生活（第5版） -栄養・食育・保育- 上田玲子 編著 ななみ書房
科目名	子どもの食と栄養 I		担当形態			
			単独			
【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (1) (2) (3) (4) (8) (9)						
【授業の概要】 健康な食生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本知識を学び、子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。 食育の基本とその内容を理解し、地域社会・文化との関わりの中での保育者の役割について理解する。						
【授業科目の到達目標】 ・栄養、食生活の基本を理解し、説明できる。 ・子どもの発達に応じた栄養学の意義と食生活の果たす役割を理解し、説明できる。 ・現代の子どもの食の状況と課題について知り、対処するための知識を習得する。						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 オリエンテーション 食物アレルギー（ビデオ視聴）				予習：シラバスを読み授業の展開を把握する 復習：テキスト第8章p.152～156を読んでくる		1
2 子どもの心身の健康と食生活 子どもの食生活の現状と課題				予習：テキスト第1章p.11～19を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
3 子どもの発育・発達と食生活 食べることに関わる臓器とその作用				予習：テキスト第2章p.21～34を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
4 栄養と食事の基礎知識 ①栄養の意味と栄養素種類、体内での役割				予習：テキスト第3章p.35～41を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
5 栄養と食事の基礎知識 ②糖質の種類、機能、子どもの体内での役割				予習：テキスト第3章p.41～43を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
6 栄養と食事の基礎知識 ③脂質の種類、機能、子どもの体内での役割				予習：テキスト第3章p.43～45を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
7 栄養と食事の基礎知識 ④たんぱく質の種類、機能、子どもの体内での役割				予習：テキスト第3章p.45～47を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
8 栄養と食事の基礎知識 ⑤無機質の種類、機能、子どもの体内での役割				予習：テキスト第3章p.48を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
9 栄養と食事の基礎知識 ⑥ビタミンの種類、機能、子どもの体内での役割				予習：テキスト第3章p.47を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1
10 栄養と食事の基礎知識 ⑦食事摂取基準、エネルギー代謝				予習：テキスト第3章p.40とp.50～61を読んでくる 復習：プリントの内容、練習問題を復習する		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 成長段階別に見た栄養と食生活 ①乳児期の栄養と食生活	予習：テキスト第4章p.73～88を読んてくる	1
	復習：プリントの内容、練習問題を復習する	
12 成長段階別に見た栄養と食生活 ②離乳期栄養	予習：テキスト第4章p.89～103を読んてくる	1
	復習：プリントの内容、練習問題を復習する	
13 成長段階別に見た栄養と食生活 ③幼児期の栄養と食生活の特性	予習：テキスト第4章p.105～112とp.117を読んてくる	1
	復習：プリントの内容、練習問題を復習する	
14 成長段階別に見た栄養と食生活 ④気になる食事行動、食生活における問題と対応	予習：テキスト第4章p.113～117を読んてくる	1
	復習：プリントの内容、練習問題を復習する	
15 前期のまとめ	予習：全配布プリントの整理、内容を理解してくる	1
	復習：各項目の設問について復習する	
〔学習上の留意点・準備等〕 配布プリントの整理、復習を行ない授業内容の理解を深める。		
〔成績評価方法と評価基準〕 プリント復習レポート（50％） レポート（50％）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 練習問題は解答し説明する。提出されたレポートは個別に添削指導する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2CE06	2年次 後期	演習	1	竹中 僚子	子どもの食生活（第5版） -栄養・食育・保育- 上田玲子 編著 ななみ書房
科目名	子どもの食と栄養Ⅱ		担当形態 単独			
【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (1) (2) (3) (4) (8) (9)						
【授業の概要】 子どもの発育発達に応じた食材選択、調理方法、献立作成、安全管理を実践し体験することにより、前期で学んだ「子どものための食生活」の知識を確かなものにする。さらに実習を通して保育現場での様々な取り組みを学び、その中での保育者の「食」に関わる役割を理解する。						
【授業科目の到達目標】 ・子どもの発育発達に応じた食事提供の方法を調理実習で習得し、実践する力を身に付ける。 ・食事中の事故発生の防止、対処法を調理実習で習得し、実践する力を身に付ける。 ・献立作成、食事指導を習得し、実践する力を身に付ける。						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	調理実習オリエンテーション No1 かつお節出汁の取り方	予習：予定表、衛生管理のプリントを読んてくる	復習：資料プリントで復習する	1		
2	基礎調理1 子どもの発育・発達に応じた食事 No2 さつまいもご飯・みそ汁・だし巻き卵	予習：レシピプリントを読んで実習の手順を理解してくる	復習：資料プリントで復習する	1		
3	(和風出汁の取り方、使い方を学ぼう)			1		
4	基礎調理2 子どもの発育・発達に応じた食事 No3 コンソメスープ・肉のピカタ	予習：レシピプリントを読んで実習の手順を理解してくる	復習：資料プリントで復習する	1		
5	(洋風スープの取り方、肉の調理方法を学ぼう)			1		
6	幼児期の食事1 子どもの偏食 No4 ムニエル、人参ポタージュスープ	予習：レシピプリントを読んで実習の手順を理解してくる	復習：資料プリントで復習する	1		
7	(魚、野菜嫌いを改善する方法を考えよう)			1		
8	乳児期の食事 発育・発達に応じた離乳食 No5 おかゆ・豆腐と野菜のペースト等	予習：レシピプリントを読んで実習の手順を理解してくる	復習：資料プリントで復習する	1		
9	(離乳初期、離乳中期の食事の作り方を学ぼう)			1		
10	幼児期の食事2 子どもの咀嚼力 No6 ひじきご飯・けんちん汁・青菜のごま和え	予習：レシピプリントを読んで実習の手順を理解してくる	復習：資料プリントで復習する	1		
11	(食材の選択、野菜の切り方を学ぼう)			1		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
12 幼児期の食事3 間食作り No7 ジャがいも餅・豆腐白玉・果汁寒天	予習：レシピプリントを読んで実習の手順を理解してくる	1
13（間食の役割、食物アレルギー対策） （誤嚥・誤飲事故対策を学ぼう）	復習：資料プリントで復習する	1
14 食育	予習：テキスト第10章p.183～208を読んでくる 全配布プリントの整理、内容を理解してくる	1
15 前期のまとめ	復習：課題プリントの内容を復習する 各項目の設問について復習する	1
〔学習上の留意点・準備等〕 実習プリント、学習内容をまとめた資料プリントを配布し毎回の課題を理解する。 身支度、実習室を整えることで衛生管理について理解する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 定期試験（50％） レポート（50％）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 毎時間、実習後に実習プリント、資料プリントの重要ポイントの確認を行う。 レポート課題に対する個別指導を行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DK01	2年次 前期	講義	2	新保 憲子	幼稚園教育要領解説 (H30年版・文部科学省) 随時講義内容資料を配布
科目名	カリキュラム論 (保育の計画と評価)		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (4) (5) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>〔授業の概要〕</b> ・元幼稚園教諭・保育園保育士・幼稚園延長経験を活かし、園運営・保育実習の具体例を示す。また、学生自ら保育・教育ビジョンを作成することを通し、全体的計画、カリキュラム・マネジメントについて具体的に指導を行う。 ・カリキュラムを実践していく保育士・幼稚園教諭としての資質能力の向上を目指し、具体的な保育実践例を読み解き、幼児教育の理解を深める授業を行う。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> ・保育所・幼稚園・認定こども園の運営には、カリキュラム・マネジメントが必要であることを理解する。 ・保育所・幼稚園・認定こども園の役割の重要性を理解する。 ・カリキュラム・マネジメントにおける教育的意義を知り、幼児教育の重要性を理解する。 ・保育・教育ビジョン作成のグループワーク、発表を通し、保育士・幼稚園教諭としての知識・実践力・責任ある態度を身に付ける。						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション・保育園、幼稚園の役割 (法令の理解・幼稚園教育要領の理解)	予習：シラバスを読む。テキスト総則を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
2	幼児教育の意味と重要性	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
3	幼児教育の教育課程・指導計画の基本	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
4	幼児教育の総合的教育の意味と実践 (健康領域の視点から深める)	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
5	幼児教育の総合的教育の意味と実践 (言葉・表現領域の視点から深める)	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
6	幼児教育の総合的教育の意味と実践 (年少・年中児表現から深める) (グループワーク)	予習：子ども主体の劇とは何かを考える			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
7	幼児教育の総合的教育の意味と実践 (年長児表現から深める) (グループワーク)	予習：子ども主体の劇とは何かを考える			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
8	幼児教育の総合的教育の意味と実践 (環境領域の視点から深める) (グループワーク)	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
9	幼児教育の総合的教育の意味と実践 (人間関係領域の視点から深める) (グループワーク)	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
10	環境を通して行う教育とは (グループワーク)	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			4	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 幼児における協同体験の重要性 （保育・教育ビジョンの作成） （グループワーク）	予習：テキストから、協同体験の意味を読み取る	4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
12 保幼小架け橋期の意味と重要性 （保育・教育ビジョンの作成） （グループワーク）	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
13 保幼小架け橋期の接統計画と実際 （保育・教育ビジョンの作成） （グループワーク）	予習：学生が体験した幼小連携の体験を書き出す	4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
14 保護者連携・地域連携の計画と実際 （保育・教育ビジョンの作成） （グループワーク）	予習：学生が体験した地域連携の体験を書き出す	4
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
15 保育・教育ビジョン作成の発表と意見交換 （プレゼンテーション）	予習：グループ発表の打ち合わせをする	4
	復習：振り返りをする	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎回、幼稚園教育要領で確認しますので必ず持参する。</li> <li>・ 講義形式で毎回資料を配布します。課題・演習の要素も含むため主体的態度で臨むこと。</li> <li>・ 保育・教育ビジョン作成ではグループで一人一人が力を発揮できるように協力する。</li> </ul>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>課題・授業内レポート（20％） グループワークへの取り組み姿勢（30％） 定期試験（50％）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題レポートを添削し返却する。レポートの内容は、必要に応じて学生に紹介する。</li> </ul>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE02	1年次 前期	演習	1	永井裕紀子	渡邊英則・大豆生田啓友編著 「保育内容総論」ミネルヴァ書房 幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説
科目名	保育内容総論Ⅰ		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (6) (8) (9) (10) (11) (12)						
<b>【授業の概要】</b> 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における教育や保育のねらい及び内容（5領域）について理解し、乳幼児期における教育の基本的な考え方について学ぶ。乳幼児期は、多様な体験を積み重ねながら総合的に発達していく時期であることを踏まえ、遊びを中心とした保育内容や総合的な指導のあり方について理解を深める。さらに、模擬保育を通して、幼児の視点に立った保育を構想、実践し、保育者としての自己のあり様について考察し、改善する力を身につける。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育の基本・各領域のねらい及び内容と保育内容の全体構造を理解する。</li> <li>・子どもの発達を踏まえた主体的な学びを生み出す保育の営みと、それを支える評価について理解する。</li> <li>・保育の基本を含めた保育内容の多様な展開について学ぶ。</li> <li>・保育内容の歴史的変遷について理解する。</li> </ul>						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	幼稚園、保育所、認定こども園を知ろう	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
2	子どもの育ちと遊び	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
3	幼稚園教育要領等における保育内容の捉え方 5領域の「ねらい及び内容」	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
4	幼児期に育みたい資質・能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
5	「養護」と「保育内容」	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
6	子ども理解と評価の考え方	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
7	指導計画の作成と理解	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
8	多様な保育の展開	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
9	長時間保育・多文化共生保育	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。			1	
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 特別な配慮を要する子どもの保育・医療的ケア児	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
11 小学校を踏まえた保育	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
12 保育内容の歴史の変遷	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
13 模擬保育（準備）	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
14 模擬保育（実践）	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
15 授業の振り返り	事前：指定されたテキストの該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
〔学習上の留意点・準備等〕 参考文献として幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を使用する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 筆記試験50%、模擬保育50%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE03	1 年次 後 期	演 習	1	松延 毅 永井裕紀子	幼稚園教育要領・保育所保育指針 津金美智子ら 新・保育実践を支える健康 福村出版 2018
科目名	健康指導法		担当形態			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (3) (4) (5) (8) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 本授業では、幼稚園教育要領の領域「健康」のねらいと内容及び内容の取扱いについて理解し、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための環境をつくるために必要な知識・技術を身に付けることを目指す。さらに、乳幼児期の健康にかかわる生活習慣、身体の発育、生理的機能の発達についての基本的な知識の理解を深め、適切な指導方法を身に付けることを目指すものである。 幼稚園・保育園・認定こども園及び園長の経験の有する職員が授業を担当する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・幼稚園教育要領の領域「健康」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達・学びの過程を理解した上で、領域「健康」に関する具体的な指導場面を想定し、保育を構想する力を身に付ける。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1	保育における「健康」とは （身体の発育と生理的機能の発達） （担当：松延）		テキストを読んで理解を深める。			1
2	基本的な生活習慣の形成を支える援助 （健康指導・給食指導） （担当：松延）		テキストを読んで理解を深める。			1
3	健康管理と安全能力を育む援助 （交通安全・防災） （担当：松延）		テキストを読んで理解を深める。			1
4	健康な心と体を育む保育の構想 （計画立案と教材研究） （担当：松延）		学んだことを基に保健指導を考える。			1
5	健康な心と体を育む保育の構想 （保育指導実践1） （担当：松延）		考えた保健指導を実践する。			1
6	健康な心と体を育む保育の構想 （保育指導実践2） （担当：松延）		考えた保健指導を実践する。			1
7	健康な心と体を育む保育の構想 （教育課程と行事） （担当：松延）		テキストを読んで理解を深める。			1
8	多様な動きの経験を促す遊び・運動1（計画） （担当：松延）		多様な動きを取り入れた運動遊びを計画する。			1
9	多様な動きの経験を促す遊び・運動2（実践1） （担当：松延）		多様な動きを取り入れた運動遊びを計画する。			1
10	多様な動きの経験を促す遊び・運動2（実践2） （担当：松延）		多様な動きを取り入れた運動遊びを計画する。			1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 保育場面における健康指導と保護者支援 (担当：永井)	テキストを読んで理解を深める。	1
12 子どもの病気とケア (担当：永井)	テキストを読んで理解を深める。	1
13 乳児期における人権教育としての性 (担当：永井)	資料を読み、理解を深める。	1
14 情緒の発達とこころの健康 (担当：永井)	テキストを読み、理解を深める。	1
15 保育者の精神的健康と備え (担当：永井)	資料を観て理解を深める。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬的に保育者になって実践を行う。見通しをもって教材を準備すること。</li> <li>・随時、参考資料・参考文献を紹介する。</li> </ul>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>実践と中間レポート（60%）、期末試験（40%）によって評価する。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>講義時に出された質問・疑問等の内容を確認し、随時、講義で説明・コメントする。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE04	1年次 後期	講義	1	新保 憲子	幼稚園教育要領解説 （H30年版文部科学省） 領域人間関係（萌文書林）
科目名	人間関係指導法		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (5) (6) (8) (9) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> ・幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児期に育まれる人とかかわる力について理解を深める。さらに、乳幼児の発達を理解し、子どもが主体的・対話的に遊びを通して学ぶプロセスを学ぶ。 ・元幼稚園園長等の現場経験を踏まえ、人とかかわりの中で育つことについて、事例や映像を通して体験的に学び、基礎的な知識を習得する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。 ・遊びや生活の中で育つ人とかかわる力の発達について理解する。 ・人間関係の具体的な場面を想定し、保育を構想・実践する方法を身に付ける。 ・乳幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	幼稚園教育要領の領域「人間関係」のねらいと内容をつかむ	予習：シラバスを読む。テキスト総則を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
2	子どもの育ちと人間関係の理解 ～発達段階と人間関係の重要性を知る	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
3	子どもの育ちと人間関係の理解 個と集団の育ちの関係をj知る（多様性）	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
4	0. 1. 2歳児における人とかかわる力の発達	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
5	3歳児における人とかかわる力の発達	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
6	4歳児における人とかかわる力の発達	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
7	5歳児における人とかかわる力の発達	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
8	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿における人間関係に関する発達と保育	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
9	指導計画の実践から人間関係を読み解く① 長期指導計画	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 指導計画の実践から人間関係を読み解く② 短期指導計画 模擬保育指導案作成	予習：指導案の作成、指導内容の確認	1
	復習：ノートを整理し、事例をまとめる	
11 模擬保育・ロールプレイ	予習：各グループの指導案を読む	1
	復習：ノートを整理し、事例をまとめる	
12 模擬保育・ロールプレイ 振り返りの視点	予習：各グループの指導案を読む	1
	復習：ノートを整理し、事例をまとめる	
13 現代における人間関係の特徴と課題 ①保護者・地域とのかかわり	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	1
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
14 現代における人間関係の特徴と課題 ②保育者同士のかかわり	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	1
	復習：配付資料を再読し、理解を深める	
15 現代における人間関係の特徴と課題 ③幼保こ小の連携・接続に求められていること	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	1
	復習：振り返りをする	
〔学習上の留意点・準備等〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義内容に即した保育現場の写真・動画を活用し、学生の理解を深める。</li> <li>・小課題を提出してもらうので、授業をよく聞き理解しておくこと。</li> </ul>		
〔成績評価方法と評価基準〕		
課題・提出物（50％） 定期試験（50％）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポートを添削し返却する。レポートの内容は、必要に応じて学生に紹介する。</li> </ul>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE05	2年次 後期	演習	1	永井裕紀子	適宜、資料を配布する。
科目名	環境指導法		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (5) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>〔授業の概要〕</b> 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育保育要領、保育所保育指針における領域「環境」のねらいや内容を理解する。自然、もの、事象、文字や記号、地域、文化など身近な環境が子どもの成長・発達に果たす役割を学ぶとともに、子どもが好奇心や探究心をもって環境に関わりながら、遊びや生活を広げ深めていく過程と、それを支える保育者の援助について考える。秋の植物調べや伝承遊びを通して、教材活用のあり方への理解を深め、具体的な保育場面を構想する力を身につける。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> ・領域「環境」のねらいと内容を理解する。 ・身近な環境が子どもの成長・発達に果たす意味について理解する。 ・子どもの好奇心や探究心を育て支える保育者の援助について理解する。 ・子どもの好奇心や探究心を育て支える保育者としての具体的な援助について構想する力を身につける。						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1 幼児教育・保育の基本 環境のいろいろ・遊びの広がり		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
2 領域「環境」の「ねらい」及び「内容」		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
3 子どもの育ちと自然環境① 自然との関わりが育むもの		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
4 子どもの育ちと自然環境② 身近な自然に触れて遊ぶ		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
5 子どもの育ちと自然環境③ 自然物から遊ぶ・探求へ		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
6 子どもと生き物との関わり		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
7 命を考える① VTRから学ぶ		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
8 命を考える② 保育にどうつなげるか		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	
9 子どもと数量や図形との関わり		事前：配布資料を読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。			1	

【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子どもと文字や標識との関わり	事前：配付資料を読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
11 日本の伝統的な遊び①（模擬保育の準備）	事前：配付資料を読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
12 日本の伝統的な遊び②（模擬保育の実践）	事前：配付資料を読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
13 日本の伝統的な遊び③（振り返りとまとめ）	事前：配付資料を読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
14 子どもの好奇心探求心を支える育てる保育者の援助について（VTRから考察する）	事前：配付資料を読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
15 子どもの好奇心探求心を支える育てる保育者の援助について（まとめ）	事前：配付資料を読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
<p>【学習上の留意点・準備等】            実習などで領域「環境」の視点から子どもや保育者の援助を観察した事例をまとめておくとよい。</p>		
<p>【成績評価方法と評価基準】            レポート70%、筆記試験30%</p>		
<p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバック】            課題には翌週の授業で発表する時間を設け、コメントをします。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE06	1年次 前期	演習	1	永井裕紀子	適宜資料を配布する。
科目名	言葉指導法		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (2) (9) (11)</p>						
<p>【授業の概要】</p> <p>幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における領域「言葉」のねらいや内容の考え方を理解する。保育場面の子どもの姿に触れながら、乳幼児期の子どもの言葉の育ちを捉える視点を身につけ、保育者としての援助のあり方を構想していく。さらに絵本の製作を通して絵本についての理解や、教材（情報機器含む）活用のあり方について理解を深める。模擬保育では、保育を構想・実施・評価することで、より適切な保育のあり方を考えていく力を身につける。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の教育・保育の基本と全体構造、領域「言葉」に示される「ねらい」及び「内容」を理解する。</li> <li>・乳幼児期の言葉の成長発達の側面から子どもを理解していく力を身につける。</li> <li>・子どもの言葉の発達や学びの過程の理解をもとに、保育者としての具体的な援助のあり方を構想し実践的な力を身につける。</li> </ul>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における教育・保育の基本的な考え方				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
2 言葉とは何か				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
3 領域「言葉」の「ねらい」及び内容				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
4 乳幼児期の言葉の発達と援助の構想 言葉の前のコミュニケーション				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
5 幼児期前期のコミュニケーション				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
6 幼児期中期のコミュニケーション				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
7 幼児期後期のコミュニケーション				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
8 乳幼児の言葉の育ちを支える保育者の援助				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1
9 乳幼児期の子どもにとっての文化財（1） －お話、紙芝居等－				事前：配付資料の該当ページを読む。 事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 乳幼児期の子どもにとっての文化財（2） －絵本の製作－	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
11 児童文化財を用いた模擬保育（計画）	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
12 児童文化財を用いた模擬保育（実践）	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
13 児童文化財を用いた模擬保育（振り返り）	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
14 言葉の育ちに関わる諸問題	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
15 領域「言葉」から広がる小学校教育	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
〔学習上の留意点・準備等〕 参考文献として幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を使用する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 筆記試験50%、模擬保育50%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE07	1年次 前期	講義	1	新保 憲子	幼稚園教育要領解説 (H30年版文部科学省) 随時講義内容資料を配布
科目名	表現指導法		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (6) (9)</p>						
<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の成長過程における多様な表現に関しての感性や表現する力を育む方法を学ぶ。</li> <li>・創造性を豊かに育てるために、幅広く表現教育の意義とその必要性を理解するとともに、表現の基本的な動きを習得する。</li> <li>・表現遊びやリズムミカルな表現をすることを通して、表現することの楽しさを捉えることができるようにする。</li> </ul>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領等示された領域「表現」のねらい及び内容について理解を深める。</li> <li>・子どもの成長過程における多様な表現に関して感性を育て、創造性を育むために、幅広く表現の意義とその必要性を説明できる。</li> <li>・子どもの発達に応じた音楽表現活動の援助に必要な技術を、実践・グループワークを通して習得する。</li> </ul>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 オリエンテーション 領域「表現」と他の領域との関係				予習：シラバスを読む。テキスト総則を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
2 表現とは何か				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
3 子どもの育ちと遊び歌 0から2歳児（未満児）				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
4 子どもの育ちと遊び歌 3から5歳児（以上児）				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
5 子どもの遊びと表現 3歳児のルールのある遊びとは				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
6 子どもの遊びと表現 4・5歳児のルールのある遊びとは				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
7 子どもの遊びと表現 道具を使った遊び（こま）				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
8 子どもの遊びと表現 道具を使った遊び（なわとび）				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		
9 保育者が支える表現				予習：授業内容に関するテキスト部分を読む		4
				復習：配付資料を再読し、理解を深める		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 豊かな表現を支える援助と環境 グループワーク	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：課題をまとめる	
11 豊かな表現を支える援助と環境 グループ発表	予習：課題の確認	4
	復習：自己評価をまとめる	
12 表現活動（実践） グループワーク	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：レポート作成	
13 表現活動（実践） グループワーク	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：レポート作成	
14 表現活動（実践） グループワーク	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む	4
	復習：レポート作成	
15 まとめ		4
	復習：振り返りをする	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式で毎回資料を配布します。課題・演習の要素も含むため主体的態度で臨むこと。</li> <li>・欠席した場合、必ず次の授業までに資料を受け取りに来ること。</li> <li>・6回目の授業から「こま」とそれを入れる「布袋」を用意する。</li> </ul>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>課題・授業内レポート（50%） グループワークへの取り組み姿勢（50%）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポートを添削し返却する。レポートの内容は、必要に応じて学生に紹介する。</li> </ul>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE08	1年次 通年	演習	2	吉田裕子（前期） 佐藤晶子（後期）	幼児のための音楽教育 新・声楽指導教本 教育芸術社
科目名	音楽表現		担当形態			
			オムニバス			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (1) (6) (9) (10) (11)</p>						
<p>【授業の概要】 さまざまな環境や状況に応じた「子どもとともに楽しむ音楽表現」のあり方を研究する。そのために必要となる音楽と表現の知識・技術（生活の中の音楽表現、歌唱・器楽、音楽聴取、創造的音楽活動）を学び、それを自在に応用する手法を身につける。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】 いろいろな楽曲の理解と的確な表現ができる 明朗な発声で歌を歌うことができる 子どもの音楽的発達と表現を理解する</p>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授業内容			事前事後学修の内容		所要時間	
1	音楽理論1 音楽の3要素・学園歌について	旋律・律動・和声について理解する		1		
2	音楽理論2 音価と音高	音価・音高を理解し楽譜が読める		1		
3	音楽理論3 拍子	拍子を理解し楽譜が読める		1		
4	ソルフェージュ1 リズム・視唱	新声楽指導教本P7～P21の内容を理解・実践する		1		
5	ソルフェージュ2 視唱・ハーモニー	上記P22～P31及びP35を理解・実践する		1		
6	発声の基礎1 理論	上記P36～P39を理解する		1		
7	発声の基礎2 実践	P42～P47を理解・実践する		1		
8	音階1 2、3、5音音階	わらべうたの音階を理解し歌える		1		
9	音階2 長音階と短音階	長音階と短音階を理解する		1		
10	調性	子どもの歌でよく使われる調性を理解する		1		
11	子どもの歌1 4～7月	幼児のための音楽教育P31～P66が歌える		1		
12	子どもの歌2 8～11月	上記P59～P98が歌える		1		
13	子どもの歌3 12～3月	上記P99～P132が歌える		1		
14	歌唱表現1 読譜・練習	各自読譜し歌えるように練習する		1		

【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
15 歌唱表現2 実践	全体合唱ができる	1
16 子どもの歌4 愛唱歌	幼児のための音楽教育P141～P166が歌える	1
17 合唱表現1 選曲・読譜	選曲した曲の読譜・練習	1
18 合唱表現2 読譜・練習	正しい発声・音程で歌う	1
19 合唱表現3 パート練習・全体練習	ハーモニーを考慮した練習をする	1
20 合唱表現4 グループ発表	グループ発表の準備・反省	1
21 子どもの発達と音楽表現1 音楽的成長と発達	幼児のための音楽教育P6～P11を理解する	1
22 子どもの発達と音楽表現2 音楽的活動について	上記P12～P17を理解する	1
23 子どもと楽器1 演奏技法	上記P18～P22を理解する	1
24 子どもと楽器2 手作り楽器	手作り楽器について学び、製作する	1
25 リトミック1 理論	配布資料を理解する	1
26 リトミック2 実践	実践の準備・反省	1
27 創作1 旋律	旋律作法を理解する	1
28 創作2 和音	和音連結を理解する	1
29 創作3 発表	グループ発表の準備・反省	1
30 総合演習	理論と実践を多面的に理解する	1
【学習上の留意点・準備等】 ソルフェージュ能力は非常に重要である。予習・復習を怠らないこと。		
【成績評価方法と評価基準】 授業内発表20% 前期試験40% 後期試験40%		
【課題（試験やレポート等）に対するフィードバック】 授業内発表は発表後全体討論を行う。定期試験は結果の内容についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE09	1年次 通年	演習	2	斎藤竜夫他	歌唱教材伴奏法 幼児のための音楽教育 教育芸術社
科目名	ピアノ表現 I		担当形態			
			複 数			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (2) (6) (9)						
〔授業の概要〕 子どもと音楽表現活動を楽しむために必要なピアノ演奏技法を習得する。ピアノの個人レッスンに加え、グループ授業で弾き歌いのためのコード奏法、コード理解のための音楽理論も同時に学ぶ。 I 個人レッスン（弾き歌い） 1対1の個人レッスンによってピアノの演奏技術の体得並びに向上を目指す。学生は担当教員と相談した上、進度に合わせてバイエル・ツエルニー・ソナチネ・インヴェンション等を教材として学ぶ。 II グループワーク（音楽理論） 基本的な音楽理論（楽典）の学習と、それを踏まえてコード理論を学習する。 上記 I・II の内容を総合した弾き歌いの実践として、実際の保育現場において需要の高い曲を実習する。						
〔授業科目の到達目標〕 ・ピアノ演奏技法を習得する ・子どもの歌の弾き歌いができる ・コード奏法を習得する						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1	進度に合わせた個人レッスン グループワーク 長音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
2	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
3	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の I・V による和音伴奏 (1) (歌唱教材伴奏法p4~5)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
4	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の I・V による和音伴奏 (2) (同上p6~7)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
5	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の I・V による和音伴奏 (3) (同上p8~9)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
6	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の I・V による和音伴奏 (4) (同上p10~12)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
7	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の I・V・V7 による伴奏 (1) (同上p14~15)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
8	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の I・V・V7 による伴奏 (2) (同上p16~17)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
9	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の I・V・V7 による伴奏 (3) (同上p18~19)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
10	進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の I・V・V7 による伴奏 (4) (同上p20~21)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
11	進度に合わせた個人レッスン グループワーク 8分音符 (1) (同上p22~23)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		
12	進度に合わせた個人レッスン グループワーク 8分音符 (2) (同上p24~25)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める		1		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
13 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 記譜法 (1) 大譜表	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
14 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 記譜法 (2) ささまざまなリズム	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
15 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の主要3和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
16 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の固有和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
17 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調のカデンツ	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
18 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 指使いについて (1) 指ひろげ (歌唱教材伴奏法p48～49)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
19 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 指使いについて (2) 指ひろげ (同上p50～51)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
20 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 指使いについて (3) 跳躍と左手の指ひろげ (同上p52～53)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
21 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 指使いについて (4) 指かえ (同上p54～55)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
22 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 指使いについて (5) 指またぎと指くぐり (同上p56～57)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
23 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (1) (幼児のための音楽教育 4・5月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
24 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (2) (同上 6・7月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
25 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (3) (同上 8・9月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
26 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (4) (同上 10・11月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
27 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (5) (同上 11・12月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
28 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (6) (同上 1・2月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
29 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 子どものうた (7) (同上 3月)	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
30 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調のまとめ	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
〔学習上の留意点・準備等〕 ピアノの個人練習は毎日行うこと。また音楽理論の理解は子どもと音楽表現活動を行ううえで必須である。		
〔成績評価方法と評価基準〕 音楽理論試験25% 課題曲の合格曲数と進捗75%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個人レッスンでは毎回課題を与え、それにコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE10	1年次 通年	演習	2	村木 薫	随時プリント資料を配布
科目名	造形表現 I		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕  (1) (5) (6) (10)</p>						
<p>〔授業の概要〕  造形表現に関する基礎的な知識や技能を身につけるとともに、保育内容を理解し、造形あそびを展開するために必要な知識や技術を習得する。美しいとはどういうことか、子どもの絵の発達といった内容を実際の制作を通して学び、造形表現の楽しさや喜びを知る。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕  造形活動を通じて様々な技法の理解を深める。  造形活動を通して子どもの表現の理解を深める。  パネルに色彩構成する中で色彩感覚を高める。  パネルシアターなどの課題に取り組み、保育の組み立てを深める。</p>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	造形表現概説 なぜ子どもは絵を描くのだろう	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握	復習：オリエンテーション内容、資料の見直し	1		
2	植物のスケッチ (春の草花を水彩画で描いてみよう)	予習：周辺の植物を観察する	復習：周辺の植物と確認する	1		
3	植物のスケッチ (着色・講評)	予習：再度観察する	復習：作品を鑑賞する	1		
4	事例研究1 (フロッターージュについて)	予習：	復習：作品を鑑賞する	1		
5	事例研究2 (フロッターージュを用いた作品制作)	予習：事前に作品テーマを考えておく	復習：作品を鑑賞する	1		
6	事例研究3 (3原色について)	予習：3原色について調べる	復習：作品を鑑賞する	1		
7	事例研究4 (にじみ、ぼかし、ドリッピング)	予習：	復習：作品を鑑賞する	1		
8	事例研究5 (マースキング、スクラッチ)	予習：	復習：作品を鑑賞する	1		
9	事例研究6 (ボディペインティング)	予習：	復習：作品を鑑賞する	1		
10	事例研究を生かした紙芝居制作1	予習：絵本の紹介・ストーリーを考える	復習：	1		
11	事例研究を生かした紙芝居制作2	予習：	復習：作品の鑑賞	1		
12	事例研究を生かした紙芝居制作3	予習：	復習：作品の鑑賞	1		
13	紙芝居発表	予習：発表の準備	復習：全員の作品を鑑賞する	1		
14	グラデーション演習 (下絵作り)	予習：作品を見て、構想を練る	復習：作品を鑑賞する	1		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
15 グラデーション演習 （着色）	予習：作品を見て、構想を練る	1
	復習：作品を鑑賞する	
16 色彩構成演習 （写実と抽象について）	予習：作品のテーマを探す	1
	復習：資料の見直し	
17 色彩構成演習 （パネルボードに水張り）	予習：作品のテーマを探す	1
	復習：資料の見直し	
18 色彩構成演習 （下絵制作）	予習：作品のテーマを探す	1
	復習：作品を鑑賞する	
19 色彩構成演習 （着色）	予習：資料の見直し	1
	復習：作品を鑑賞する	
20 色彩構成演習 （着色及び講評）	予習：	1
	復習：作品を鑑賞する	
21 植物を用いた平面構成 （材料への関わり）	予習：事前に秋の植物観察を行う	1
	復習：作品を鑑賞する	
22 植物を用いた平面構成 （色・素材から言葉へ）	予習：事前に秋の植物採取を行う	1
	復習：作品を鑑賞する	
23 紙版画制作 （なぐり描きから形の発見へ）	予習：	1
	復習：作品を鑑賞する	
24 紙版画制作 （版制作）	予習：	1
	復習：作品を鑑賞する	
25 紙版画制作 （刷り）	予習：	1
	復習：作品を鑑賞する	
26 事例研究7 （土粘土での表現）	予習：資料の見直し	1
	復習：作品を鑑賞する	
27 パネルシアターの制作 （オリジナルの物語を考える）	予習：制作テーマの資料集め	1
	復習：作品を鑑賞する	
28 パネルシアターの制作 （スケッチ・下絵制作）	予習：	1
	復習：各作品の意見交換をする	
29 パネルシアターの制作 （着色）	予習：	1
	復習：各作品の意見交換をする	
30 発表会・講評会	予習：	1
	復習：作品を鑑賞する	
〔学習上の留意点・準備等〕 随時プリントを配布し、理解を補足する。 課題提出にあたり提出締め切りは必ず守る。 自分の制作だけでなく他の学生の作品をよく見るようにし、お互いの意見交換を行う。		
〔成績評価方法と評価基準〕 提出課題（70％）スケッチブック（20％）小レポート（10％）を併せて評価する		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 ・毎回の授業後に作品の鑑賞会や簡単な講評会を行う。 ・ひとつの作品について感想を述べる小レポートを実施し、自由に鑑賞しあう雰囲気を作っている。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE11	2年次 前期	演習	1	若井 由梨	「乳幼児・児童の運動あそびと表現あそびからだとこころを育む指導法」 大学図書出版、茗井香保里・宮下恭子
科目名	身体表現 I		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (3) (4) (6) (8) (11) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 人生の基礎を培う幼児期においては、心が豊かに開放されるからだを獲得することが重要である。本授業ではダンス（身体表現）の領域からアプローチし、リズムダンスや即興表現を通してひらかれた身体を用いて、さまざまな手がかりによる実践的な指導法を学ぶ。また保育者として基礎的な運動技能を身につけ、仲間とコミュニケーションを取りながら身体を使って表現することの楽しさについて理解を深める。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育における身体表現の特性について理解し、自らの言葉で説明することができる</li> <li>・仲間とコミュニケーションを取りながら、身体を使って表現することの楽しさを実感できている</li> <li>・幼児期の運動発達を理解し、保育者に必要な運動技能を身につけている</li> </ul>						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション／運動技能の基礎① マットを用いた遊び	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握			1	
2	運動技能の基礎② 跳び箱を用いた遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
3	運動技能の基礎③ 縄を用いた遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
4	ミュージカルでの表現方法① 心情を手がかりにした表現	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
5	ミュージカルでの表現方法② 振付のある動きの表現技法	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
6	ミュージカルでの表現方法③ 舞台演出の工夫	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
7	からだオーケストラ からだで音を創ろう	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
8	オノマトペで遊ぼう 動きの質感をからだで表してみよう	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
9	身近なものを使った表現① 新聞紙を使って	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 身近なものを使った表現② タオルや紙を使って	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
11 イメージかるたを手がかりにした表現 二人組で「対決」・「忍者」	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
12 歌詞を手がかりにした動きの創作 絵本「もりのおんがくか」をもとに	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
13 多様な運動体験が子どもにもたらす効果（講義） 外部講師による講義	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
14 多様な動きを育む運動事例の紹介（実技） コーディネーショントレーニング体験	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
15 まとめ 学習内容の総括	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：本授業における到達目標の自己評価	
〔学習上の留意点・準備等〕 実技運動ができる運動着と運動靴を着用する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 技能面：グループワークによる創作活動を適宜発表する中で、評価する（40%） レポート：最終レポート課題で評価する（50%） 参加意欲：授業中の態度をみて評価する（10%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業時間の他、課題に対する個別指導を行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）																																											
科目コード	1DE12	2年次 前期	演習	1	永井裕紀子	適宜資料を配付する。																																											
科目名	言語表現		担当形態																																														
			単独																																														
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (2) (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>																																																	
<p>【授業の概要】</p> <p>子どもの心身の発達に深いかかわりをもつ児童文化財の中から、絵本、紙芝居、素話、言葉遊びなどの言語表現活動に焦点を当てて、保育活動への具体的展開方法や環境構成のあり方などを実践的に学ぶ。</p>																																																	
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育・幼児教育における言語表現の重要性に関する知識を習得し、その意味や意義を理解する。</li> <li>・児童文化財に関心を持ち、活用に向けて積極的に学ぶ意欲を持つ。</li> <li>・乳幼児の発達を理解し、さまざまな児童文化財等の実演を通して、実践に応用できる力を身につける。</li> </ul>																																																	
<p>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業内容</th> <th>事前事後学修の内容</th> <th>所要時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1 オリエンテーション 言葉とは・言葉の育ちと言語環境</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2 子どもの言語表現を育む物語</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3 素話とは</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4 素話の実践</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5 素話の振り返り</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6 紙芝居の特性と演じ方</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7 思いを言語で表現する 魔法のマイクの製作・実践</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8 お話カードの製作・実践</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9 想像と言葉を紡ぐ遊びの実践（カードゲーム）</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10 言葉を楽しむ多様な活動 しりとり、だじゃれ等</td> <td>事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。</td> </tr> </tbody> </table>							授業内容	事前事後学修の内容	所要時間	1 オリエンテーション 言葉とは・言葉の育ちと言語環境	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	2 子どもの言語表現を育む物語	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	3 素話とは	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	4 素話の実践	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	5 素話の振り返り	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	6 紙芝居の特性と演じ方	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	7 思いを言語で表現する 魔法のマイクの製作・実践	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	8 お話カードの製作・実践	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	9 想像と言葉を紡ぐ遊びの実践（カードゲーム）	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	10 言葉を楽しむ多様な活動 しりとり、だじゃれ等	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。
授業内容	事前事後学修の内容	所要時間																																															
1 オリエンテーション 言葉とは・言葉の育ちと言語環境	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
2 子どもの言語表現を育む物語	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
3 素話とは	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
4 素話の実践	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
5 素話の振り返り	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
6 紙芝居の特性と演じ方	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
7 思いを言語で表現する 魔法のマイクの製作・実践	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
8 お話カードの製作・実践	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
9 想像と言葉を紡ぐ遊びの実践（カードゲーム）	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																
10 言葉を楽しむ多様な活動 しりとり、だじゃれ等	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。	1																																															
	事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。																																																

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 保育者として物語を構想する－絵本の製作－ 子どもの発達から物語を考える	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。 事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	1
12 物語の構造を学ぶ	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。 事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	1
13 絵と言葉の関係を考える	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。 事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	1
14 絵本の製作と発表の準備	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。 事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	1
15 絵本の発表と省察	事前：授業に必要な材料や用具を準備しておくこと。 事後：授業内でできなかった内容を終わらせておくこと。	1
〔学習上の留意点・準備等〕 まず、自分で考えてみる。そして考えたことを言葉や形にして表現する姿勢を重視する。他者の意見にも耳を傾けながら、失敗や迷いも学びの過程として、積極的に表現する姿を期待する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 振り返りレポート50%、提出物50%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DK13	1年次 前期	講義	2	鷲尾智恵子	乳児保育指針（厚労省） 実践につながる新しい乳児保育（ミネルヴァ書房） 0・1・2・歳児の発達と保育（郁洋舎）
科目名	乳児保育 I		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (3) (5) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 労働人口減少や人材の社会的活躍の期待・個人意志尊重など妊娠出産育児を取り巻く環境の変化がある。それに伴い出産数の減少がありながらも、低年齢から保育を依頼する機会も増え乳幼児保育の重要性が高まっている。乳幼児保育の意義・目的と役割・現状と課題について学ぶ。地域での子育て支援の現場での体験や保育現場の状況を集め関心や理解が深まる内容とする。学びながら乳児とその家族に対する愛情と尊敬の念が高まり乳児保育を理解する授業とする。 助産師としての実務経験を有する教員が授業を担当する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> (1) 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について学ぶ。 (2) 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた3歳未満児の保育の内容と運営体制について理解する。 (4) 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について学ぶ。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション 乳幼児保育の意義と保育者の役割の重要性	○シラバスを読み授業の展開を把握 ○テキストの活用法を確認			4	
		予習：P 2～9（ミネルヴァ）				
		復習：授業内容の振り返り				
2	乳幼児保育の歴史 乳児保育の現状	予習：P 10～24（ミネルヴァ）			4	
		復習：授業内容の振り返り				
3	発達の連続的理解	予習：P 25～32（ミネルヴァ）			4	
		復習：授業内容の振り返り				
4	子どもの主体性と個々の育ちを大切にする	予習：P 33～40（ミネルヴァ） P 6～26（郁洋舎）			4	
		復習：授業内容から個と主体性の理解				
5	人の発達と保育の営み 0歳児前半 確認小テスト（授業1～4）	予習：P 41～49（ミネルヴァ） P 28～45（郁洋舎）			4	
		復習：授業内容から発達をまとめる				
6	人の発達と保育の営み 0歳児後半	予習：P 50～59（ミネルヴァ） P 46～75（郁洋舎）			4	
		復習：授業内容から発達をまとめる				
7	人の発達と保育の営み 1歳児前半	予習：P 60～67（ミネルヴァ） P 75～107（郁洋舎）			4	
		復習：授業内容から発達をまとめる				
8	人の発達と保育の営み 1歳児後半 確認小テスト（授業5～7）	予習：P 60～67（ミネルヴァ） P 108～128（郁洋舎）			4	
		復習：授業内容から発達をまとめる				
9	人の発達と保育の営み 2歳児前半	予習：P 68～74（ミネルヴァ） P 127～151（郁洋舎）			4	
		復習：授業内容から発達をまとめる				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 人の発達と保育の営み2歳児後半	予習：P 68～74（ミネルヴァ） P 152～177（郁洋舎）	4
	復習：授業内容から発達をまとめる	
11 3歳以上の保育へ 確認小テスト（授業8～10）	予習：P 75～81（ミネルヴァ） P 152～198（郁洋舎）	4
	復習：授業内容の振り返り	
12 子どもの病気と健康・安全	予習：P 82～89（ミネルヴァ）	4
	復習：授業内容から安全への配慮をまとめる	
13 配慮の必要なこどもの保育 連携と協働	予習：P 90～99（ミネルヴァ） P 117～124（ミネルヴァ）	4
	復習：授業内容から自身の考えをまとめる	
14 保護者とのパートナーシップ 乳児や家庭を取り巻く環境の理解	予習：P 108～116（ミネルヴァ）	4
	復習：授業内容から自身の考えをまとめる	
15 保護者とのパートナーシップ 保護者への子育て支援	予習：P 108～116（ミネルヴァ）	4
	復習：授業内容から自身の考えをまとめる	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>学習内容のまとめ・振り返りを行い内容の理解を深める機会とする。課題に対して情報収集し自身の意見を持つ。地域で生活する乳幼児に関心を持ち観察する視点を持つことを意識する。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>試験（60％） 課題への取り組み（20％） 授業態度（20％） 積極性・学習意欲</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>・試験及び授業後の課題等の提出については添削後返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE14	1年次 後期	演習	1	畠山 裕子	保育所保育指針（厚労省） 乳児保育Ⅰ・Ⅱ（萌文書林）
科目名	乳児保育Ⅱ		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (5) (8) (10) (11)						
<b>【授業の概要】</b> 乳児保育Ⅰにおいて履修した基本的理論を踏まえ、乳児期における遊びや生活の具体的な配慮や方法の実践的な理解を深める。テキストを活用し、演習・グループワークを通して一人ひとりを大切にする援助の実際や保育の専門性を学ぶ。人形を用いての具体的な援助の仕方を学び、実践につながる保育技術の習得を目指す。元保育園園長の教員が園運営例、保育実践例を用いてカリキュラム・マネジメントを指導する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> (1) 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 (2) 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解する。 (3) 演習を通して、乳児保育における配慮の実際について具体的に理解を深める。 (4) 上記(1)～(3)を踏まえ、乳児保育の計画の作成について、具体的に理解する。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容		事 前 事 後 学 修 の 内 容				所要時間
1	オリエンテーション 乳児保育の専門性	シラバスを読み、授業の展開を把握				1
2	乳児保育の基本 保育者の受容的で応答的な関わり	予習：テキストⅠ・Ⅱ P19～P23、P141～P148 保育指針 P13～				1
		復習：授業内容の振り返り				
3	乳児保育の遊びと援助の実際① 0歳児	予習：テキストⅠ・Ⅱ P103～P122 乳児保育 P110～P113				1
		復習：授業内容の振り返り				
4	乳児保育の遊びと援助の実際② 1歳児	予習：テキストⅠ・Ⅱ P119～P129				1
		復習：授業内容の振り返り				
5	乳児保育の遊びと援助の実際③ 2歳児	予習：テキストⅠ・Ⅱ P131～P137				1
		復習：授業内容の振り返り				
6	生活と援助の実際① 食事	予習：テキストⅠ・Ⅱ P165～P174				1
		復習：授業内容の振り返り				
7	生活と援助の実際② 排泄・着脱	予習：テキストⅠ・Ⅱ P175～P178				1
		復習：授業内容の振り返り				
8	生活と援助の実際③ 睡眠・清潔	予習：テキストⅠ・Ⅱ P179～P184				1
		復習：授業内容の振り返り				
9	乳児保育における健康と安全	予習：テキストⅠ・Ⅱ P155～P164 P191～P192				1
		復習：授業内容の振り返り				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 長期的指導計画と短期的指導計画		1
	復習：授業内容の振り返り	
11 集団・個別の指導計画		1
	復習：授業内容の振り返り	
12 乳児保育を支える連携 職員間・保護者	予習：テキスト I・II P 151～P 153	1
	復習：授業内容の振り返り	
13 発達や興味に即した環境構成 (グループワーク)	予習：環境構成について調べる	1
	復習：課題についてまとめる	
14 発達や興味に即した環境構成 (個人製作発表)	予習：課題発表の準備をする	1
	復習：課題発表の振り返り	
15 乳児保育Ⅱのまとめ	授業内容を振り返り、気づきをまとめる	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕            学習したことについて振り返りを行い、学びを確実なものにする。課題について自ら考え、他の学生と協力して問題解決をし発表できるようにする。随時授業ノートや配布物を整理する。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕            試験（60％） 課題への取り組み（20％） 授業態度（20％）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕            試験及び授業内容の確認をし、疑問点を解消する。試験及び課題の添削後返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE15	1年次 後期	演習	1	俣田真紀子	子どもの健康と安全 中根淳子／佐藤直子編著 2,200円（ななみ書房） 適宜資料配布
科目名	子どもの健康と安全		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3)						
<b>〔授業の概要〕</b> 「子どもの保健」で学んだことに基づいて、健康と安全の確保に必要な、保育環境への援助、衛生管理、事故防止、安全・危機管理、体調不良時の対応、感染症対策、疾病や障害のある子どもの対応などを具体的に学び、このような保健活動を円滑に推進するには、組織的に取り組む保健計画が必要であることを理解する。子育てのパートナーとして、理論に基づいた実践ができる保育者になることを目指す。保健師として地方自治体の保健業務の経験を有する教員が授業を担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> 1. 保育環境の援助ができるように理解する。 2. 衛生管理、事故防止、安全・危機管理ができるように理解する。 3. 体調不良時の対応が適切にできるように理解する。 4. 感染症対策が実施できるように理化する。 5. 個別的配慮を要する子どもへの対応が適切にできるように理解する。 6. 保健計画の立案及び評価ができるように理解する。						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 保育環境及び援助 保育環境・個別対応と集団全体の健康安全管理について				予習：シラバスを読み、概要、目標、内容などを把握しておく。 復習：教科書P9～11までと資料の見直し。		1
2 保育における健康安全管理の実際（1） 衛生管理について				予習：教科書P15～23を読み、理解を深める。 復習：現場の衛生管理の実施方法を整理しておく。		1
3 保育における健康安全管理の実際（2） 事故防止及び安全対策について				予習：教科書P25～28を読み、理解を深める。 復習：事故死因、発生状況、発達段階から予想される事故などを整理しておく		1
4 保育における健康安全管理の実際（3） 危機管理・災害への準備				予習：教科書P29～33を読み、理解を深める。 復習：授業内容を見直し整理をしておく。		1
5 体調不良等に対する適切な対応（1） 発熱・嘔吐・下痢・咳・発疹・脱水・けいれんについて				予習：資料、教科書P37～51を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、どのような手当をするのか整理しておく。		1
6 体調不良等に対する適切な対応（2） 応急手当：創傷処置・頭部打撲・脱臼・鼻出血・やけどなどについて				予習：資料、教科書P54～57を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、どのような手当をするのか整理しておく。		1
7 体調不良等に対する適切な対応（3） 応急手当：誤飲・誤嚥・溺水・熱中症・食物アレルギー緊急対応について				予習：資料、教科書P58～66を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、どのような手当をするのか整理しておく。		1
8 体調不良等に対する適切な対応（4） 応急手当：救急処置及び救急蘇生法について				予習：資料、教科書P67～74を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、心肺蘇生の方法、気道異物除去方法などを整理しておく。		1
9 感染症対策 小テストの実施、集団発生の予防・投薬について				予習：資料、教科書P79～87を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、感染症の流行を防ぐ方法を整理しておく。		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 保育における保健的対応の基本的な考え方について	予習：資料、教科書P89～110を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、内容を整理しておく。	1
11 個別な配慮を必要とする子どもへの対応（1）慢性疾患（腎疾患・糖尿病・循環器）、アレルギー疾患の子どもについて	予習：資料、教科書P89～117を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、内容を整理しておく。	1
12 個別な配慮を必要とする子どもへの対応（2）精神疾患、発達障害、医療ケアを必要とするの子どもについて	予習：資料、教科書P89～117を読み、理解を深める。 復習：授業を見直し、内容を整理しておく。	1
13 個別な配慮を必要とする子どもへの対応（3）障害のある子どもの対応について	予習：資料、教科書P117～119を読み、理解を深める。 復習：授業内容を見直し、整理しておく。	1
14 健康安全管理に実施体制（1）小テストの実施、職員間の連携と組織的取組・保健活動の計画	予習：資料、教科書P121～126を読み、理解を深める。 復習：授業内容を見直し、整理しておく。	1
15 健康安全管理に実施体制（2）母子保健・地域保健と保育、家庭・専門機関・地域との連携について	予習：資料、教科書P127～136を読み、理解を深める。 復習：授業内容を見直し、整理しておく。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>「子どもの保健」は復習をしておく。限られた時間内で、多くの実践的なことを学ぶので、前もって予習をしておくことが望ましい。授業中はその場でやってみたり、デモンストレーションなどを取り入れるので、協力的な態度を希望する。復習は教科書、配布資料を活用する。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>授業態度、定期試験で評価する。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>まとめの小テストを実施し、添削をして返却する。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE16	2年次 前期	演習	1	小川 崇	特に指定しない。 適宜資料を配付する。
科目名	障害児保育 I		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (2) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>【授業の概要】</p> <p>「障害」の有無に関わらず、すべての子どもたちが豊かな乳幼児期を保障するためには、「障害児（者）」に対する保育や教育がどのように展開されており、そこでは何が大切なものとして考えられてきたかということ、また障害についての基礎的な知識を学ぶことは欠かせない。本演習では障害の定義、障害を取り巻く社会や制度について学び、障害に対する理解を深め、また障害児（者）とどのように関わっていけばよいのかを考えていきたい。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害」とは一般的にどのような状態なのかを理解する。</li> <li>・個別の「障害」について理解を深める。</li> <li>・以上のことを踏まえた上で、「障害児（者）」とどのように関わっていけばよいのかということをも自分なりに考える。</li> </ul>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 障害をどう考えるか				授業内容をふりかえり理解を深める		1
2 障害児保育を支える理念 ノーマライゼーション				授業内容をふりかえり理解を深める		1
3 障害児保育を支える理念 インテグレーション、インクルージョン				授業内容をふりかえり理解を深める		1
4 障害概念の理解				授業内容をふりかえり理解を深める		1
5 「医療モデル」と「社会モデル」				授業内容をふりかえり理解を深める		1
6 障害の理解 身体障害				授業内容をふりかえり理解を深める		1
7 障害の理解 知的障害				授業内容をふりかえり理解を深める		1
8 障害の理解 発達障害 広汎性発達障害				授業内容をふりかえり理解を深める		1
9 障害の理解 発達障害 自閉症				授業内容をふりかえり理解を深める		1
10 障害の理解 発達障害 学習障害				授業内容をふりかえり理解を深める		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 障害の理解 発達障害 注意欠陥・多動症	授業内容をふりかえり理解を深める	1
12 障害児保育の方法	授業内容をふりかえり理解を深める	1
13 障害児保育の実際	授業内容をふりかえり理解を深める	1
14 幼保小の連会	授業内容をふりかえり理解を深める	1
15 全体のまとめとふりかえり	授業内容をふりかえり理解を深める	1
〔学習上の留意点・準備等〕 授業時に適宜参考文献を紹介する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業時の小レポート（15%）、中間レポート（40%）、期末レポート（45%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業時に提出する小レポートを、次回の授業でいくつか取り上げて紹介し、コメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE17	2年次 後期	演習	1	小川 崇	特に指定しない。 適宜資料を配付する。
科目名	障害児保育Ⅱ		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 「障害」の有無に関わらず、すべての子どもたちに豊かな乳幼児期を保障するためには、「障害児（者）」に対する保育や教育がどのように展開されており、そこでは何が大切なものとして考えられてきたか、また障害についての基礎的な知識を学ぶことは欠かせない。ここでは、障害児保育Ⅰでの学習を踏まえて、グループごとにテーマを設定し、調べ、考えたことを発表して質疑応答を行うことで、障害ということ、また障害児（者）とどのように関わるかについての理解を深めていきたい。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・障害児保育Ⅰでの学習を踏まえた上で、グループ内で協力してテーマを設定し、調べ、発表する。 ・上記の過程で、障害児（者）とどのように関わったらよいかという自分なりの考えをより深める。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1	グループ作り	グ ル ー プ ワ ー ク				
2	テーマ学習 1 障害とスポーツ		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
3	テーマ学習 2 障害と表現		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
4	テーマ学習 3 障害とアート		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
5	テーマ学習 4 障害者の就労		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
6	テーマ学習 5 障害者の就労支援		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
7	テーマ学習 6 障害と命の選別		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
8	テーマ学習 7 出生前診断		テーマについてグループで話し合った内容をふりかえる			1
9	発表準備 発表テーマの決定		決定したテーマについて調べる			1
10	発表準備 発表テーマについて調べる		決定したテーマについて調べる			1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕			
授 業 内 容		事前事後学修の内容	所要時間
11	発表準備 配付資料の作成	発表のための配付資料を作成する	1
12	発表1 1、2班	自他のグループの発表をふりかえる	1
13	発表2 3、4班	自他のグループの発表をふりかえる	1
14	発表3 5、6班	自他のグループの発表をふりかえる	1
15	まとめと全体のふりかえり ↓		
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 授業時に適宜参考文献を紹介する。グループワークに関しては、グループ内で協力して課題を行うこと。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 授業時の小レポート（10%）、中間レポート（40%）、グループワーク（50%）</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業に提出する小レポートを、次回の授業でいくつか取り上げて紹介し、コメントする。</p>			

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE18	1 年次 後 期	演 習	1	福原 英起	『よりそい支える社会的養護Ⅱ』 中山正雄監修、教育情報出版 『社会福祉小六法2026〔令和8年版〕』 ミネルヴァ書房
科目名	社会的養護Ⅱ		担当形態			
			単 独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (1) (2) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>【授業の概要】 「保育」の対象は、就学前の乳幼児だと思われることが多いが、社会的養護の現場では18歳未満、場合によっては22歳までの利用が可能となっている。そのため、従来の乳幼児に対する専門性と併せて、学童以上の子どもや大人に対する「施設保育士」としての専門性についても理解できるようにしたい。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】 前期で履修した「社会的養護Ⅰ」の理念、思想、歴史、制度等を踏まえ、施設保育士として必要な福祉サービスや制度、社会資源の理解と、関係機関との連携・協働のあり方について、事例を基に検討を行いながら、専門職者としての自覚を促すことを目的とする。</p>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 社会的養護の機能と枠組み				指定テキストの序章を読んで理解を深める。		1
2 社会的養護の課題				指定テキストの第1章を読んで理解を深める。		1
3 社会的養護を利用する子どもの権利擁護				指定テキストの第2章を読んで理解を深める。		1
4 社会的養護に関わる保育士の倫理および責務				指摘テキストの第3章を読んで理解を深める。		1
5 社会的養護における記録と評価				指摘テキストの第4章を読んで理解を深める。		1
6 施設入所と個別支援計画				指摘テキストの第5章を読んで理解を深める。		1
7 社会的養護施設における支援 （児童養護施設、乳児院）				指摘テキストの第6章を読んで理解を深める。		1
8 社会的養護施設における支援 （児童自立支援施設、児童心理治療施設）				指摘テキストの第6章を読んで理解を深める。		1
9 障害児入所施設における支援 （福祉型）				指摘テキストの第7章を読んで理解を深める。		1
10 障害児入所施設における支援 （医療型）				指摘テキストの第7章を読んで理解を深める。		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 児童発達支援センターの支援 （福祉型、医療型）	指摘テキストの第8章を読んで理解を深める。	1
12 基本的な生活習慣、学習・学校に関わる専門的 技術	指摘テキストの第9章、第10章を読んで理解を深 める。	1
13 対人関係・社会生活に関わる専門的技術	指摘テキストの第11章を読んで理解を深める。	1
14 家庭支援のためのソーシャルワーク	指摘テキストの第12章を読んで理解を深める。	1
15 里親委託児童の支援	指摘テキストの第13章を読んで理解を深める。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 必ず指定テキストを持参すること。授業時の演習に積極的に参加することで、他者との相互理解を図る。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 定期試験（70%）、授業時の演習課題の提出（30%）</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 演習時のポイントについて適宜解説を行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE19	2年次 後期	演習	1	稲場 健	子どもと保護者に寄り添う「子育て支援」 立花直樹・安田誠人 監修 晃洋書房
科目名	子育て支援		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (1) (2) (8) (9) (11)</p>						
<p>【授業の概要】 子育て支援の基礎知識を学ぶと共に、保育の専門性に基づく子育て支援の特性や実際について演習を通して理解する。具体的には、保護者の理解と信頼関係の形成、支援の展開に至る過程について学ぶ中で、計画、記録、評価、職員同士や関係機関との連携のあり方を理解する。支援の実際においては、様々なケースをもとに支援を検討する。子育て支援の現場での支援経験を有する教員が、子育て支援の場の実践例を用いて授業を担当する。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について具体的に理解する。</li> <li>・保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援内容と方法及び技術を、実践例を通して具体的に理解する。</li> </ul>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	子どもの保育とともにを行う保護者の支援	予習：テキストの第1章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
2	日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成	予習：テキストの第2章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
3	保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解	予習：テキストの第3章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
4	子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供	予習：テキストの第4章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
5	子ども及び保護者の状況・状態の把握	予習：テキストの第5章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
6	支援の計画と環境の構成	予習：テキストの第6章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
7	支援の実践・記録・評価・カンファレンス	予習：テキストの第7章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
8	職員間の連携・協働 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働	予習：テキストの第8・9章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				
9	保育所等における支援	予習：テキストの第10章を読む。			1	
		復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 地域の子育て家庭に対する支援	予習：テキストの第11章を読む。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
11 障がいのある子ども及びその家庭に対する支援	予習：テキストの第12章を読む。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
12 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援	予習：テキストの第13章を読む。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
13 子ども虐待の予防と対応	予習：テキストの第14章を読む。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
14 要保護児童等の家庭に対する支援	予習：テキストの第15章を読む。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
15 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解	予習：テキストの第16章を読む。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
〔学習上の留意点・準備等〕 授業においては、グループワークやグループディスカッションを行う。他者の意見を傾聴したり、自分自身が考えたり、発言したりすることが理解を深めることにつながるため、積極的に取り組む心構えをもって臨むこと。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業内課題40%、レポート60%。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 適宜、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1FE01	1年次 後期2 年次 通年	演習	3	全専任教員	各種資料 保育教職実践演習カルテ
科目名	保育・教職実践演習		担当形態 複数			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
〔授業の概要〕 本授業は教職・保育職を円滑にスタートできるよう、保育者として最小限必要な資質・能力を身につけることをねらいとしている。将来保育者となる上で、自己にとって何が課題であるかを自覚し、不足している知識や技能等を補い定着が図れるよう、ロールプレイング、グループ討議、事例研究、現地調査、模擬保育などの方法を用いて授業を構成する。1年次後期は個々に研究領域を選び、研究テーマを設定する。研究テーマに応じて仮の所属ゼミの配属となる。2年次には所属ゼミの教員から指導を受けながら研究結果を個人またはグループで成果をまとめ、発表する。研究テーマに応じて所属ゼミ（仮）が決定する。 ※本授業科目の前半は、高等学校から大学への円滑な移行を図るために必要な学修方法の習得等を目的とした授業内容になっている。						
〔授業科目の到達目標〕 ・社会性や対人関係能力が身についている。 ・聴く、メモを取る、要点をまとめる等の力が身についている。 ・論理的思考力が身についている。 ・レポート・論文等で記述するためのスキルが身についている。 ・プレゼンテーションの技法が身についている。 ・保育者としての使命感や責任感、教育的愛情が身についている。 ・幼児理解や学級経営が身についている。 ・保育内容や指導力が身についている。						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション 保育・教職実践演習個人カルテの作成・記入	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握 復習：		1		
2	研究領域別オリエンテーション	予習：自己の課題を検討（研究テーマ） 復習：		1		
3	個別に研究テーマと目的について考える	予習：自己の課題を検討（研究テーマ） 復習：研究テーマと目的の検討		1		
4	個別に研究方法、研究計画について考える	予習：研究方法・研究計画の立案 復習：		1		
5	個別に研究形態について考える	予習：研究形態の検討 復習：		1		
6	研究テーマに沿ってグループ（個人）編成をする	予習：研究形態の検討 復習：		1		
7	グループまたは個人研究活動① 研究目的・方法の検討（グループワーク）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
8	グループまたは個人研究活動② 研究内容の検討（グループワーク）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
9	グループまたは個人研究活動③ 研究計画の立案（グループワーク）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
10	グループまたは個人研究活動④ テーマ報告会抄録の原案作成（グループワーク）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
11	グループまたは個人研究活動⑤ テーマ報告会抄録の第二校作成（グループワーク）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
12	グループまたは個人研究活動⑥ テーマ報告会抄録の最終校正作成（グループワーク）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
13	テーマ報告会の運営準備	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
14	テーマ報告会（第1グループ）	予習：発表準備 復習：発表結果のふり返り		1		
15	テーマ報告会（第2グループ）	予習：発表準備 復習：発表結果のふり返り		1		
16	グループまたは個人研究活動 先行研究	予習： 復習：ゼミ内テーマ報告会のふり返り		1		
17	グループまたは個人研究活動 各テーマについて先行研究調査等を行い研究方法を具体的に学ぶ	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
18	グループまたは個人研究活動 研究テーマに応じた文献を探す	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		
19	グループまたは個人研究活動 文献を読み込む	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動		1		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
20 グループまたは個人研究活動 専門的用語・意味を理解する	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
21 グループまたは個人研究活動 文献リスト・資料を整理する	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
22 グループまたは個人研究活動 進捗状況をゼミ内発表	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
23 グループまたは個人研究活動 具体的に研究方法を検討し実施する（観察による方法）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
24 グループまたは個人研究活動 具体的に研究方法を検討し実施する（質問紙等による方法）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
25 グループまたは個人研究活動 具体的に研究方法を検討し実施する（面接による方法）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
26 グループまたは個人研究活動 具体的に研究方法を検討し実施する（実践による方法）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
27 グループまたは個人研究活動 中間発表会の準備 ポスター作成（前半）・演奏プログラムの検討	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
28 グループまたは個人研究活動 中間発表会の準備 ポスター作成（後半）・演奏リハーサル	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
29 卒業研究中間発表会（第1グループ）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：発表結果のふり返し	1
30 卒業研究中間発表会（第2グループ）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：発表結果のふり返し	1
31 保育・教職実践演習個人カルテの記入	予習：グループまたは個人研究活動 復習：様々な研究方法で収集した結果を集計する（文献によるもの）	1
32 グループまたは個人研究活動 様々な研究方法で収集した結果を集計し考察する（観察によるもの）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
33 グループまたは個人研究活動 様々な研究方法で収集した結果を集計する（質問紙等によるもの）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
34 グループまたは個人研究活動 様々な研究方法で収集した結果を集計し考察する（面接によるもの）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
35 グループまたは個人研究活動 様々な研究方法で収集した結果を集計し考察する（事例によるもの）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
36 グループまたは個人研究活動 様々な研究方法で収集した結果を集計し考察する（実践によるもの）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
37 グループまたは個人研究活動 個別研究レポートを作成する	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
38 グループまたは個人研究活動 研究発表会の発表要旨を検討する	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
39 グループまたは個人研究活動 研究発表会のポスターを作成する（前半）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
40 グループまたは個人研究活動 研究発表会のポスターを作成する（後半）	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
41 ゼミ内研究発表会	予習：グループまたは個人研究活動 復習：グループまたは個人研究活動	1
42 保育・教職実践演習個人カルテの記入	予習：カルテの記入項目を確認 復習：	1
43 卒業研究発表会 （第1グループ・ポスター発表）	予習：発表準備 復習：発表結果のふり返し	1
44 卒業研究発表会 （第2グループ・ポスター発表）	予習：発表準備 復習：発表結果のふり返し	1
45 卒業研究発表会（第3グループ・演奏）	予習：発表準備 復習：発表結果のふり返し	1
〔学習上の留意点・準備等〕 ゼミ担当の教員と履修カルテの記入を通して自己の学習成果をチェックしながら、保育者として必要な能力を身につける。主体的に活動を進める。		
〔成績評価方法と評価基準〕 3回の発表会（テーマ報告会、中間発表会、卒業研究発表会）のプレゼンテーション力・研究過程の取組み状況・研究成果（100%）を踏まえ、到達目標と照らし成績評価する。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 保育・教職実践演習の履修カルテにゼミ担当教員が所見を記入し返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2BE09	2年次 後期	演習	1	稲場 健	『演習・保育と相談援助』（第2版） 監修 前田敏雄 株式会社みらい
科目名	保育相談の実際		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕  (1) (2) (8) (9) (10) (11) (13)</p>						
<p>〔授業の概要〕  保育における相談援助の知識と技術を身につけることにより、福祉専門職の自覚を形成し、保育者として必要なソーシャルワークのあり方を習得する。また、現在の子どもを取り巻く社会状況を理解・考察し、問題意識を常にもつ姿勢を忘れない保育者を目指す。グループワークやグループディスカッションを通して、グループの意見をまとめる、他者に意見を伝える、他者の意見を傾聴するといった活動を行う。児童福祉施設での勤務経験を有する教員が、相談の実践例を用いて授業を担当する。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活課題の種類と背景が考察できるようになる。</li> <li>・援助に必要な身近な社会資源が理解できるようになる。</li> <li>・福祉の専門性に基づく事例の対応方法が理解できるようになる。</li> <li>・福祉専門用語が理解できるようになる。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 授業・テキストの概要説明				予習：テキストの序文・目次等及びシラバスを読 んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
2 保育と相談援助				予習：テキストの第1章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
3 相談援助とは何か				予習：テキストの第2章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
4 相談援助の過程と連携				予習：テキストの第3章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
5 相談援助者になるために（自己覚知）				予習：テキストの第4章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
6 相談援助者になるために（他者理解）				予習：テキストの第5章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
7 基本的態度、コミュニケーションスキル				予習：テキストの第6章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
8 非言語的コミュニケーションの理解				予習：テキストの第6章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		
9 相談援助者になるために（記録）				予習：テキストの第7章を読んでくる。		1
				復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理 する。		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 生活課題の把握	予習：テキストの第8・9章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
11 相談援助の過程（インテークとアセスメント）	予習：テキストの第10章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
12 相談援助の過程（援助計画）	予習：テキストの第11章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
13 相談援助の過程（実施、評価）	予習：テキストの第12章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
14 児童虐待の事例	予習：テキストの第15章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に、授業内容を振り返り整理する。	
15 まとめ	テキスト、配布資料を参考にしてソーシャルワークについて理解を深める。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>グループワーク、ディスカッションにおいては、考えたり、発言したりすることが理解を深めることにつながるため、積極的に取り組む心構えをもって臨むこと。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>授業内課題40%、レポート60%。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>適宜、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2BE10	2年次 前期	講義	2	稲場 健	適宜、資料を配布する
科目名	特別支援教育概論		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (8) (10)						
<b>〔授業の概要〕</b> 発達障害など、様々な障害等により特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に関する基礎的な知識を学ぶ。具体的には、障害等の特性や心身の発達、学習や生活上の困難について理解する。その上で、個別の教育的ニーズに対する支援方法や個別の教育支援計画の作成などについても学ぶ。また、特別支援教育に関する制度について知り、家族や関係機関と連携しながら支援体制を構築していく必要性や、組織的に対応していくための知識や支援方法についても理解する。特別支援学校での勤務経験を有する教員が、教育現場等での実践例を用いて授業を担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。</li> <li>・特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。</li> <li>・特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。</li> </ul>						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション 特別支援教育の制度、理念について	予習：シラバスを読み、学びの全体像を確認する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
2	障害とは、特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒、特別な教育的ニーズについて	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
3	自閉スペクトラム症の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
4	注意欠如多動症の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
5	知的発達症の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
6	限局性学習症の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
7	視覚障害の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
8	聴覚障害の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				
9	肢体不自由、病弱の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1			
		復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。				

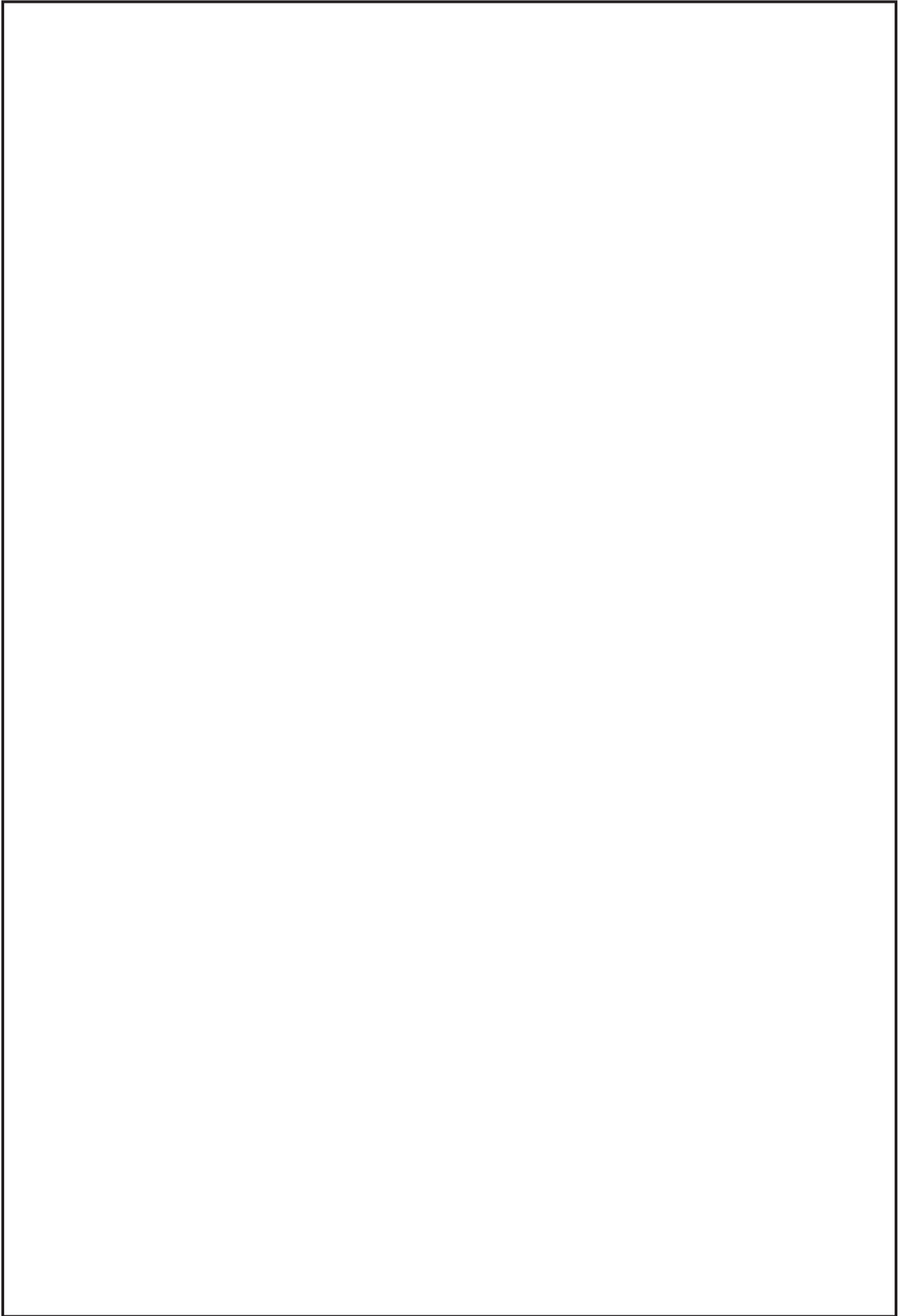
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 様々な障害の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
11 母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の理解と支援	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
12 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容の理解	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
13 個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法の理解	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
14 家庭との連携の必要性和保護者支援について	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1
	復習：授業内容を振り返る。配布資料を読み返す。	
15 特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭との連携、支援体制を構築する必要性の理解	予習：前回の授業で提示した内容について学習する。	1
	復習：この回でまとめた内容の振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕 授業時に適宜、参考文献を紹介する。毎回の授業内で課題を出題し、理解を確認する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業内課題40%、レポート60%。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 適宜、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2CE07	2年次 通年	演習	2	稲場 建	適宜、資料を配布する
科目名	幼児理解と教育相談		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>〔授業の概要〕</b> 教育の基本となる幼児理解の意義や考え方、原理や発達の知識などを理解し、その基礎的態度や姿勢を学ぶと共に、幼児理解の方法としての観察や記録、個と集団の人間関係やその背景の理解を具体的な事例などで学び理解する。また、教育相談の意義や考え方、カウンセリングマインドの重要性を理解し、教育相談における基礎的な理論と知識及び姿勢、技法を学ぶと共に、教育相談の具体的な進め方や、組織的な連携の重要性と意義を発達課題や事例などを通して具体的に理解する。保育、幼児教育の現場での相談・援助経験がある臨床心理士、公認心理師の教員が授業を担当する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児理解の意義や考え方、その原理を理解する。</li> <li>・観察、記録の方法及び個と集団の関係を捉える基礎的な方法を理解する。</li> <li>・教育相談の意義や考え方及び基礎的な理論を理解する。</li> <li>・カウンセリングマインドの重要性及びカウンセリングの基礎的な技法について理解する。</li> <li>・教育相談の進め方及び組織的な連携の重要性と意義について理解する。</li> </ul>						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容				所要時間
1	幼児理解の意義 ～基礎的な姿勢や態度～	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握しておく。	復習：テキスト第1章を読み返す。			1
2	幼児理解の視点 ～子どもの行為の意味や発達の原理～	予習：テキスト第2章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
3	幼児理解における「発達」と「育ち」について	予習：テキスト第5章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
4	幼児理解における「発達段階」と「発達過程」について	予習：テキスト第2章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
5	幼児理解と援助の方法 ～かかわりと理解と修正について～	予習：前回に配布した資料を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
6	幼児理解から生まれる「ねらい」と援助について	予習：前回に配布した資料を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
7	幼児理解における観察の意義と目的	予習：前回に配布した資料を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
8	幼児理解における記録の意義と目的	予習：前回に配布した資料を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
9	幼児理解のための園内研修、カンファレンスの意義	予習：テキスト第8章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
10	カンファレンスのあり方 ～事例をもとにディスカッションしてみる～	予習：テキスト第8章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
11	障害のある子どもの理解と対応について① ～状況、背景の理解、保護者理解～	予習：テキスト第4章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
12	障害のある子どもの理解と対応について② ～個と集団、個別指導、関係者連携～	予習：テキスト第4章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1
13	カウンセリングマインドと幼児理解 ～事例を通して考える問題行動や不適応の意味～	予習：テキスト第1章を読んでくる。	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。			1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
14 カウンセリングマインドと保護者理解 ～事例を通して考える保護者との関わり～	予習：テキスト第1章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
15 家庭支援、子育て支援の必要性について ～保護者への対応、基礎的な態度の理解～	予習：テキスト第3章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
16 教育相談の意義と課題について ～グループワークを通しての検討～	予習：テキスト第8章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
17 相談を支える心理学の基礎的理論① ～発達段階など～	予習：テキスト第2章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
18 相談を支える心理学の基礎的理論② ～発達課題など～	予習：テキスト第2章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
19 相談を支える心理学の基礎理論③ ～精神分析、認知行動療法など～	予習：前日に配布した資料を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
20 相談におけるカウンセリングマインドの重要性と技法① ～ロールプレイ・つながることと見守ること～	予習：テキスト第6章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
21 相談におけるカウンセリングマインドの重要性と技法② ～ロールプレイ・受容と共感～	予習：テキスト第6章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
22 相談と子どものアセスメント	予習：テキスト第5章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
23 相談における危機介入 ～対応と関係者連携のあり方～	予習：テキスト第7章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
24 相談体制と連携のあり方① ～組織的対応と連携～	予習：テキスト第7章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
25 相談体制と連携のあり方② ～地域の医療・福祉等の外部専門機関との連携～	予習：テキスト第7章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
26 相談事例検討① ～目標の立て方、進め方～	予習：テキスト第2部事例編を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
27 相談事例検討② ～情報共有と支援など～	予習：テキスト第2部事例編を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
28 保護者理解と支援 ～保護者のニーズ把握と情報共有、連携～	予習：テキスト第3章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
29 子ども理解と相談支援 ～受容・傾聴・共感的理解など～	予習：テキスト第5、6章を読んでくる。	1
	復習：ノート等を基に授業内容を振り返り、整理する。	
30 支援者自身のメンタルヘルスと課題・まとめ	予習：前日に配布した資料を読んでくる。	1
	復習：今までの学習内容の整理、振り返りを行う。	
〔学習上の留意点・準備等〕		
・ロールプレイ、グループワーク、ディスカッションにおいては、考えたり、発言したりすることが理解を深めることにつながるため、積極的に取り組む心構えをもって臨むこと。		
〔成績評価方法と評価基準〕		
授業内課題40%、レポート60%。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕		
毎回、質問タイムを設け、質問に応じる。授業内で取り組む課題についても解説を行うと共に、疑問点、質問点についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2CE07	2年次 前期	演習	1		
科目名	子どもの保健実習		担当形態			
			単独			

今年度開講せず



科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE20	2年次 前期	演習	1	永井裕紀子	適宜資料を配付する。
科目名	保育内容総論Ⅱ		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</p> <p>(1) (2) (5) (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>〔授業の概要〕</p> <p>乳幼児期の教育は、遊びを通しての総合的な指導であることについて、実習の振り返りや模擬保育の計画・実践・評価から理解を深める。また、ロールプレイングを通して、保育を支える子ども、保護者、同僚との関わりを考え、保育の専門職としての力を身につけることを目指す。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領、幼保連携認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針の基本的理念と内容を理解し、園生活全体を通し総合的に子どもを捉える視点を身につける。</li> <li>・「5領域」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、保育者の役割や環境構成をPDCAサイクルの視点で考察できる。</li> <li>・子ども、保護者、同僚との協働的関係の意義を理解し、保育を支える専門職としての力を身につける。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容		事前事後学修の内容				所要時間
1	実習体験の省察① －子ども理解の視点を養う－	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
2	実習体験の省察② －保育者としての成長を自覚する－	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
3	遊びの実践から学ぶ①	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
4	実践から保育を構想する －子どもの姿の見取りから保育計画へ－	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
5	気づきの共有と保育の総合考察	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
6	遊びの実践から学ぶ②	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
7	実践から保育を構想する －子どもの姿の見取りから保育計画へ－	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
8	気づきの共有と保育の総合考察	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				
9	保育実践を支える関係性 子どもの自己肯定感と保育者の関わり	事前：配付資料の該当ページを読む。				1
		事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 保護者とつながる支援	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
11 同僚と支え合う保育	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
12 よりよい関係を築く関りの省察	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
13 保護者に伝わる連絡帳の書き方	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
14 子どもの育ちを見取る	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
15 まとめ	事前：配付資料の該当ページを読む。	1
	事後：授業内容で感じたこと、考えたこと、疑問をまとめる。	
〔学習上の留意点・準備等〕 参考文献として幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を使用する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業の取り組み姿勢50%、レポート50%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE21	2年次 前期	演習	2	鷺尾智恵子	テキスト利用無し 必要時「プリント配布」
科目名	乳児保育Ⅲ		担当形態 単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】 (8) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>【授業の概要】 地域社会の中での乳児保育支援の連携がどのように行われているのか、具体的な事例を挙げながら対応の実際を理解する機会とする。 支援の連携と必要性を学ぶことで保育者の役割の重要性に気づき、支援につながる思考・行動を取ることが出来ることを学べる授業としていく。 助産師としての実務経験を有する教員が授業を担当する。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】 (1) 地域社会での支援の連携と必要性を理解する。 (2) 多様な保育施設の保育者として、自身の置かれた施設での支援の役割と重要性に気づく。 (3) 支援につながる思考を身に着けることが出来る。 (4) 支援の具体的な計画を立てることが出来、行動できる力が身につく。</p>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	妊産婦の支援・病院 (医師・助産師・看護師・栄養士)	予習：妊娠出産に関心を持ち情報を収集する。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
2	妊産婦の支援・行政 (保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士・児童福祉課)	予習：妊産婦の支援に関心を持ち情報を収集する。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
3	新生児から2カ月児の特徴 乳児の発達	予習：新生児の特徴について理解しておく			1	
		復習：授業内容を整理する。				
4	産後うつ・育児相談の多様性①	予習：産後の心の変化について関心を持ち情報を得ておく。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
5	育児相談事業・育児相談の多様性②	予習：育児の悩みの多様性に関心を持ち内容を調べる。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
6	育児は育自・育児相談の多様性③	予習：育児の悩みの多様性に関心を持ち内容を調べる。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
7	ベビーマッサージ他	予習：親子のふれ合いに関心を持つ			1	
		復習：授業内容を整理する。				
8	育児支援の輪 子育て支援センター、学習館・児童館、コミュニティー 女のスペース新潟長岡・子育て応援グループ他	予習：子育て支援の施設・団体についての情報を得ておく。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
9	育児相談の基礎 (自分の思考の傾向を知る)	予習：心理学の関連資料等目を通しておく。			1	
		復習：授業内容を整理する。				
10	育児相談の基礎 (オムツはずし、睡眠リズム)	予習：乳児の発育発達関連資料に目を通しておく。			1	
		復習：授業内容を整理する。				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 育児相談の基礎 （0才～のほめ方しかり方）	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理する。	
12 育児相談の基礎 （イヤイヤ期とは）	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理し振り返りをしておく。	
13 育児相談の基礎 （乳幼児期からの性教育）	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理し振り返りをしておく。	
14 育児相談の基礎 （きょうだい関係について）	予習：乳児の発育発達に関連資料等に目を通しておく。	1
	復習：授業内容を整理し振り返りをしておく。	
15 まとめ 子育ての基本は乳児期	予習：授業内容を整理しておく。	1
	復習：支援の在り方・方向について自分なりの考えをまとめておく。	
〔学習上の留意点・準備等〕 社会の子育ての問題に関心を持つ。 心理・コミュニケーション論の振り返りをしておく。		
〔成績評価方法と評価基準〕 課題内容（80％） 授業姿勢（20％）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 課題等について添削後返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE22	1年次 後期・集中	演習	3	斎藤 竜夫 村木 薫 若井 由梨	資料を配布・DVD等使用
科目名	表現活動指導法	2年次 前期	担当形態			
			複数			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (6) (9) (10) (11)						
<b>〔授業の概要〕</b> 本授業はミュージカルの制作を課題としている。脚本作りからロールプレイングを通じた役柄作り、また舞台全体を制作し発表する中で、さまざまな表現技法の習熟を図り、保育者としての実践的指導力を高めることを目的に行う学生主体のアクティブラーニング型の授業である。指導形態は3名の教員が、一斉授業とグループワークを併用して展開する。制作した作品は地域社会に発表し、評価を仰ぐことにしている。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルの役柄に応じた表現力を身につける。</li> <li>・保育者に必要な表現力とその指導法を身につける。</li> <li>・ミュージカル練習や舞台作り・発表にかかわる様々な係活動を通じて自主性、責任感、協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力等を身につける。</li> </ul>						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション ミュージカル台本配付 係活動の説明及び希望調査書配付	台本の読み込み			1	
2	オーディション 内容の発表 オーディション 歌の練習	歌の練習 DVDの視聴			1	
3	オーディション 歌・ダンスの練習	各自でダンスの練習			1	
4	オーディション キャスト希望用紙配付・提出締切日提示 オーディション 個別練習	オーディション 課題練習			1	
5	係の決定 リーダー選出 係ごとに活動内容の確認	オーディション 課題練習			1	
6	オーディションのタイムスケジュール発表 オーディション 個別練習	オーディション 課題練習			1	
7	オーディション 結果発表日提示	オーディション 課題練習			1	
8	台本の読み合わせ	台本の読み込み			1	
9	子どもワールドのプログラム編成 舞台の構成、登場・退場方向の確認	歌、セリフ、ダンス練習			1	
10	クラス別子どもワールド発表・鑑賞	歌、セリフ、ダンス練習			1	
11	全体舞台通し練習	歌、セリフ、ダンス練習			1	
12	キャスト別練習① ダンスの振り付けモチーフの創作 歌唱練習	歌、セリフ、ダンス練習			1	
13	キャスト別練習② 各自振り付けモチーフ発表 振り付けの全体創作 歌唱練習	歌、セリフ、ダンス練習			1	
14	キャスト別練習③ ダンスの振り付け練習歌唱練習	歌、セリフ、ダンス練習			1	
15	キャスト別練習④ ダンスの隊形習 歌唱練習	歌、セリフ、ダンス練習			1	
16	キャスト別練習成果の発表及び課題提示	歌、セリフ、ダンス練習			1	
17	係別活動	係別活動内容の把握			1	
18	2月集中授業 シーン別練習Ⅰ S1～S( )	グループ又は個人練習			1	
19	2月集中授業 シーン別練習Ⅰ S( )～S( )	グループ又は個人練習			1	
20	2月集中授業 シーン別練習Ⅰ S( )～S( )	グループ又は個人練習			1	

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
21 2月集中授業 シーン別練習Ⅰ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
22 春季集中授業1日目 シーン別練習Ⅱ S 1 ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
23 春季集中授業1日目 シーン別練習Ⅱ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
24 春季集中授業1日目 シーン別練習Ⅱ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
25 春季集中授業1日目 シーン別練習Ⅱ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
26 春季集中授業2日目 通し止め練習（前半）	グループ又は個人練習	1
27 春季集中授業2日目 通し止め練習（後半）	グループ又は個人練習	1
28 春季集中授業2日目 シーン別練習Ⅲ S 1 ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
29 春季集中授業2日目 シーン別練習Ⅲ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
30 春季集中授業3日目 シーン別練習Ⅲ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
31 春季集中授業3日目 シーン別練習Ⅲ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
32 春季集中授業3日目 通し止め練習（前半）	グループ又は個人練習	1
33 春季集中授業3日目 通し止め練習（後半）	グループ又は個人練習	1
34 春季集中授業4日目 駄目だし練習（前半）	グループ又は個人練習	1
35 春季集中授業4日目 駄目だし練習（後半）	グループ又は個人練習	1
36 春季集中授業4日目 衣装を着て全体通し練習	グループ又は個人練習	1
37 春季集中授業4日目 衣装を着て全体通し練習及び照明・音響等の舞台上の確認	グループ又は個人練習	1
38 衣装を着てシーン別練習Ⅳ S 1 ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
39 衣装を着てシーン別練習Ⅳ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
40 衣装を着てシーン別練習Ⅳ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
41 衣装を着てシーン別練習Ⅳ S ( ) ~ S ( )	グループ又は個人練習	1
42 学内全体通し練習	グループ又は個人練習	1
43 会館リハーサル	グループ又は個人練習	1
44 ミュージカルの発表	レポートの記入	1
45 レポート提出及び係別記録ノートのみとめ	係別活動記録の整理	1
〔学習上の留意点・準備等〕 練習はアップホールだけでなく様々な教室で行われる。練習計画表等の配布物は保管し、時間帯や練習内容に留意して行動すること。各自、各グループの主体的活動が重視される。		
〔成績評価方法と評価基準〕 レポート（30%）、発表および授業への参加態度・姿勢（練習・係活動）（70%）を総合的に評価する。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 練習課題や練習内容が決まった後は発表まで各自・各グループの話し合いや練習を常に継続すること。また、係活動においても話し合いや主体的取り組みを計画的に行うことが常に要求される。練習内容について常時アドバイス等を行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）																																							
科目コード	2DE23	2年次 通年	演習	2	斎藤竜夫他	歌唱教材伴奏法 幼児のための音楽教育 教育芸術社																																							
科目名	ピアノ表現Ⅱ		担当形態																																										
			複数																																										
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</p> <p>(2) (6) (9)</p>																																													
<p>〔授業の概要〕</p> <p>子どもと音楽表現活動を楽しむために必要なピアノ演奏技法を習得する。ピアノの個人レッスンに加え、グループ授業で弾き歌いのためのコード奏法、コード理解のための音楽理論も同時に学ぶ。</p> <p>I個人レッスン（弾き歌い）</p> <p>1対1の個人レッスンによってピアノの演奏技術の体得並びに向上を目指す。学生は担当教員と相談した上、進度に合わせてバイエル・ツエルニー・ソナチネ・インヴェンション等を教材として学ぶ。</p> <p>IIグループワーク（音楽理論）</p> <p>基本的な音楽理論（楽典）の学習と、それを踏まえてコード理論を学習する。</p> <p>上記I・IIの内容を総合した弾き歌いの実践として、実際の保育現場において需要の高い曲を実習する。1コマ90分を前半と後半に分けて授業を行う。A組は前半個人レッスン・後半は2組に分かれてグループワークを行う。B組は前半グループワーク、後半に個人レッスンを行う。</p>																																													
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ演奏技法を習得する</li> <li>・子どもの歌の弾き歌いができる</li> <li>・コード奏法を習得する</li> </ul>																																													
<p>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業内容</th> <th>事前事後学修の内容</th> <th>所要時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の各和音（歌唱教材伴奏法p100～101）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の曲の編曲（1）概説</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲の実際（1）（歌唱教材伴奏法p114）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲の実際（2）（同上p115）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調音階の理解</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（1） （歌唱教材伴奏法p26～27）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（2） （同上p28～29）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（3） （同上p30～31）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の主要3和音</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の固有和音</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>11 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のうた（歌唱教材伴奏法を用いて）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>12 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のうた （幼児のための音楽教育を用いて）</td> <td>課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>							授業内容	事前事後学修の内容	所要時間	1 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の各和音（歌唱教材伴奏法p100～101）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	2 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の曲の編曲（1）概説	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	3 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲の実際（1）（歌唱教材伴奏法p114）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	4 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲の実際（2）（同上p115）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	5 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	6 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（1） （歌唱教材伴奏法p26～27）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	7 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（2） （同上p28～29）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	8 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（3） （同上p30～31）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	9 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の主要3和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	10 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の固有和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	11 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のうた（歌唱教材伴奏法を用いて）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1	12 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のうた （幼児のための音楽教育を用いて）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
授業内容	事前事後学修の内容	所要時間																																											
1 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の各和音（歌唱教材伴奏法p100～101）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
2 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ハ長調の曲の編曲（1）概説	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
3 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲の実際（1）（歌唱教材伴奏法p114）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
4 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲の実際（2）（同上p115）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
5 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
6 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（1） （歌唱教材伴奏法p26～27）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
7 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（2） （同上p28～29）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
8 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のI・V・V7による伴奏（3） （同上p30～31）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
9 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の主要3和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
10 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調の固有和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
11 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のうた（歌唱教材伴奏法を用いて）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											
12 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ト長調のうた （幼児のための音楽教育を用いて）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1																																											

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
13 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
14 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調のⅠ・Ⅴ・ⅤⅦによる伴奏（1） （歌唱教材伴奏法p32～33）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
15 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調のⅠ・Ⅴ・ⅤⅦによる伴奏（2） （同上p34～35）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
16 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調のⅠ・Ⅴ・ⅤⅦによる伴奏（3） （同上p36～37）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
17 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調の主要3和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
18 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調の固有和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
19 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調のうた（歌唱教材伴奏法を用いて）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
20 進度に合わせた個人レッスン グループワーク へ長調のうた （幼児のための音楽教育を用いて）	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
21 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ニ長調音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
22 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ニ長調の主要3和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
23 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ニ長調の固有和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
24 進度に合わせた個人レッスン グループワーク その他の長音階	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
25 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 短音階の理解	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
26 進度に合わせた個人レッスン グループワーク イ短調の音階と主要3和音	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
27 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 愛唱歌の伴奏	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
28 進度に合わせた個人レッスン グループワーク 編曲法の実際	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
29 進度に合わせた個人レッスン グループワーク ピアノを用いた効果音について	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
30 進度に合わせた個人レッスン グループワーク まとめ	課題曲を演奏し技能を高める テキスト・配布資料を読み理解を深める	1
〔学習上の留意点・準備等〕 ピアノの個人練習は毎日行うこと。また音楽理論の理解は子どもと音楽表現活動を行ううえで必須である。		
〔成績評価方法と評価基準〕 音楽理論試験25% 課題曲の合格曲数と進度75%		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個人レッスンでは毎回課題を与え、それにコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE24	2年次 後期	演習	1	村木 薫	随時プリント資料を配布
科目名	造形表現Ⅱ		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</p> <p>(1) (5) (6) (10) (11)</p>						
<p>【授業の概要】</p> <p>造形表現Ⅰを継承し、さらに子どもたちの豊かな思いを具現化や形にする資質・能力を高める。そのために造形遊びとして展開するための素材や教材の開発を行い、生活の周りにおけるさまざまな素材感や教材感を豊かにする。この授業では、特に紙素材や自然素材、その他さまざまな素材に挑戦し、自分の造形表現領域を広げることを目的とし、保育者としての造形活動を豊かなものとする。</p>						
<p>【授業科目の到達目標】</p> <p>紙や自然素材を使った造形活動を通じて様々な技法の理解を深める。 紙や自然素材を使った造形活動を通して子どもの表現の理解を深める。 紙や自然素材を使った造形遊びを通して、保育の組み立てを深める。</p>						
【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	ガイダンス、乳幼児のさまざまな造形表現紹介	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握			1	
		復習：ガイダンス内容、資料の見直し				
2	紙素材による造形遊び（グループ分け）	予習：紙素材を集める			1	
		復習：グループ別にテーマを選定する				
3	新聞紙、チラシ、和紙、牛乳パックなどの素材別制作	予習：テーマを探す			1	
		復習：他のグループ作品を鑑賞する				
4	造形遊びへの展開・制作・指導案作成（グループ別）	予習：紙素材の加工法を探る			1	
		復習：他のグループ作品を鑑賞する				
5	造形遊びへの展開・制作・指導案作成（グループ別）	予習：紙素材の加工法を探る			1	
		復習：他のグループ作品を鑑賞する				
6	造形遊びへの展開発表・講評会	予習：紙素材の加工法を探る			1	
		復習：他のグループ作品を鑑賞する				
7	自然素材による造形遊び（グループ分け）	予習：自然素材を集める			1	
		復習：他学生の作品を鑑賞する				
8	テーマ別制作（素材研究）	予習：自然素材を集める			1	
		復習：他学生の作品を鑑賞する				
9	各グループに分かれたテーマ別制作 指導案作成	予習：作品を見て、構想を練る			1	
		復習：他学生の作品を鑑賞する				
10	各グループに分かれたテーマ別制作 指導案作成	予習：作品を改良する			1	
		復習：他学生の作品を鑑賞する				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 中間発表会・講評会	予習：作品を改良する	1
	復習：他のグループ作品を全員で鑑賞する	
12 各グループに分かれたテーマ別制作	予習：前作品を見て、構想を練る	1
	復習：他のグループ作品を鑑賞する	
13 各グループに分かれたテーマ別制作	予習：作品を見て、構想を練ったり、手直しを行う	1
	復習：他のグループ作品を鑑賞する	
14 各グループに分かれたテーマ別制作	予習：作品を見て、構想を練ったり、手直しを行う	1
	復習：他学生の作品を全員で鑑賞する	
15 学内に作品設置および講評会	予習：作品を見て、手直しを行う	1
	復習：他グループの作品を全員で鑑賞する	
<p>課題作品例</p> <p>A. 植物、石などを使った立体表現      B. 植物を使った絵画や平面構成  C. モビール制作                              D. 紙や自然素材で物語制作  E. 和紙による造形                            F. 紙による家具制作 など</p>		
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>随時プリントを配布するので理解を補足する。  課題提出にあたり提出締め切りは必ず守る。  自分の作品だけでなく他の学生の作品をよく見るようにし、お互いの意見交換を行う。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>制作課題（80％） レポート・指導案（20％）を併せて評価する。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>・毎回の授業後に作品の鑑賞会や簡単な講評会を行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DE25	2年次 後期	演習	1	若井 由梨	「乳幼児・児童の運動あそびと表現あそびからだとところを育む指導法」 大学図書出版、茗井香保里・宮下恭子
科目名	身体表現Ⅱ		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (6) (9) (10) (11)						
<b>【授業の概要】</b> 本授業では、身体表現Ⅰにおいて培った表現技術を発展させ、ものを使った遊びや、リズム遊び・表現遊びを取り上げつつ、踊ったり演じたりする総合的な表現活動の楽しさを味わう。 また幼児期から小学校へつなぐ運動を見据えつつ、保育者として発展的な運動技能を身につけるために、リズムにのりながら様々な動きを組み合わせる楽しさについて理解を深める。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> ・保育におけるリズム遊びや表現遊びの特性について理解し、自らの言葉で説明することができる ・仲間とコミュニケーションを取りながら、身体を使って表現することの楽しさを実感できている ・幼児期の運動発達を理解し、保育者に必要な発展的な運動技能を身につけている						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授業内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション	予習：シラバスを読み、授業の展開を把握			1	
2	野外の遊び【秋】 外遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
3	ものを使った遊びと基礎技能① ボールを用いた遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
4	ものを使った遊びと基礎技能② フープを用いた遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
5	ものを使った遊びと基礎技能③ 鉄棒を用いた遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
6	リズム遊びの実践① さまざまなBPMでリズムダンス	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
7	リズム遊びの実践② ポンポンを使ったチアダンス	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
8	リズム遊びの実践③ フォークダンス	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
9	表現遊びの実践① 模倣と即興、ごっこ遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	
10	表現遊びの実践② パラバルーン	予習：前時授業に提示された内容を予習する 復習：授業の振り返りをまとめる			1	

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 表現遊びの実践③ 物語を題材にした創造の世界	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
12 発展的な運動技能① 運動体験としての実践	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
13 発展的な運動技能② 指導法習得としての実践	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
14 野外の遊び【冬】 雪遊び	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
15 まとめ 学習内容の総括	予習：前時授業に提示された内容を予習する	1
	復習：授業の振り返りをまとめる	
〔学習上の留意点・準備等〕 実技ができる運動着を着用する。 振り返りのワークシート記載のため、毎時筆記用具を持参する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 技能面：グループワークによる創作活動を適宜発表する中で、評価する（40%） レポート：最終レポート課題で評価する（50%） 参加意欲：授業中の態度をみて評価する（10%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業時間の他、課題に対する個別指導を行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DE26	1年次 後期	実習	1	若井 由梨	授業内容に応じて適宜配布
科目名	レクリエーション実習I		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (2) (3) (4) (6) (10) (11) (13)</p>						
<p>〔授業の概要〕 レクリエーション支援は健康づくりや高齢者・障がい者福祉、子育て支援、保育、教育、地域づくり、環境教育など、幅広い領域で行われている。本授業は遊びの援助(レクリエーション支援)を行う上で必要となるコミュニケーション技法や、集団を対象としたレクリエーション活動の展開法を実践的に経験していくことにより、保育者としての援助力を身につけることを目的とする。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団をリードし、一体感を生み出し、楽しい時間を演出するための基礎的技能が身についている。</li> <li>・1対1、1対集団等の場面で、コミュニケーションを促進するための基礎的技能が身についている。</li> <li>・対象や支援の目的に合わせたプログラムを展開するための基礎的技能が身についている。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 オリエンテーション／レクリエーションとは				レクリエーションの意義について理解する		1
2 手遊び・からだ遊び				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1
3 円形コミュニケーション				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1
4 フォークダンス				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1
5 外部レク活動への参加①（準備）				さまざまなレク活動について調べておく		1
6 外部レク活動への参加②（グループ活動） チャレンジ・ザ・ゲーム				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1
7 外部レク活動への参加③（伝承遊び） 廃材を使った制作と遊び				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1
8 外部レク活動への参加④（フィットネス） エアロビクスやヨガ				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1
9 外部レク活動への参加⑤（振り返り）				アクティビティを体験し、実践しながら理解する		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 アクティビティの体験① インディアカ	インディアカを体験し、実践しながら理解する	1
11 アクティビティの体験② ボッチャ・カーリンコン	ニュースポーツを体験し、実践しながら理解する	1
12 アクティビティの体験③ バンブーダンス	バンブーダンスを体験し、実践しながら理解する	1
13 指導演習 レッツ！レクリーダー（第1グループ）	グループごとに企画・構成したレクアクティビティを実践しレクを提供する工夫について知る	1
14 指導演習 レッツ！レクリーダー（第2グループ）	グループごとに企画・構成したレクアクティビティを実践しレクを提供する工夫について知る	1
15 指導演習 レッツ！レクリーダー（第3グループ）	グループごとに企画・構成したレクアクティビティを実践しレクを提供する工夫について知る	1
〔学習上の留意点・準備等〕 ・身体を使って実践する活動が多く含まれるため、運動できる服装とシューズを用意すること ・一部の授業時間において学外活動への参加を予定しているため、交通費及び予定調整が必要となる		
〔成績評価方法と評価基準〕 レポート（30%）、最終課題（50%）、授業の参加態度（20%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 各自の指導演習終了時に、具体的支援についてコメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2EJ01	2年次 前期	実習	2	福原 英起	『保育士養成課程 五訂 福祉施設 実習ハンドブック』喜多一憲他監修、 吉村美由紀他編、みらい
科目名	保育実習Ⅰ (施設)		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【実習の概要】</b> 「保育実習Ⅰ（施設）」は、保育所以外の児童福祉施設だけではなく、知的障害者施設などでの実習も含まれている。1年次で修得した「社会福祉」、「社会的養護Ⅰ」、「子ども家庭福祉」、「社会的養護Ⅱ」等の福祉関連科目で学んだ知識を、実習を通して深めることを目的とする。特に、この実習で初めて障害児・者に接する学生も少なくない。実習を通して、施設・利用者の理解と専門職としての施設保育士の役割と理解を深める。						
<b>【実習の到達目標】</b> 児童福祉施設（保育所以外）について理解する。 利用者について理解する。 制度・政策について理解する。 自己課題を明確にする。 施設の今後の課題と展望について理解する。 他の社会資源・専門職との連携・協働について理解する。 地域に対する施設の役割について理解する。						
<b>【実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
実習内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 施設の役割と機能 (1) 施設における子ども（利用者）の生活と保育士の援助や関わり (2) 施設の役割と機能				1 実習中に気付きや疑問については、なるべくその場で職員に聞いて解決するように努める。 2 実習日誌には、日課に沿って作業内容を記入するだけではなく、職員の利用者に対する支援の様子や変化、利用者とのやりとり、支援に対する考察や疑問、利用者との関わりを通しての感想等を記載できるようにする。		
2 子ども（利用者）理解 (1) 子ども（利用者）の観察とその記録 (2) 個々の状況に応じた援助や関わり						
3 施設における子ども（利用者）の生活と環境 (1) 計画に基づく活動や援助 (2) 子ども（利用者）の心身の状態に応じた生活と対応 (3) 子ども（利用者）の活動と環境 (4) 健康管理、安全対策の理解						
4 計画と記録 (1) 支援計画の理解と活用 (2) 記録に基づく省察・自己評価						
5 専門職としての保育士の役割と倫理 (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携 (3) 保育士の役割と職業倫理						

〔学習上の留意点・準備等〕

児童福祉施設等及び障害児・者通所施設等における10日以上の実習により行う。

〔成績評価方法と評価基準〕

実習施設での評価（60％）と、巡回指導教員からの報告、実習日誌の記録内容、各種提出物等の評価（40％）を総合して評価する。

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1EJ02	1年次 後期	実習	2	永井裕紀子	配布資料
科目名	保育実習Ⅰ （保育所）		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>〔実習の概要〕</b> 1月下旬から2月上旬にかけて行われる12日間の保育所実習である。実習形態は参加実習である。保育所保育の実際に触れ、乳幼児の発達と保育士の職務内容を体験的に学ぶとともに保育所の役割や機能を具体的に理解する。						
<b>〔実習の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所の役割や機能を具体的に理解する。</li> <li>・ 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。</li> <li>・ 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。</li> <li>・ 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。</li> <li>・ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。</li> </ul>						
<b>〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
実習内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 保育所の役割と機能 (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習日誌をまとめながら1日の保育を振り返り、気づきや疑問を明確にすること。また、翌日の実習の目標を明確にすること。</li> <li>・ 実習中の疑問については、その日のうちに担当職員に質問し、疑問を解決できるようにすること。</li> </ul>		
2 子どもの理解 (1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子ども発達過程の理解 (3) 子どもへの援助や関わり						
3 保育内容・保育環境 (1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容 (3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全						
4 保育の計画・観察・記録 (1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2) 記録に基づく省察・自己評価						
5 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携 (3) 保育士の役割と職業倫理						

〔学習上の留意点・準備等〕

- ・実習園の保育方針を尊重し、園長及び担当職員の指示に従って行動すること。
- ・守秘義務を守ること。
- ・子どもの安全に留意して実習すること。
- ・事前指導での指示や注意事項を厳守すること。
- ・分からないことは園長及び担当職員に尋ねるなど“ほう・れん・そう”を大切にすること。

〔成績評価方法と評価基準〕

実習園訪問指導教員からの報告（10%）、園からの評価（80%）、実習後の振り返り（個別面談・レポート）を総合して評価する。

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

実習終了後の事後指導（個別面談）にて行う。

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1EE04	2年次 前期	演習	1	福原 英起	『保育士養成課程 五訂 福祉施設 実習ハンドブック』 喜多一憲 他監修 吉村美由紀 他編 みらい
科目名	保育実習指導Ⅰ (施設)		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 保育実習Ⅰ（施設）は必修科目であり、保育所以外の施設の実習である。これまで学んだ「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅱ」等の福祉関連科目で学んだ知識を実習を通して体験的に理解し深めることを目的とする。実習で初めて障害児・者に接する学生が多いが、事前、事後指導を通じ、個別的理解とその対応の重要性を理解すると共に、保育士の施設での基本的な姿勢等を確認し認識する貴重な学習の機会である。保育所以外の児童福祉施設等で実務経験を有する教員が実践的な対応や関わりを指導する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> 1 保育所以外の児童福祉施設等の概要を理解する。 2 施設の利用者の状態や支援、対応について理解する。 3 利用者への個別的理解に基づく援助・支援のあり方を理解する。 4 施設の状況や課題、問題点、制度政策等について理解する。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	概要説明、実習先伝達	予習：テキストの第1部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
2	施設実習の目的・意義	予習：テキストの第1、2部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
3	施設実習の目的・心構え (実習施設の調査)	予習：テキストの第2部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
4	保育士の役割	予習：テキストの第1部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
5	児童福祉施設の理解1 (知的障害施設)	予習：テキストの第2部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
6	児童福祉施設の理解2 (児童養護施設)	予習：テキストの第3部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
7	児童福祉施設の理解3 (乳児院・肢体不自由児施設)	予習：テキストの第4、7部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
8	実習日誌の記録1 (知的障害施設関係)	予習：テキストの第3部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
9	実習日誌の記録2 (その他の施設関係)	予習：テキストの第3部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				
10	施設実習の目標設定	予習：テキストの第4部を読んてくること			1	
		復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録				

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 事後指導1 実習報告、事後自己評価	予習：テキストの第5部を読んてくること	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
12 事後指導2 グループ討議（同種施設）	予習：テキストの第5部を読んてくること	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
13 事後指導3 グループ討議（異種施設）	予習：テキストの第5部を読んてくること	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
14 事後指導4 グループ発表	予習：テキストの第5部を読んてくること	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
15 まとめ	予習：テキストの第7部を読んてくること	1
	復習：ふり返り「キーワード」の内容の整理記録	
〔学習上の留意点・準備等〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先の施設の情報を収集し事前学習を行うこと。</li> <li>・意見交換を通じ多面的理解を図る。</li> </ul>		
〔成績評価方法と評価基準〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の各授業の提出物を評価する。</li> <li>・提出物の評価（100%）</li> </ul>		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習については適宜必要に応じ個別指導を実施する。</li> </ul>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1EE04	1年次 後期	演習	1	永井裕紀子 松延 毅	配布資料
科目名	保育実習指導Ⅰ （保育所）		担当形態			
			オムニバス			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (3) (6) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【授業の概要】</b> 事前指導では、保育所の保育に実習生として参加し子どもと関わることの意味について考えながら実習の心得について学ぶ。また、子どもが示す様々な姿をどう捉え、保育者（実習生）として子どもとどう関わればよいのか。子どもを見る視点と保育者の援助について理解を深めつつ、それを記録に活かす力を養う。教材研究では、保育者役や子ども役になる体験を通して、子どもを主体とした遊びの展開について理解する。事後学習では実習の自己評価を行いながら自己課題を明確にし、次の実習への展望がもてるようにしたい。 保育士として保育所に勤務経験のある教員が授業を担当する。 幼稚園・保育園・認定こども園及び園長の経験を有する職員が授業を担当する。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> 実習の意義や心得について理解し、社会人としてのマナーを身に付ける。 子どもを見る視点について理解する。 保育記録の方法や内容を理解する。 実習を通して求められる保育者像について考える。						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授業内容		事前事後学修の内容				所要時間
1	授業の概要、実習の進め方、実習園の情報収集	保育所保育指針解説 第1章 1. 保育所保育に関する基本原則(1)～(3)を読む				1
2	保育所とは・実習時期の保育	保育所保育指針解説 第1章 1. 保育所保育に関する基本原則(4)・(5)を読む				1
3	教育実習Ⅰの振り返り、先輩の実習体験から学ぶ、実習の目標設定	保育所保育指針解説 第1章 2. 養護に関する基本的事項(1)・(2)を読む				1
4	実習日誌の確認	保育所保育指針解説 第1章 3. 保育の計画及び評価(1)・(2)を読む				1
5	実習日誌を書いてみる（VTR視聴）	保育所保育指針解説 第1章 3. 保育の計画及び評価(3)～(5)を読む				1
6	実習日誌を書いてみる	保育所保育指針解説 第1章 4. 幼児教育を行う施設として共有すべき事項を読む				1
7	教材研究と実践（絵本）	保育所保育指針解説 第2章 幼児保育に関わるねらい及び内容を読む				1
8	教材研究と実践の振り返り	保育所保育指針解説 第2章 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容を読む				1
9	子ども観と援助 登園	保育所保育指針解説 第2章 3歳以上児の保育に関するねらい及び内容を読む				1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 子ども観と援助 遊び	保育所保育指針解説 第2章 保育の実施に関して留意すべき事項を読む	1
11 子ども観と援助 食事	保育所保育指針解説 第3章 健康及び安全の1・2を読む	1
12 子ども観と援助 午睡	保育所保育指針解説 第3章 健康及び安全の3・4を読む	1
13 実習のオリエンテーション	実習園とのオリエンテーション結果を訪問担当教員に報告する	1
14 実習に関わる留意事項 (実習の心得・人権の考慮・守秘義務)	プリント「実習に関わる留意事項」を理解する	1
15 実習中の連絡方法、実習後の日誌提出、礼状	実習中の連絡方法、実習事後の取り組み内容を理解する	1
16 実習の振り返り・個別面談	保育者としての自分を振り返る	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 実習園によって実習の方法は異なる。各自が実習園の実習方針を理解し、分からないことがあれば教員に相談するなど“ほう・れん・そう”を大切にすること。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕 授業への取り組み（20%）・提出物（80%）によって評価する。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2EJ05	2年次 前期	実習	2	永井裕紀子	配布資料
科目名	保育実習Ⅱ		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</p> <p>(1) (2) (3) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>〔実習の概要〕</p> <p>8月に行われる12日間の保育所実習である。実習形態は参加実習・責任実習（部分・一日）である。保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育の計画・実践・省察・評価について総合的、具体的に学ぶ。</p>						
<p>〔実習の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。</li> <li>・子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。</li> <li>・子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。</li> <li>・保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について実際的に取り組み、理解を深める。</li> <li>・保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。</li> <li>・実習における自己の課題を明確化する。</li> </ul>						
〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
実習内容				事前事後学修の内容		所要時間
<p>1 保育所の役割と機能の具体的展開</p> <p>(1) 養護と教育が一体となって行われる保育</p> <p>(2) 保育所の社会的役割と責任</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習日誌をまとめながら1日の保育を振り返り、気づきや疑問を明確にすること。また、翌日の実習の目標を明確にすること。</li> <li>・実習中の疑問については、その日のうちに担当職員に質問し、疑問を解決できるようにすること。</li> </ul>		
<p>2 観察に基づく保育の理解</p> <p>(1) 子どもの心身の状態や活動の観察</p> <p>(2) 保育士等の動きや実践の観察</p> <p>(3) 保育所の生活の流れや展開の把握</p>						
<p>3 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携</p> <p>(1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解</p> <p>(2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援</p>						
<p>4 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価</p> <p>(1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解</p> <p>(2) 作成した指導計画に基づく保育実践と評価</p>						
<p>5 専門職としての保育士の役割と職業倫理</p> <p>(1) 多様な保育の展開と保育士の業務</p> <p>(2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理</p>						

〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
実 習 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
6 自己課題の明確化		
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習園の保育方針を尊重し、園長及び担当職員の指示に従って行動すること。</li> <li>・守秘義務を守ること。</li> <li>・子どもの安全に留意して実習すること。</li> <li>・事前指導での指示や注意事項を厳守すること。</li> <li>・分からないことは園長及び担当職員に尋ねるなど“ほう・れん・そう”を大切にすること。</li> <li>・指導計画の作成については、担当職員とよく相談をすること。</li> </ul>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>実習園訪問指導教員からの報告(10%)、園からの評価(80%)・実習後の振り返り(レポート)を総合して評価する。</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>実習終了後の事後指導（個別面談）にて行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2EE06	2年次 前期	演習	1	永井裕紀子	授業中に適宜資料を配布する
科目名	保育実習指導Ⅱ		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</p> <p>(1) (2) (3) (6) (8) (11)</p>						
<p>〔授業の概要〕</p> <p>保育実習Ⅰを踏まえ保育実習Ⅱの事前事後指導を行う。事前学習では子どもの発達や興味・関心、実習時期の保育の実態に応じた指導計画案の作成や教材について学習する。また、模擬保育実践を通じて、保育内容の具体的な指導法や保育を改善する視点等について総合的に学ぶ。事後学習では実習の自己評価を行い、保育者としての自分を省察し、課題を明確にする。保育士として保育所に勤務経験のある教員が授業を担当する。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <p>他教科での学びを有機的に関連づけながら、実習時期の季節や子どもの発達に応じた指導計画案が作成できる。模擬保育実践と振り返りを通じて保育内容の指導法を総合的に学ぶと共に保育を改善する視点を身に付ける。保育実習Ⅱの総括と評価を行い、保育者としての自己の課題を考える。</p>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 保育実習Ⅰの振り返り・保育実習Ⅱ及び保育実習指導Ⅱの概要・保育実習Ⅱの目標設定				実習園の情報を得る。		1
2 実習時期の保育の様子・模擬保育実践日の調整				保育所における子どもの生活や子どもの育ちの様子について復習する。		1
3 指導計画案の考え方と作成方法				子どもの興味・関心、発達にあった遊びを調べる。		1
4 子どもの発達や興味・関心に沿った遊びの検討（教材研究・指導計画案の作成）				教材研究をする。		1
5 1日責任実習の指導計画案の作成方法・実習日誌の扱いについて				模擬保育の指導計画案を完成させる。		1
6 模擬保育の準備・指導計画案の修正（個別指導）				模擬保育の指導計画案を再考し完成させる。		1
7 指導計画案に基づく模擬保育①				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1
8 指導計画案に基づく模擬保育②				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1
9 模擬保育の振り返り（前半）				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1
10 指導計画案に基づく模擬保育③				子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。		1

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 指導計画案に基づく模擬保育④	子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。	1
12 実習園とのオリエンテーションについて	実習園訪問担当教員にオリエンテーションの結果を報告する。	1
13 指導計画案に基づく模擬保育⑤	子ども又は保育者として模擬保育を振り返る。	1
14 模擬保育の振り返り（後半）・実習の心得・諸連絡等	配付プリント「実習の心得」について理解する。	1
15 保育実習Ⅱの総括（個別面談）	保育者としての自分を評価する。	1
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 指導計画案の作成、模擬保育の実践については、早めに教員に相談をし点検を受けること。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 授業態度・提出物・模擬保育実践等から総合的に評価する。</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 個別または各授業の最後に行う。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2EJ07	2年次 前期	実習	2	福原 英起	『保育士養成課程 五訂 福祉施設 実習ハンドブック』喜多一憲他監修、 吉村美由紀他編、みらい
科目名	保育実習Ⅲ		担当形態			
			単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (4) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>〔実習の概要〕</b> この実習は、保育実習Ⅰ（施設）で認められている施設だけではなく、児童館での実習も認められている実習となる。学生は、自分の関心のある施設を選択するため、利用者は施設によって大きく異なる。そのため、施設理解、利用者理解、制度的理解等を基軸としながら、施設保育士としての役割についての理解を深める。						
<b>〔実習の到達目標〕</b> 児童福祉施設（保育所以外）について理解する。 児童館の役割・機能について理解する。 制度・政策について理解する。 施設保育士の役割・職務内容について理解する。 各専門職との連携について理解する。						
<b>〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
実習内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 児童福祉施設等（保育所以外）の役割と機能				1 実習中に気付きや疑問については、なるべくその場で職員に聞いて解決するように努める。 2 実習日誌には、日課に沿って作業内容を記入するだけでなく、職員の利用者に対する支援の様子や変化、利用者との遣り取り、支援に対する考察や疑問、利用者との関わりを通しての感想等を記載できるようにする。		
2 施設における支援の実際 (1) 受容し、共感する態度 (2) 個人差や生活環境に伴う子ども（利用者）のニーズの把握と子ども理解 (3) 個別支援計画の作成と実践 (4) 子ども（利用者）の家族への支援と対応 (5) 各施設における多様な専門職との連携・協働 (6) 地域社会との連携・協働						
3 保育士の多様な業務と職業倫理						
4 保育士としての自己課題の明確化						

〔学習上の留意点・準備等〕

実習先の施設に関する情報・資料を収集し、事前学習を行う。

講義の前後には必ずテキストを読み、問題点や疑問点を明確にする。

新聞に目を通し、講義と関係のある記事を読み、出来ればスクラップして感想を書いてみる。

〔成績評価方法と評価基準〕

実習施設での評価（60％）と、巡回指導教員からの報告、実習日誌の記録内容、各種提出物等の評価（40％）を総合して評価する。

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2EE08	2年次 前期	実習	1	福原 英起	『保育士養成課程 五訂 福祉施設 実習ハンドブック』喜多一憲他監修、 吉村美由紀他編 みらい
科目名	保育実習指導Ⅲ		担当形態			
			単独			
<p>【卒業認定・学位授与の方針との関連】  (1) (2) (8) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>【授業の概要】  「保育実習Ⅲ」は、保育実習Ⅰ（施設）では対象外であった児童館での実習も可能となっている。授業では、生活・利用の場となっている各施設や職員の理解と役割、他職種や関係機関、社会資源との連携・協働等のあり方について学ぶ。さらに、利用者の基本的権利を養護・代弁する意義、子どもの権利条約や児童福祉法を始めとする関連所法令の整備が進行する中で、専門職の人権感覚・意義、職業倫理についての理解を深める。</p>						
<p>【実習科目の到達目標】  保育実習Ⅲの実習の意義や目的等の基本的な理解から、実際の利用者である子どもや大人の理解、保育士の役割と職務内容の理解、各専門職との連携についての理解、子ども観、児童養護観、施設観の理解と体得等につなげていく。これにより、学生自身の保育士像を、より確実なものにしていくことを目的とする。</p>						
【実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】						
実習内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 福祉施設における実習とは				指定テキスト第1章を読んで理解する。		1
2 福祉施設での実習に向けた準備 （各施設の機能）				指定テキスト第2章を読んで理解する。		1
3 福祉施設での実習に向けた準備 （各施設の種別と目的）				指定テキスト第2章を読んで理解する。		1
4 福祉施設での実習に向けた準備 （利用児・者の理解）				指定テキスト第3章を読んで理解する。		1
5 福祉施設での実習に向けた準備 （保育士の役割）				指定テキスト第3章を読んで理解する。		1
6 福祉施設の実習に向けた準備 （各施設の専門職とその役割）				指定テキスト第4章を読んで理解する。		1
7 福祉施設の実習に向けた準備 （実習目標・課題の設定）				指定テキスト第4章を読んで理解する。		1
8 福祉施設の実習に向けた準備 （実習施設の施設調べ）				指定テキスト第4章を読んで理解する。		1
9 関連福祉サービスと法制度の概要 （社会福祉法、障害者基本法）				配布資料を読んで理解する。		1

〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
実 習 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 関連福祉サービスと法制度の概要 （障害者総合支援法）	配布資料を読んで理解する。	1
11 関連福祉サービスと法制度の概要 （発達障害者基本法、介護保険法）	配布資料を読んで理解する。	1
12 関連福祉サービスと法制度の概要 （児童福祉法）	配布資料を読んで理解する。	1
13 保育士と権利擁護 （苦情解決処理、第三者評価）	配布資料を読んで理解する。	1
14 福祉施設と地域の繋がり （社会福祉協議会、NPO、民生・児童委員等）	配布資料を読んで理解する。	1
15 実習に向けての最終準備 （面接）	指定テキスト第6章、配布資料を読んで理解する。	1
〔学習上の留意点・準備等〕 指定されたテキスト、配布資料を読み、各自の実習施設に関する情報収集と内容の理解を図る。		
〔成績評価方法と評価基準〕 事前・事後指導時の提出物（50%）、レポート（50%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 レポートを添削して返却する。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2BE11	2年次 後期	講義	2	小川 崇	テキストは指定しない。 適宜資料を配付する。
科目名	教育と社会		担当形態			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕  (1) (11) (12) (13)</p>						
<p>〔授業の概要〕  近代において、教育、特に学校教育は社会になくてはならないものになってきた。社会における学校教育の機能や、また学校教育の課題を考えることで、社会における教育の持つ意味について考えていきたい。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会における学校教育の機能について理解する。</li> <li>・学校教育が直面する諸課題について理解する。</li> <li>・現在学校教育がおかれている状況を、社会状況や教育政策との関わりで理解する。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1 教育の社会的機能				授業内容をふりかえり理解を深める		4
2 学校教育の機能とその変遷				授業内容をふりかえり理解を深める		4
3 学校教育の社会的必要性				授業内容をふりかえり理解を深める		4
4 学校を選ぶ① オルタナティブスクール				授業内容をふりかえり理解を深める		4
5 学校を選ぶ② フリースクール				授業内容をふりかえり理解を深める		4
6 学校を選ぶ③ 学校選択制				授業内容をふりかえり理解を深める		4
7 教育はサービス業か① 他の職業との関わりで考える				授業内容をふりかえり理解を深める		4
8 教育はサービス業か② 新自由主義との関わりで考える				授業内容をふりかえり理解を深める		4
9 日本における教育政策の動向① 教育基本法改正等				授業内容をふりかえり理解を深める		4

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
10 日本における教育政策の動向② 教員免許更新制等	授業内容をふりかえり理解を深める	4
11 世界の教育動向① PISA	授業内容をふりかえり理解を深める	4
12 世界の教育動向② 諸外国の動向	授業内容をふりかえり理解を深める	4
13 学校と地域の連携・協働	授業内容をふりかえり理解を深める	4
14 学校における安全を考える	授業内容をふりかえり理解を深める	4
15 まとめとふりかえり	授業内容をふりかえり理解を深める	4
〔学習上の留意点・準備等〕 講義時に適宜参考文献を紹介する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 講義時の小レポート（10%）、中間レポート（40%）、期末レポート（50%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 講義時に提出する小レポートを、次回の授業でいくつか取り上げて紹介し、コメントする。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1EJ09	1年次 前期	実習	2	小川 崇	特に指定しない。 随時資料を配付する。
科目名	教育実習 I		担当形態			
			単独			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>【実習の概要】</b> 教育実習 I では、幼稚園実習に際しての基本的な理解や心得、具体的な手続きや学習内容、注意事項や留意すべき事柄について事前学習で学ぶ。これを踏まえて、実習では幼稚園で展開される保育の実際に触れ、個々の子どもの姿や子ども集団における関係のあり方、また保育者の子どもへの直接的・間接的働きかけ（援助・環境構成）に関して、見学・観察・参加を通して、具体的に理解することが求められる。実習後には、振り返りと自己評価を行い、次の実習に向けて課題が持てるよう、事後学習の時間を設ける。幼稚園教諭・園長経験を有する教員が授業を担当する。						
<b>【実習の到達目標】</b> ・実習生（社会人）としての常識やマナーを身につける ・実習生として積極的子どもや実習園の保育者と関わり、実際の保育について理解を深める ・実習での経験を振り返って、次の実習につながる課題をもつ						
<b>【実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
実習内容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	オリエンテーション	予習：	復習：授業内容を振り返り、実習の概要について理解する			
		復習：				
2	教育実習の意義と目標	予習：	復習：授業内容を振り返り、目的と意義を理解した上で実習に望めるようにする			
		復習：				
3	実習生（社会人）としての基本的な心構え 自己管理の重要性	予習：	復習：授業の内容を振り返り、普段から実践するようにする			
		復習：				
4	観察実習の概要	予習：	復習：授業の内容を振り返り、見学・観察・参加実習の意味を理解する			
		復習：				
5	観察のポイント	予習：	復習：授業の内容を整理し、実習時に活かせるようにする			
		復習：				
6	事前オリエンテーションの受け方	予習：	復習：オリエンテーション時に何を質問するか整理する			
		復習：				
7	実習中の基本的なマナーと実習の準備	予習：	復習：授業の内容を整理し、実習時に活かせるようにする			
		復習：				
8	実習日誌の作成と活用 観察日誌Ⅰの書き方	予習：	復習：授業の内容を振り返り、観察日誌Ⅰの書き方を練習する			
		復習：				
9	実習日誌の作成と活用 観察日誌Ⅱの書き方	予習：	復習：授業の内容を振り返り、観察日誌Ⅱの書き方を練習する			
		復習：				
10	実習日誌の作成と活用 その他の部分の書き方	予習：	復習：授業の内容を振り返り、事前に記入できる部分を記入する			
		復習：				

〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
実 習 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
11 事後学習 礼状の作成と記録の整理	予習：	
	復習：礼状を作成し、実習園へに向けて郵送する	
12 事後学習 記録の整理と自己評価	予習：	
	復習：自己評価を行った上で、自らの課題を認識する	
13 事後学習 個別面談 第1グループ	予習：	
	復習：個別面談を通して、自らの課題を認識する	
14 事後学習 個別面談 第2グループ	予習：	
	復習：個別面談を通して、自らの課題を認識する	
15 事後学習 実習後の課題の共有	予習：	
	復習：他の受講者の課題も共有した上で、自らの課題を認識する	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕 講義形式が多くなるが、そこで学ぶことを自らのものとするために様々な形式の学習を取り入れる。受講者の積極的な参加を求める。</p> <p>〔成績評価方法と評価基準〕 事前学習、事後学習、各種提出物（計10%）、実習日誌（40%）、実習園による評価票（50%）によって評価する。 なお、提出物等の忘れや遅れは認められないので注意すること。</p> <p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 授業時の提出物や授業時の発表等に対しては、授業中等に適宜フィードバックする。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2EJ10	2年次 通年	実習	3	新保 憲子 小川 崇	特に指定しない、随時資料配付
科目名	教育実習Ⅱ		担当形態			
			複数			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)						
<b>〔実習の概要〕</b> 1年次の実習の課題を踏まえた上で、教育実習Ⅱで学ぶべきことは、自ら保育を計画し、実践することを通して、より深く幼稚園における保育を理解することである。そのためには子ども理解に基づいた子供への関わりを事前に予測し、指導計画案を作成することが求められ、実践後には予測と実際のズレを認識したうえで、次の保育への課題をえることが重要となる。そのために、授業内で実際に指導計画案を作成し、模擬保育を行うことによって、実践的に実習の準備を行いたいと考えている。幼稚園教諭・園長経験を有する教員・教員免許を有する者が授業を担当する。						
<b>〔実習の到達目標〕</b> 1年次の実習を踏まえた上で、実習生（社会人）らしく振る舞うことができる ・自習中に子どもや保育者と関わることを通して保育に関する理解を深め、日々行われている保育を記録することができる ・子どもたちの様子や季節を踏まえた上で、指導計画案を作成し、保育を実践した上で、自らの課題を見いだすことができる						
<b>〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
実習内容				事前事後学修の内容		所要時間
1 オリエンテーション（全体） 教育実習Ⅱの意義と位置付け				予習： 復習：授業内容を振り返り、教育実習Ⅱの概要を理解する		
2 指導計画案について （2グループに分けて実施）				予習：模擬保育の流れをつかむ 復習：教育実習の意義と指導計画案立案を理解する		
3 指導計画案の作成①（部分実習） （2グループに分けて実施）				予習：模擬保育と保育計画案を理解する 復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する		
4 指導計画案の作成② （2グループに分けて実施）				予習：模擬保育と保育計画案を理解する 復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する		
5 指導計画案の作成③ （2グループに分けて実施）				予習：模擬保育と保育計画案を理解する 復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する		
6 指導計画案の作成④／模擬保育の進め方 （2グループに分けて実施）				予習：模擬保育と保育計画案を理解する 復習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する		
7 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）				予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す		
8 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）				予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す		
9 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）				予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す		

〔実習の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
実習内容	事前事後学修の内容	所要時間
10 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）	予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
11 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）	予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
12 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）	予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
13 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）	予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
14 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）	予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：模擬実習の実践を振り返り、指導計画案を練り直す	
15 模擬保育の実践 （2グループに分けて実施）	予習：模擬実習に向けて指導計画案を作成する 復習：授業内容全体を振り返った上で、実習に臨めるようにする	
<p>〔学習上の留意点・準備等〕</p> <p>幼稚園実習における部分実習、責任実習の指導計画案の立案・教材研究を行う。授業内の指導や各自の実践を基に事前準備、振り返り、考察を行うこと。なお、提出物等の忘れ、遅れは認められないので注意すること。</p>		
<p>〔成績評価方法と評価基準〕</p> <p>実習評価票、巡回教員による報告、実習日誌、提出物、学習態度によって総合的に行う。 ・模擬保育（30％） ・実習評価（70％）</p>		
<p>〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕</p> <p>作製した指導計画案や指導計画案に基づく実践については、授業中に随時フィードバックを行う。 ※授業課題の進み具合によりシラバスの内容の変更もありうる。</p>		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）																					
科目コード	2DE27	2年次 前期	演習	2	仲野 孝 永井裕紀子	随時プリントを配布																					
科目名	幼児教育教材研究		担当形態																								
			オムニバス																								
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</p> <p>(1) (2) (3) (5) (7) (9) (10) (11) (12) (13)</p>																											
<p>〔授業の概要〕</p> <p>①遊びの探求と教材研究コース（永井）          子どもの発達や興味、関心を踏まえ、身近な素材を活用した遊びの実践的検討と教材研究を行う。学生自身が身近な物や事象に積極的に関わり教材を改良する過程を通して、遊びの面白さを探求する授業としたい。</p> <p>②コンピューター応用コース（仲野）          保育・教育の現場では、コンピューターかデジタル機器が広く導入されている。とりわけ若い世代は、そうした機器の操作を期待されることが多い。そこで、本授業の中で、保育活動へのコンピューター応用を経験する。</p> <p>③折り紙遊び探求コース（永井）          折り紙という身近な素材に着目し、遊びとしての可能性を探求する。折り紙で遊べるものを調べ、制作し、仲間と互いに共有しながらその面白さを体験的に学ぶ。</p>																											
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物や事象に関わりながら教材を改善・改良し、遊びを追求する力を身につける。</li> <li>・遊びを豊かにする教材や環境構成について構想できる。</li> <li>・一年次に学習したパソコン技術を基礎として、保育現場での応用法を理解する。</li> <li>・クラスだより・紙芝居の作成をめざし、ワードの特殊な使用法を理解する。</li> <li>・折り紙の制作を通して、保育者に求められる感性や知識・技術を修得する。</li> <li>・折り紙遊びの意義を理解する。</li> </ul>																											
<p>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授 業 内 容</th> <th>事前事後学修の内容</th> <th>所要時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1・2 オリエンテーション 授業の目的・評価方法の理解 保育実践における遊びの収集と教材研究 (担当：永井)</td> <td>参考図書を探し、遊びや教材について考察する。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3・4 教材研究Ⅰ テーマ：動く －試作・共有・改良－ 遊びの発展と教材および環境構成の工夫 －遊びを豊かにする条件の検討－ (担当：永井)</td> <td>遊びに必要な材料等を収集する。 遊びの発展と教材・環境構成の工夫を整理する。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5・6 教材研究Ⅱ テーマ：とぶ・とばす －試作・共有・改良－ 遊びの発展と教材および環境構成の工夫 －遊びを豊かにする条件の検討－ (担当：永井)</td> <td>教材に必要な材料等を収集する。 遊びの発展と教材・環境構成の工夫を整理する。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7・8 教材研究Ⅲ テーマ：廃材 －廃材から広がる遊び－ 遊びの共有と教材および環境構成の工夫 －遊びの追求につながる教材や環境の検討－ (担当：永井)</td> <td>紙コップをテーマにした教材研究の成果を整理する。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9・10 教材研究の記録と考察Ⅰ －実践過程の整理－ 教材研究の記録と考察Ⅱ －省察とまとめ－ (担当：永井)</td> <td>これまでの教材研究の成果を整理する。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>11・12 パソコンの基礎的な操作の確認と演習 (担当：仲野)</td> <td>事後に習ったことを復習しておくこと</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>							授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間	1・2 オリエンテーション 授業の目的・評価方法の理解 保育実践における遊びの収集と教材研究 (担当：永井)	参考図書を探し、遊びや教材について考察する。	1	3・4 教材研究Ⅰ テーマ：動く －試作・共有・改良－ 遊びの発展と教材および環境構成の工夫 －遊びを豊かにする条件の検討－ (担当：永井)	遊びに必要な材料等を収集する。 遊びの発展と教材・環境構成の工夫を整理する。	1	5・6 教材研究Ⅱ テーマ：とぶ・とばす －試作・共有・改良－ 遊びの発展と教材および環境構成の工夫 －遊びを豊かにする条件の検討－ (担当：永井)	教材に必要な材料等を収集する。 遊びの発展と教材・環境構成の工夫を整理する。	1	7・8 教材研究Ⅲ テーマ：廃材 －廃材から広がる遊び－ 遊びの共有と教材および環境構成の工夫 －遊びの追求につながる教材や環境の検討－ (担当：永井)	紙コップをテーマにした教材研究の成果を整理する。	1	9・10 教材研究の記録と考察Ⅰ －実践過程の整理－ 教材研究の記録と考察Ⅱ －省察とまとめ－ (担当：永井)	これまでの教材研究の成果を整理する。	1	11・12 パソコンの基礎的な操作の確認と演習 (担当：仲野)	事後に習ったことを復習しておくこと	1
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間																									
1・2 オリエンテーション 授業の目的・評価方法の理解 保育実践における遊びの収集と教材研究 (担当：永井)	参考図書を探し、遊びや教材について考察する。	1																									
3・4 教材研究Ⅰ テーマ：動く －試作・共有・改良－ 遊びの発展と教材および環境構成の工夫 －遊びを豊かにする条件の検討－ (担当：永井)	遊びに必要な材料等を収集する。 遊びの発展と教材・環境構成の工夫を整理する。	1																									
5・6 教材研究Ⅱ テーマ：とぶ・とばす －試作・共有・改良－ 遊びの発展と教材および環境構成の工夫 －遊びを豊かにする条件の検討－ (担当：永井)	教材に必要な材料等を収集する。 遊びの発展と教材・環境構成の工夫を整理する。	1																									
7・8 教材研究Ⅲ テーマ：廃材 －廃材から広がる遊び－ 遊びの共有と教材および環境構成の工夫 －遊びの追求につながる教材や環境の検討－ (担当：永井)	紙コップをテーマにした教材研究の成果を整理する。	1																									
9・10 教材研究の記録と考察Ⅰ －実践過程の整理－ 教材研究の記録と考察Ⅱ －省察とまとめ－ (担当：永井)	これまでの教材研究の成果を整理する。	1																									
11・12 パソコンの基礎的な操作の確認と演習 (担当：仲野)	事後に習ったことを復習しておくこと	1																									

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
13・14 WordとExcelの総合演習 (担当：仲野)	事後に習ったことを復習しておくこと	1
15・16 おたよりの作成演習 (担当：仲野)	事前におたよりについて調べておくこと	1
17・18 紙芝居の作成演習 (担当：仲野)	事前にどのような作品にするか準備しておくこと	1
19・20 紙芝居の実演と振り返り (担当：仲野)	事前にプレゼンの準備をしておくこと	1
21・22 折り紙教材Ⅰ －文献調査－ (担当：永井)	参考図書を探し、授業の見通しを持つ。 授業に必要な材料・道具を準備する。	1
23・24 折り紙教材Ⅱ －実践的検討－ (担当：永井)	自己課題に取り組む。	1
25・26 折り紙教材Ⅲ －成果の発表－ (担当：永井)	共有した仲間の作品を作っておく。	1
27・28 折り紙教材Ⅳ －実習を見据えた折り紙教材の検討－ (担当：永井)	参考図書を探し、授業の見通しを持つ。 授業に必要な材料・道具を準備する。	1
29・30 折り紙教材Ⅴ －実習を見据えた折り紙教材の検討(まとめ)－ (担当：永井)	実習に活用する作品を整理する。	1
〔学習上の留意点・準備等〕 随時プリントを配布し理解を補足する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 制作課題80% 受講態度20%を併せて評価する。		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 各授業の最後もしくは次回の授業において振り返りやコメントを行う。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1AE12	1年次 通年	演習	2	仲野 孝	「30時間でマスターOffice2019」 実教出版 1,000円＋税
科目名	コンピューター基礎		担当形態			
			単独			
〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕 (7)						
〔授業の概要〕 この授業は幼稚園教諭免許取得に必要な科目で、情報リテラシーを理解しつつ、情報機器の操作に慣れることを目的としています。本授業では、MicrosoftのOfficeを使用し、ワープロ、プレゼン、表計算を学びつつ、情報機器の操作に慣れてもらいます。さらに、インターネットや電子メール、タイピングなど、情報機器を使う上で備えておくべき知識や技能についても触れていきます。						
〔授業科目の到達目標〕 情報機器の操作を修得する。タイピングを修得する。情報リテラシーを理解する。 Windowsの操作と基本機能を理解する。 インターネットや電子メールの基本操作を理解する。情報利活用能力を養成する。 アプリケーションソフトの基本操作を修得し、応用能力を高める。プレゼンテーション技法を身につける。						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容				事前事後学修の内容		所要時間
1	ガイダンス			予習：		1
				復習：事後に情報処理室の使い方を復習しておくこと		
2	Windowsの基礎知識，タイピング			予習：		1
				復習：事後にテキストP.4からP.15を復習しておくこと		
3	コンピュータとインターネット，情報の探索，情報モラル			予習：		1
				復習：事後にテキストP.16からP.31を復習しておくこと		
4	Wordによる文書の作成 1 文章の入力			予習：		1
				復習：事後にテキストP.32からP.47を復習しておくこと		
5	Wordによる文書の作成 2 文章の編集			予習：		1
				復習：事後にテキストP.48からP.52を復習しておくこと		
6	Wordによる文書の作成 3 書式の設定			予習：		1
				復習：事後にテキストP.53からP.62を復習しておくこと		
7	Wordによる文書の作成 4 表の作成			予習：		1
				復習：事後にテキストP.63からP.76を復習しておくこと		
8	Wordによる文書の作成 5 画像や図形の活用			予習：		1
				復習：事後にテキストP.77からP.92を復習しておくこと		
9	Wordによる文書の作成 6 演習問題			予習：		1
				復習：事後にテキストP.93からP.95を復習しておくこと		
10	Excelによる表計算 1 データの入力			予習：		1
				復習：事後にテキストP.96からP.111を復習しておくこと		
11	Excelによる表計算 2 入力したデータの編集			予習：		1
				復習：事後にテキストP.112からP.119を復習しておくこと		
12	Excelによる表計算 3 関数を使った計算			予習：		1
				復習：事後にテキストP.120からP.133を復習しておくこと		
13	Excelによる表計算 4 ワークシートの編集			予習：		1
				復習：事後にテキストP.134からP.139を復習しておくこと		
14	Excelによる表計算 5 関数の演習問題			予習：		1
				復習：事後にテキストP.140からP.141を復習しておくこと		

〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕		
授 業 内 容	事前事後学修の内容	所要時間
15 Excelによる表計算 6 グラフ	予習： 復習：事後にテキストP.142からP.151を復習しておくこと	1
16 Excelによる表計算 7 条件判定と順位付け	予習： 復習：事後にテキストP.152からP.160を復習しておくこと	1
17 Excelによる表計算 8 検索関数	予習： 復習：事後にテキストP.161からP.167を復習しておくこと	1
18 Excelによる表計算 9 参照機能と並べ替え	予習： 復習：事後にテキストP.168からP.179を復習しておくこと	1
19 Excelによる表計算 10 条件判定等の演習問題	予習： 復習：事後にテキストP.180からP.185を復習しておくこと	1
20 Excelによる表計算 11 Wordとの連携	予習： 復習：事後にテキストP.186からP.193を復習しておくこと	1
21 PowerPointによるスライドの作成 1 スライドの作成	予習： 復習：事後にテキストP.194からP.209を復習しておくこと	1
22 PowerPointによるスライドの作成 2 図や表の活用	予習： 復習：事後にテキストP.210からP.225を復習しておくこと	1
23 PowerPointによるスライドの作成 3 スライドショーの設定	予習： 復習：事後にテキストP.226からP.247を復習しておくこと	1
24 PowerPointによる画像編集	予習： 復習：事後にテキストP.248からP.254を復習しておくこと	1
25 PowerPointによるスライドの作成 4 演習用スライドの作成	予習：事前にスライドの内容を考えておくこと 復習：	1
26 PowerPointによるスライドの作成 5 演習用スライドの練習	予習：事前にプレゼンの準備をしておくこと 復習：	1
27 PowerPointによるプレゼン 1 プレゼンの練習	予習：事前にプレゼンの準備をしておくこと 復習：	1
28 PowerPointによるプレゼン 2 プレゼンの練習	予習：事前にプレゼンの準備をしておくこと 復習：	1
29 PowerPointによるプレゼン 3 プレゼンの評価	予習：事前にプレゼンの準備をしておくこと 復習：	1
30 総合演習	予習：事前にテキストP.32からP.193を復習しておくこと 復習：	1
〔学習上の留意点・準備等〕 実際の授業はパソコンを使う演習授業となる。自学自習も大いに必要となる。積極的な取り組みを期待する。		
〔成績評価方法と評価基準〕 授業時の課題（70%）、学習態度等（30%）		
〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕 翌週の授業で解説等をおこなう。		

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DK30	1年次 後期	講義	1	若井 由梨	「改訂版 乳幼児の健康 教育・保育に 向けた計画と実践」 大学図書出版 監修：宮下恭子
科目名	子どもと健康		担当形態 単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (4) (6) (10) (13)						
<b>〔授業の概要〕</b> 本授業では、『幼稚園教育要領』のねらいと内容及び内容の取扱いについて理解したうえで、幼児期の健康、生活習慣の指導に関する基本的な知識・技能を身につけることを目指す。さらに、幼児期の運動の重要性を理解した上で、健康に関する教材を作成して活用することを目指すものである。 本授業では、児童の健康教育に携わる教員が、実際の運動指導の方法や児童の発達に応じた遊び・教材について、講義を取り入れながら指導する。						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> ・ 幼児期の健康、生活習慣の指導に関する基本的な知識や技能を身に付ける。 ・ 幼児期の運動の重要性を理解し、発育発達に関する知識や情報を理解し、教材資料を作成し活用する。						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	ガイダンス／子どもにとっての健康とは	予習：シラバスを読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
2	乳幼児の発育や発達	予習：乳幼児の発育・発達について読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
3	幼児期における運動の必要性	予習：幼児期における運動の必要性について読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
4	幼児期の運動スキルの発達	予習：幼児期の運動スキルの発達について読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
5	乳幼児の健康を守る取り組み	予習：乳幼児期の健康を守る対策について読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
6	幼児期における安全教育	予習：幼児期における安全教育について読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
7	保育のための領域「健康」の取り扱い	予習：保育のための領域「健康」について読んでくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
8	多様な運動あそびの実践	予習：子どもの安全に配慮した運動あそびについて調べてくる			1	
		復習：授業の内容をまとめる				
9	まとめ	予習：これまでの授業について振り返る			1	

〔学習上の留意点・準備等〕

本授業では、授業の合間に学習の習熟度を図る小テストを実施する  
授業中にプリントを配布するため、資料保管用のファイルを一人一冊ずつ準備しておくこと  
実践を交えながら授業実施する回では、運動ができる服装と内履きを準備すること

〔成績評価方法と評価基準〕

最終レポート（50点）、小テスト（30点）、授業態度（20点）にて評価する

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

課題の記載内容について、全体向けにフィードバックを行う。

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DK31	2年次 後期	講義	1	新保 憲子	幼稚園教育要領解説 （H30年版 文部科学省） 随時講義内容資料を配布
科目名	子どもと人間関係		担当形態 単独			
<b>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕</b> (1) (2) (3) (6) (8) (9) (11) (12) (13)						
<b>〔授業の概要〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人は、人と人との間で生きていく。なかでも乳幼児期は人とのかかわりが特に重要である。子どもと人間関係では、領域「人間関係」の理解を深め、子どもの人間関係の発達について考える。</li> <li>・領域「人間関係」のねらいや内容について、具体的な事例や動画を基に、保育者の援助から子どもを見る視点や援助の意図を読み取り考える力をつける。</li> </ul>						
<b>〔授業科目の到達目標〕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児における応答的な関わり的重要性を理解する。</li> <li>・乳幼児期における個と集団の育ちのプロセスを理解する。</li> <li>・遊びの中の人とのかかわりを理解する。</li> </ul>						
<b>〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕</b>						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	乳幼児と人間関係における現代的課題	予習：シラバスを読む。			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
2	人間関係の発達① 乳児保育	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
3	人間関係の発達② 自立と共同性の育ち	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
4	人間関係の発達③ 子どもの言葉と人間関係	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
5	人間関係の発達④ 子どもの遊びと人間関係	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
6	人間関係の発達⑤ 集団の中で育ちあう・規範意識	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：配付資料を再読し、理解を深める				
7	保育者に求められる援助① 人間関係における援助の視点	予習：授業内容に関するテキスト部分を読む			1	
		復習：指導案作成				
8	保育者に求められる援助② 計画・考察	予習：授業の振り返り			1	

〔学習上の留意点・準備等〕

- ・ 講義内容に即した保育現場の写真・動画を活用し、演習・考察を行い学生の理解を深める。
- ・ 学習したことについて振り返りを行い、学びを確かなものとする。
- ・ 実習で「人間関係」の視点から子どもや保育者の援助についてまとめておくとよい。

〔成績評価方法と評価基準〕

- 授業内の課題への取り組み状況や態度 (50%)
- 定期試験 (50%)

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

- ・ 課題レポートを添削し返却する。レポートの内容は、必要に応じて学生に紹介する。

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	1DK32	1年次 前期	講義	1	永井裕紀子	資料を配布する
科目名	子どもと環境		担当形態			
			単独			
<p>〔卒業認定・学位授与の方針との関連〕  (1) (2) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13)</p>						
<p>〔授業の概要〕  子どもは好奇心・探求心をもって自分なりの方法で環境と関わりながら、乳幼児期に必要な資質・能力を身に付けていくことを理解する。また、現代の子どもがおかれている環境は昔とどう異なるのか。環境の変化により子どもの体験の質がどう変わっているのかについて知る。さらに、園環境や地域環境と子どもの育ちについて考えながら、子どもにとって必要な環境またはよりよい環境について考える力を身に付ける。</p>						
<p>〔授業科目の到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちと環境の重要性を知る。</li> <li>・現代社会における子どもを取り巻く環境と子どもの育ちについて理解する。</li> <li>・園環境や地域環境と子どもの育ちについて考える力を身に付ける。</li> <li>・子どもを取り巻く環境の現代的課題（ESD/SDGS）について知る。</li> </ul>						
〔授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間〕						
授 業 内 容			事前事後学修の内容			所要時間
1 保育の基本と領域「環境」 子ども育ちと環境			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
2 環境の諸側面と子どもの育ち 現代社会における子どもの環境			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
3 園環境と保育			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
4 地域社会と保育			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
5 身近な地域環境について考える			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
6 地域環境と子どもの育ち			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
7 幼児を取り巻く環境の現代的課題			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4
8 領域「環境」から考えるESD/SDGSについて			* 配布プリントを読んてくる。 * 幼稚園教要領の指定されたページを読んてくる。			4

〔学習上の留意点・準備等〕

自分の考えを素直に表現し、友達の考えにも目や耳を傾けながら、授業内容に対する理解を深めて欲しい。

〔成績評価方法と評価基準〕

授業の振り返り小レポート（50%）、提出物（50%）を合わせて評価する。

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

提出された小レポート等について、次の授業でコメントする。

科目		開講時期	授業形態	単位	担当	テキスト（書名・著者・出版社等）
科目コード	2DK33	2年次 前期	講義	1	村木 薫 斎藤 竜夫 若井 由梨	アクティベート保育学11 保育内容「表現」 岡本拓子他編著 ミネルヴァ書房
科目名	子どもと表現		担当形態			
			複数 オムニバス			
<b>【卒業認定・学位授与の方針との関連】</b> (1) (2) (6) (9)						
<b>【授業の概要】</b> 領域「表現」の指導に関する幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を身につける。						
<b>【授業科目の到達目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置づけについて説明できる。</li> <li>・ 表現の生成する過程について理解している。</li> <li>・ 幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。</li> <li>・ 協働して表現することを通し他者の表現を受け止め共感し、保育者として必要とされる豊かな感性、表現する力を身につけている。</li> <li>・ 様々な表現の基礎的な知識・技能を生かし、幼児の表現活動に展開させることができる。</li> </ul>						
<b>【授業の計画／事前事後学修（予習・復習）と所要時間】</b>						
授 業 内 容		事前事後学修の内容			所要時間	
1	子どもにとっての表現 (担当：村木・斎藤・若井)	シラバスを読み、概要、到達目標、内容、学習上の留意点・準備等を把握			4	
2	身体表現の発達 (担当：若井)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	
3	身体的な感性を育む表現 (担当：若井)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	
4	造形表現の発達 (担当：村木)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	
5	造形的な感性を育む表現 (担当：村木)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	
6	音楽表現の発達 (担当：斎藤)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	
7	音楽的な感性を育む表現 (担当：斎藤)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	
8	幼稚園・保育所・認定こども園における表現活動 (担当：村木・斎藤・若井)	先回の授業内容の復習及び本時の授業内容について教科書を読み、本時の内容を理解			4	



〔学習上の留意点・準備等〕

授業担当者によって使用する講義室や持参するものを指定するので、連絡事項に注意すること。

〔成績評価方法と評価基準〕

レポート（70%）、授業の取り組み状況（30%）

〔課題（試験やレポート等）に対するフィードバック〕

提出されたレポートについて振り返り及び解説を行う。